

令和7年度 事業評価 及び  
令和8年度 事業等計画書



 阿智村

2026.4

## 目 次

I. 令和8年度新規事業・重点事業概要 ..... 1

II. 事業評価及び事業等計画

★ 新規事業      ● 拡充事業

令和7年度評価の判断基準

A	極めて良好に実施されている
B	適切に実施されている
C	一部改善の余地あり
D	改善を要する

1. くらし・いきがい・協働

定住促進情報発信事業	3
定住促進のための住宅新增改築等支援事業	4
賃貸住宅建設支援事業	5
分譲住宅地造成事業	6
UIJターン就業創業移住支援事業	7
ふるさと奨学金返還支援事業	8
就業祝い金事業	9
●結婚支援事業	10
●集落支援員事業	11
●地域おこし協力隊事業	12
地域活動支援事業	13
空き家の利活用事業	14
村営住宅管理事業	15
村営住宅建設事業	16
自治会活動支援事業	17
村づくり委員会事業	18
全村博物館構想事業	19
●熊谷元一写真賞・農村記録写真事業	20
男女共同参画事業	21
★阿智村70周年記念事業	22
CATV運営事業	23
広報発行事業	24
村公式ホームページ事業	25
情報政策業務	26
財政管理運営業務	27
庁舎等公共施設管理業務	28
●村税課税事業	29
公用車管理業務	30
議会運営	31
選挙管理委員会	32
明るく正しい選挙啓発	33

長野県知事選挙	34
長野県議会議員一般選挙	35
浪合地区振興事業	36
清内路地区振興事業	37
2. 教育・文化・地域愛	
子ども祝い券支給事業	38
地域子育て支援拠点事業（こども広場）	39
●こども家庭センター事業	40
学童保育事業	41
放課後児童健全育成事業（放課後子供教室）	42
阿智村学校のあり方検討委員会	43
★阿智村新たな学校づくりプロジェクト事業	44
学校教育施設整備事業	45
●学力向上支援事業	46
学校給食運営事業	47
保育事業	48
中央公民館事業	49
読書活動事業	50
●公民館（社会体育事業）	51
文化財保護事業	52
3. 医療・福祉・健康	
診療所運営	53
福祉医療費支給支援	54
社会参加支援事業	55
高齢者のための補助金・祝い金事業	56
高齢者等交通サービス事業	57
授産事業（阿智村福祉企業センター）	58
障害福祉事業	59
地域支援事業（地域包括支援センター運営）	60
地域支援事業（認知症総合支援事業）	61
家庭介護者休養支援事業	62
●地域で展開する健康づくり	63
各種検診事業（がん予防・歯科保健）	64
健診事業（生活習慣病予防）	65
水中運動教室	66
精神保健	67
●母子保健事業	68
感染症対策事業（予防接種等）	69

4. 産業振興・雇用創出	
●阿智村観光事業	70
観光地整備事業	71
観光センター運営事業	72
昼神温泉新時代推進事業	73
花桃まつり・花桃管理	74
温泉事業	75
治部坂高原別荘管理事業	76
一般社団法人 阿智村産業振興公社事業	77
果樹農業振興	78
新規就農者支援	79
畜産農業振興	80
農地環境保全	81
販売を目的とした農産物生産の推進	82
遊休荒廃地対策	83
村単土地改良整備	84
森林整備事業	85
森林資源利活用推進事業	86
森林経営管理制度事業	87
森林病虫害防除事業	88
有害鳥獣対策事業	89
商工業振興事業	90
まちづくり整備事業	91
七久里開発事業	92
5. 環境・防災・安心	
家庭ごみ等収集処理事業	93
し尿汲み取り事業	94
上水道事業	95
下水道事業（特定環境保全公共下水道）	96
下水道事業（農業集落排水）	97
合併浄化槽設置整備事業	98
合併浄化槽維持管理事業	99
環境対策事業	100
安心安全のための生活基盤補助金・補償金	101
インフラ長寿命化	102
道路等維持修繕事業	103
道路改良工事	104
交通安全対策事業	105
防災対策事業	106
消防団事業	107
公共交通運行事業	108
リニア中央新幹線対策事業	109

### Ⅲ. 役場関係の職務分担表

# 令和8年度 阿智村 新規事業・重点事業 概要



## 第6次総合計画 暮らす、生きる。阿智家族

住民一人ひとりの人生の質を高められる、持続可能な村づくり

## 定住人口の確保・維持 阿智ブランドの確立 人づくり・健康づくり・地域力 まちづくり計画

令和8年度は、人口ビジョン総合戦略をもとに、国が進める物価高騰対策でまずは住民の皆さんの生活を守る方針と、特に若者が夢と希望を持てる政策、定住人口の確保や、学校あり方検討委員会からの答申を受け尊重し、子どもの未来に向けて力を注いで参ります。新しいまちづくりが具体的に動き出し、リニア新時代の対応、そして、今年度は村制70周年の記念を村全体でお祝いし、歴史記憶をたどり、未来の夢につなぐ事業を計画します。この目標のもと、新規事業、重点事業を遂行し村づくりを進めて参ります。

### 物価高騰対策・経済循環

- 全村民に1万円商品券
- 事業者エネルギー、肥料農薬補助

### 人口維持・若者プロジェクト

- 結婚新生活支援事業
- 清内路振興室跡に单身住宅
- 駒場地区住宅造成事業に向けて

### 子ども達の未来を

- 学校のあり方検討委員会の答申尊重
- 保育園、小中学校給食費の無償化

### まちづくり・リニア対応

- リニア中央新幹線工事対応
- わい wai 公園周辺整備着工
- 昼神温泉リニア新時代構想の計画
- 七久里地区開発推進

### 村制70周年記念事業

～記憶をたどり、夢をつなぐ～

- 70周年応援サポーター制度
- 記念式典(10月2日)
- 歩いて取り組む健康寿命延伸
- わい wai 公園植樹事業



結婚新生活支援事業



学校のあり方検討委員会



定住イメージキャラクター「星乃桃香ちゃん」



リニア発生土での七久里開発



運動公園わい・wai周辺整備計画



# ①暮らし・いきがい・協働

- 宿泊税運用開始(6月)
- ふるさと納税の拡充事業
- 選挙投票所削減の研究
- ユネスコ「世界の記憶」登録推進
- 東京ふるさと村人会開催
- 安心したライフラインの確保
- 園原インターフル規格化研究
- 飯田、阿智、中津川間のバス運行研究

# ②教育・文化・地域愛

- 義務教育学校開校準備委員会の設置
- 中学、英語・数学コース別講座開設
- シンガポールマレーシア海外語学研修
- 阿智高校との連携強化 大学連携
- 平日部活動の地域展開

# ③医療・福祉・健康

- 阿智村三大疾病対策 歩いて取組む  
(脳卒中・認知症・筋骨格系疾患)
- ふくまるくんポイントで健康家族
- いきいき健康大学 福祉と健康の集い
- 医療福祉体制の将来計画

# ④産業振興・雇用創出

- ふくまるくんポイント事業連携
- 雇用の確保、求人マッチングサイト事業
- ※インバウンド戦略調査
- 昼神温泉史編纂発行事業
- 大規模防護柵整備事業
- クマ対策事業
- 阿智ブランド農産品の推進
- 有機活用農業推進事業
- 森林経営管理制度

# ⑤環境・防災・安心

- ゼロカーボン宣言(地域施策編を受け)
- ストックヤードの管理運用検討
- 防災無線の計画作り
- 上下水道料金改定4月より
- 南信州フォレストパーク 森のめぐみ事業



宿泊税の導入



熊谷元一氏作品を  
世界の記憶登録へ



ふるさと学習発表会



阿智一中津川間のバス運行研究

三大疾病(阿智村)

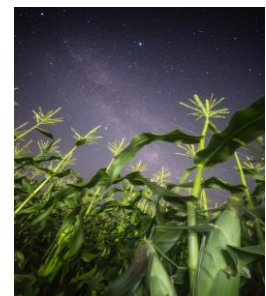
**脳卒中  
認知症  
筋骨格系疾患**



福祉と健康のつどい



ふくまるくんポイントで健康・経済活性化



有機活用農業の推進



阿智村マッチボックス  
(求人マッチングサイト)



阿智ブランド品の新事業展開



ゼロカーボン宣言



阿智平谷根羽 西部3村事業

※インバウンド→外国人が日本に旅行に来る事

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	定住促進情報発信事業	担当者	協働活動推進課	定住促進係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-1.移住定住促進			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	2.ひとのながれ/1.定住促進			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	移住定住希望者				
事業開始年	平成27年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	長期的な人口や経済の安定を図るため、村内外に村の魅力をPRすることで、阿智村の知名度の向上、移住・定住を促進する効果的な情報発信体制の整備充実を図る。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・「暮らす、生きる。阿智家族」をスローガン掲げ、移住定住支援のワンストップ窓口として「阿智村定住支援センター」を設置し、定住促進事業に取り組んだ。 都市圏での移住定住相談会への出展 公式動画「阿智家族チャンネル」や広告出稿での情報発信 お試し暮らし住宅の運営 他 随時の定住相談・支援										
	実績・効果	・首都圏等での移住定住相談会では、アイキャッチに重点を置いたブースづくりなどにより、相談者増加に取り組んだ。										
		日時	6/22	7/12	7/19	9/21	10/4	10/11	11/2	11/22-23	1/31	合計
		場所	名古屋	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	東京	大阪	
	主催	担い手P	長野県	回帰C	回帰C	長野県	長野県	JOIN	JOIN	回帰C		
	相談者	5	33	19	16	1	5	11	21	9	120	
	来村		1	1	1		3	1			7	
											(組)	
											(組)	
事業コスト	区分	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度				
	実績・見込額(千円)	3,332		1,927		1,127		5,791				
	一般財源	3,176		1,764		953		5,591				
	国・県支出金											
	起債											
	その他	156		163		174		200				
従事職員(人)	正規職員	0.5		0.5		0.5		0.5				
	臨時職員	0.1		0.1		0.1		0.1				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	継続的な村のブランディングと、更なる移住定住の促進。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		報償費	39	集落定住者維持支援金	30	
		需用費	468	お試し移住滞在費補助金	105	
		役務費	313			
		委託料	4,646			
	負担金	190				
期待される効果	・移住・定住プロモーションを継続的に行うことで、潜在的な移住希望者への動機付けに繋がる。また、村内においては、移住・定住者の受け入れへの意識啓発となる。 ・阿智村の移住定住のスローガンである「阿智家族」を定着させる事で、移住定住を促進させる。					
前年からの改善・工夫	・引き続き移住相談会に積極的に参加し、阿智村の知名度向上に努める。					
具体的取組・スケジュール	★村制70周年記念事業としてプロモーション動画制作 ・首都圏を中心とした移住相談会への参加(年10回予定)。 ・通年の定住支援のための窓口設置と、継続した移住・定住促進の情報発信。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	移住者数				
	時期(何時までに)	年間で				
	意図(どうする、どうなる)	48人を目指す				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	定住促進のための住宅新增改築等支援事業	担当者	協働活動推進課	定住促進係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-1.移住定住促進			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	2.ひとのなごれ/1.定住促進			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	定住促進のための住宅新增改築等支援金交付要綱			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	移住、定住者 新築、増改築、宅地、中古住宅取得者				
事業開始年	平成16年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	定住のために住宅新增改築、住宅用地の取得及び中古住宅の取得をしようとする者に対し支援金を交付する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<input type="checkbox"/> 若者定住支援金…41歳未満 (最大) 限度額 新築200(300)万円、増改築100(150)万円、宅地・中古住宅取得100万円 <input type="checkbox"/> 集落定住支援金…41～51歳未満の定住者、高齢化率40%以上の集落への定住者 限度額 新築100(200)万円、増改築50(100)万円、宅地・中古住宅取得70万円 * 村内事業者との請負契約等により建築工事を施工した場合は限度額を50万円加算 * 高齢化率40%以上の集落に新築した場合等の限度額加算あり。																																																																																		
	実績・効果	支援実績(若者・集落の合算 1月末現在) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>支援金</th> <th>～H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>件数</th> <th>支援金千円</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新築</td> <td>170</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>18</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>294</td> <td>311,311</td> </tr> <tr> <td>用地</td> <td>73</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>120</td> <td>102,476</td> </tr> <tr> <td>増改築</td> <td>43</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>66</td> <td>33,331</td> </tr> <tr> <td>中古住宅</td> <td>18</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>38</td> <td>30,303</td> </tr> </tbody> </table>													支援金	～H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	件数	支援金千円	新築	170	11	11	11	18	16	17	14	13	5	8	294	311,311	用地	73	4	4	5	9	5	5	11	0	4	0	120	102,476	増改築	43	5	2	4	0	3	2	3	3	1	0	66	33,331	中古住宅	18	1	2	2	2	0	2	4	2	1	4	38	30,303
	支援金	～H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	件数	支援金千円																																																																						
	新築	170	11	11	11	18	16	17	14	13	5	8	294	311,311																																																																						
用地	73	4	4	5	9	5	5	11	0	4	0	120	102,476																																																																							
増改築	43	5	2	4	0	3	2	3	3	1	0	66	33,331																																																																							
中古住宅	18	1	2	2	2	0	2	4	2	1	4	38	30,303																																																																							
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度																																																																															
	実績・見込額(千円)	16,546	15,454	20,000	26,000																																																																															
	一般財源	16,546	15,454	20,000	26,000																																																																															
	国・県支出金																																																																																			
	起債																																																																																			
	その他																																																																																			
	従事職員(人)	正規職員	0.4	0.4	0.4	0.4																																																																														
		臨時職員																																																																																		

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	住宅建設価格が高止まりしており、住宅建設に対し慎重な情勢が推察される。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		支援金	26,000			
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>若年層やIUターン者の住宅建設等に対する支援を厚く行うことにより、阿智村に住宅を取得し定住する動機となる。</li> <li>定住の促進、人口維持により、コミュニティー機能の維持を図る。</li> </ul>				
	前年からの改善・工夫	引き続き事業のPRを行う。				
	具体的取組・スケジュール	通年で制度の周知、申請を受け付ける。				
8年度の目標	対象(何を、誰を)	阿智村への定住希望者を				
	時期(何時までに)	年度中				
	意図(どうする、どうなる)	支援する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	賃貸住宅建設支援事業	担当者	協働活動推進課	定住促進係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-1.移住定住促進			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	2.ひとのながれ/1.定住促進			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	阿智村賃貸住宅建設支援金交付要綱			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	賃貸住宅を新築しようとする者				
事業開始年	令和2年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	村内に賃貸住宅を建設する個人又は法人に対し建設支援を行い、住宅の建設を促進し村内への定住を図る。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1棟4戸以上の賃貸住宅建設に支援</li> <li>・1戸25㎡以上(戸ごとにキッチン、トイレ、バス、玄関を設置)</li> <li>・1戸当たり最大100万の支援金(村内企業が請負、又は2業種以上1割の施工で10万の加算)</li> <li>・入居者は村内に住所を有する事</li> <li>・広報、HPで制度の周知</li> </ul>				
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建設会社、不動産事業者、土地の相談のあった方等へ事業の説明。</li> <li>・村内企業との懇談の席で拡充内容を説明した際、興味を示してくれる企業があった。</li> <li>・R2年度1件、R6年度1件、令和7年度1件</li> </ul>				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	0	4,500	8,897	4,000
		国・県支出金		4,500	8,897	4,000
		起債				
		その他				
		従事職員(人)	正規職員	0.1	0.1	0.1
		臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	民間による住宅供給		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		賃貸住宅建設支援金	4,000			
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人又は業者を対象としたアパート建設の推進。</li> <li>・村内企業に勤める労働者の居住地確保。</li> </ul>					
前年からの改善・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内企業との懇談の際に事業の説明を行い、活用を呼び掛ける。</li> <li>・賃貸経営を検討している方、従業員の住まい確保を検討している村内事業者向けの説明を行う。</li> </ul>					
具体的取組・スケジュール	・広報誌、HP等による周知					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	民間活力による集合住宅建設を				
	時期(何時までに)	随時				
	意図(どうする、どうなる)	支援する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	分譲住宅地造成事業	担当者	協働活動推進課	定住促進係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-1.移住定住促進			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	2.ひとのながれ/1.定住促進			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者					
事業開始年	平成5年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	村内の若者や村外からの移住者が定住するための宅地用地を確保する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・春日地区(中関下)に5区画の造成完了・分譲。(全区画成約) ・駒場地区に土地提供の話あり。 ・智里西地区村営住宅(中央住宅)1棟分譲。 ・浪合地区(中の瀬)分譲地の募集内容更新。									
	実績・効果	住宅用地及び村営住宅の分譲経過									
		年度字	H26年まで	H29年	R元年		R3年	R4年	R5年	R6年	合計
				春日	清内路	浪合	浪合	春日	伍和	春日	
		分譲地	16	1	1	1	1	1	1	1	23
区画数	74	3	2	1	1	4	4	5	94		
残区画	2							3	5		
事業コスト	区分	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	実績・見込額(千円)	20,892		35,075		26,741		17,915			
	一般財源										
	国・県支出金										
	起債										
その他	20892		35,075		26,741		17,915				
従事職員(人)	正規職員	0.4		0.4		0.4		0.4			
	臨時職員										

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	ハザードエリア、農地法、周辺インフラの整備状況などを含めた候補地選定		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		手数料	15			
		委託料	7,400			
		公有財産購入費	6,500			
		土地開発基金繰出	4,000			
	期待される効果	・分譲住宅地を確保することにより、新築を希望する若者へ住宅用地を提供できる。				
	前年からの改善・工夫	★駒場地区の分譲。 ・新たな分譲宅地造成に向けた準備を行う。				
	具体的取組・スケジュール	駒場地区の分譲予定地の用地取得及び設計を行う。				
8年度の目標	対象(何を、誰を)	駒場地区の分譲用地取得及び設計を				
	時期(何時までに)	年度内に				
	意図(どうする、どうなる)	進める				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	UIJターン就業創業移住支援事業	担当者	協働活動推進課	定住促進係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-1.移住定住促進			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	2.ひとのながれ/1.定住促進			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	UIJターン就業・創業移住支援事業補助金交付要綱			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	東京都、愛知県、大阪府からの移住者			
事業開始年	令和元年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	県内企業の担い手不足解消及び地域課題の解決並びに移住の促進のため、三大都市圏から移住した者に対し、県と連携し補助金を交付する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	県と協力して、東京圏、愛知県、大阪から阿智村に移住し、南信州の企業に就業または創業した者に対し補助金を交付 単身60万円、2人以上の世帯100万円、18歳未満の世帯員一人当たり100万円加算。 ・直近10年のうち5年以上東京圏、愛知県、大阪府で居住・就業(通学期間通算可)していた者 ・就労は、長野県マッチングサイトでの求人を通じたものの他、テレワーカーなど要件有 ・創業は、県の創業支援金の交付決定を受けたもの				
	実績・効果	・令和元年度よりスタートした国県を挙げての事業。 実績 R2 県11件 南信州 1件 R3 県58件 南信州 5件 R4 県222件 南信州 8件 阿智村 1件 R5 県315件 南信州 12件 阿智村 1件 R6 県343件 南信州 6件 阿智村 1件 R7 県289件 南信州 9件 阿智村 1件				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	3,000	600	600	3,000
		国・県支出金	750	300	300	1,500
		起債	2,250	300	300	1,500
		その他				
		従事職員(人)	正規職員	0.1	0.1	0.1
		臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	マッチングサイトへの登録について継続的な啓発		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		UIJターン移住支援金	3,000			
	期待される効果	・支援金交付による移住先としての動機の創出。 ・Uターン希望者の選択肢創出。				
	前年からの改善・工夫	・引き続き、マッチングサイトへの企業登録・求人登録について協力を求める。				
	具体的取組・スケジュール	・制度の周知を随時行う。				
8年度の目標	対象(何を、誰を)	移住希望者へ				
	時期(何時までに)	随時				
	意図(どうする、どうなる)	情報提供と支援する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	ふるさと奨学金返還支援事業	担当者	協働活動推進課	定住促進係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-2.地域力・集落維持			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	2.ひとのなごれ/1.定住促進			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	ふるさと奨学金返還支援金交付要綱			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	在学中に貸与を受けた奨学金の返還を行う者				
事業開始年	令和5年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	若者の村内への移住・定住の促進及び地域産業の担い手となる人材確保のため				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	阿智村に定住し、自宅から通勤できる事業所に勤務する者のうち、奨学金の返還を行う者に対し、阿智村ふるさと奨学金返還支援金を交付する。 ・申請日の属する年度末時点で32歳未満の者 ・対象額は、前年度4月1日から3月31日までの間に返還した奨学金の額 ・補助金の額 対象額の1/2以内、18万円/年度を限度 ・複数回申請できるものとし、対象期間は60月、補助額の通算の上限は90万円			
	実績・効果	申請者数 R5 29名 R6 37名 R7 28名 奨学金の返還をしている若者の支援ができた。			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	2,276	3,282	3,050	3,600
	国・県支出金	2,276	3,282	3,050	3,600
	起債				
	その他				
	従事職員(人)	正規職員	0.2	0.2	0.2
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	継続的な制度の周知		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		ふるさと奨学金返還支援金	3,600			
	期待される効果	進学をきっかけに村を離れている(離れた)若者のUターンや、若者のIターンの動機付けとし、村内への移住定住を促進する。 地域産業や地域の担い手が確保できる。				
	前年からの改善・工夫	・引き続き、広報に努める。				
	具体的取組・スケジュール	・5月交付申請受付				
8年度の目標	対象(何を、誰を)	補助金申請を				
	時期(何時までに)	5月に				
	意図(どうする、どうなる)	受け付ける				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	就業祝い金事業	担当者	協働活動推進課	定住促進係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-1.移住定住促進			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	2.ひとのながれ/1.定住促進			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	阿智村就業祝い金交付要綱			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	新規に就職、起業、就農した者			
事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定		
実施目的	若者の村内への移住・定住の促進及び地域産業の担い手となる人材確保のため				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	阿智村に定住し、自宅から通勤できる事業所に就職した者へ阿智村就業祝い金を交付する。 ・令和6年10月以降に就職した者 ・申請日の属する年度末時点で41歳未満の者 ・対象額は、一人1回限り、新卒者25万円。既卒者15万円。 ・村内事業所への就業には加算あり。 ・申請は就職(起業、就農含む)から1年以内。				
	実績・効果	・年度当初より広報などを活用し申請の呼びかけを行った。 ・村内企業との懇談時に制度の説明、新規就業者の申請を呼びかけた。				
		既卒		新卒		合計
		村内	村外	村内	村外	
	医療福祉	その他	医療福祉	その他		
	2	8	0	3	5	
	500,000	1,600,000	0	900,000	1,250,000	
		450,000			4,700,000	
					(人)	
					(円)	
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績・見込額(千円)	0	0	4,700	5,000	
	一般財源			4,700	5,000	
	国・県支出金					
	起債					
	その他					
従事職員(人)	正規職員			0.2	0.2	
	臨時職員					

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	継続的な制度の周知		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		就業祝い金	5,000			
	期待される効果	進学をきっかけに村を離れた若者のUターンや、若者のIターンの動機付けとし村内への定住を促進する。 地域産業や地域の担い手が確保できる。				
	前年からの改善・工夫	・引き続き広報に努める				
	具体的取組・スケジュール	・通年での申請受付				
8年度の目標	対象(何を、誰を)	祝い金の申請を				
	時期(何時までに)	随時				
	意図(どうする、どうなる)	受け付ける				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	●結婚支援事業	担当者	協働活動推進課	定住促進係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-1.移住定住促進			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	3.結婚・子育ての切れ目ない支援/1.結婚しやすい環境づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	阿智村婚活イベント参加費補助金交付要綱			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者					
事業開始年	平成20年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	結婚を希望する阿智村在住独身者の経済的負担の軽減及び結婚のきっかけづくりを支援する。 ★若者の婚姻により始める新生活の経済的負担を軽減し、結婚への後押しをする。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	阿智村婚活イベント参加費補助金交付要綱を設置。婚活イベント参加者への補助を開始。若い世代が使いやすい申請方法として、オンラインでの申請を可能とした。制度設立についての広報(LINE,広報あち等)を実施				
	実績・効果	補助金の交付:1件 5千円(オンライン申請) オンライン申請にした効果があったと思われる。				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	0	0	10	2,000
		国・県支出金			10	1,200
		起債				800
		その他				
		従事職員(人)	正規職員			0.05
		臨時職員				

③ 評価	総合評価	C	事業の方向性	拡充
	課題	制度の周知		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		補助金	100			
		★結婚新生活支援金	1,900			
	期待される効果	結婚を希望する阿智村在住独身者の経済的負担の軽減及び結婚のきっかけづくりとなる。 ★新たに婚姻し、阿智村に居住する夫婦の住居費と引っ越し費用の補助により新生活の経済的負担を軽減することにより結婚への後押しとなる。				
前年からの改善・工夫	従来の広報媒体に加え、若年層の利用率が高いSNSによる周知や、関係団体との連携により、ターゲット層へダイレクトに届く周知を展開する。 ★新たに婚姻し、阿智村に居住する夫婦の住居費と引っ越し費用の補助を新設。					
具体的取組・スケジュール	制度の周知及び、随時受付する。 結婚新生活支援金は令和8年4月1日から令和9年3月1日までの申請受付とする。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	村内在住独身者及び新婚夫婦				
	時期(何時までに)	随時				
	意図(どうする、どうなる)	制度を周知し、申請に繋げる				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	●集落支援員事業	担当者	協働活動推進課	協働活動係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-2.地域力・集落維持			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ				
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者				
事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定		
実施目的	地域の事情に詳しく、集落対策の推進に関して住民と協働のもと、集落生活機能の維持、地域活性化及び移住希望者の定住促進、農地の有効利用を推進していく。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	○専任支援員4人 ・空き農地と耕作者のマッチング、新規就農者に対する農地配分 ・全村博物館構想の推進、地域資源の活用 ・駒場地区の古民家等の整備活用、交流の場作り、宿場景観整備、街並み調査(2026.1-) ・地域の情報発信、特産物開発 ○兼任支援員 2人 ・空き家片付け、地域の困りごと支援、地域産業研究				
	実績・効果	・農地の相談件数159件、賃貸等契約(筆数)229件、面積約18ha ・全村博日より毎月発行、古民家つぼや運営、体験イベントの実施、情報発信 ・駒場地区古民家活用、駒場地区集落調査 ・駒場集落街並み調査(委託)と地域づくり ・伝統野菜活用商品開発、情報の発信 ・空き家の片づけ定住支援				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	16,422	15,810	15,142	31,268
		国・県支出金	16,422	15,810	15,142	31,268
		起債				
		その他				
	従事職員(人)	正規職員	0.05	0.1	0.1	0.1
		臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	拡充
	課題	現場で拾った声を、施策にフィードバックする仕組みが弱い		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		報酬・共済費等	27,815			
		備品購入等活動経費	2,453			
		調査委託料	1,000			
	期待される効果	・農地の有効利用、遊休荒廃農地対策が図られる。 ・Uターン者の受け入れにより定住が図られる。 ・空き家の有効利用が図られる。 ・地域資源の活用、全村博物館構想が推進される。 ・地域が抱える課題について、解決の期待が持てる。				
前年からの改善・工夫	・農村記録写真の村、全村博物館構想に各一人を配置する。 ・伍和振興協議会、自治会と相談しながら伍和地区担当を配置する。					
具体的取組・スケジュール	支援員それぞれが取り組みを進める(通年) 駒場街並み調査(通年) 活動報告(広報あち)					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	集落支援員				
	時期(何時までに)	年度中				
	意図(どうする、どうなる)	活動を支援し、成果をあげる				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	●地域おこし協力隊事業	担当者	協働活動推進課	協働活動係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-2.地域力・集落維持			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ				
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者				
事業開始年	平成23年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	人口減少が著しく、地域おこしの課題を抱える地域・分野について、三大都市圏から若者等の定住希望者を募り、阿智村に住み込み地域支援を実施する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力隊員の配置 (産業振興公社(6次) 担当 1名 令和5年 4月～)</li> <li>( 林業分野担当 1名 令和6年 8月～)</li> <li>(産業振興公社(農業)担当 1名 令和7年 1月～)</li> <li>(産業振興公社(農業)担当 1名 令和7年 4月～)</li> <li>・産業振興公社等での農業研修、圃場管理、農産物の6次産業化及び販路開拓等</li> <li>・鳥獣害対策、ジビエの活用、森林資源の活用等の林業分野の振興</li> </ul>				
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部からの移住者、定住者の確保</li> <li>・農業研修による農業知識の習得と、就農に向けた農地確保による耕作放棄地の解消</li> <li>・ジビエ活用の研究推進</li> </ul>				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業コスト	実績・見込額(千円)	一般財源	26,059	23,438	24,705	48,854
		国・県支出金	26,059	23,438	24,705	48,854
		起債				
		その他				
	従事職員(人)	正規職員	0.2	0.2	0.3	0.3
	臨時職員		0.2	0.05		

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	拡充
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな隊員の確保</li> <li>・隊員活動のサポート体制が不十分</li> </ul>		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		報酬・共済費等	33,577	協力隊サポート	18	
		備品購入等活動経費	7,321			
		起業補助金	4,000			
		協力隊募集	2,988			
おためし協力隊		950				
期待される効果	定住人口と関係人口の増、地域資源の活用、地域活性化					
前年からの改善・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談フェア等の従来手法に加え、おためし地域おこし協力隊(体験型)を毎年実施し、戦略的に募集を行う。これにより、ミスマッチ防止と質の高い応募者の毎年確保を狙う。</li> <li>・受入地域団体や関係部署との定期的な目線合わせを行い、支援ネットワークの構築を行う。月1回の隊員と担当課で行う連絡会を軸に、外部講師による研修を通じて、隊員と地域のつながりを強化し活動の視座を高める。</li> </ul>					
具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協力隊を5名募集し、令和8年度中の採用に向けた取り組み(随時)</li> <li>・連絡会開催(毎月)</li> <li>・外部講師による研修実施</li> </ul>					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	地域おこし協力隊				
	時期(何時までに)	年度中				
	意図(どうする、どうなる)	活動をサポートし成果をあげる				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	地域活動支援事業	担当者	協働活動推進課	協働活動係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-2.地域力・集落維持			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/3.自治と協働の村づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	・集落維持活動支援金交付要綱 ・阿智村集会所等新改築事業補助金交付要綱 ・地域広場設置事業補助金交付要綱 ・阿智村集会所等備品整備事業補助金交付要綱			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	集落・団体				
事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	全ての集落に人が住み続けることを目的として、集落の住民が自ら集落の再生、維持のために行う事業について支援する。また各種団体の活動が円滑に進むよう支援する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・申請手続きの書類作成等の支援、相談受付。</li> <li>・阿智の夏まつりの実施</li> </ul>				
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落維持活動支援事業: 高齢化率40%以上の集落(31集落)が対象(利用ゼロ)</li> <li>・集会所等新改築事業: 集会所等の新改築等又は取得を行なう集落等(1集落: 荒谷)</li> <li>・地域広場設置事業: 新たに地域広場の設置を行い、自らが管理を行う集落等(利用ゼロ)</li> <li>・集落集会所等備品整備事業: 集会所等の備品整備を行う集落等(4集落: 大沢、中平、青見平、大野)</li> <li>・ふるさと交流事業(1団体: ちむわざ会) 800千円</li> <li>・阿智の夏祭り補助金(1件: 阿智の夏まつり実行委員会) 3500千円</li> </ul>				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)		4,281	13,704	6,126	6,920
	一般財源		4,281	13,704	6,126	6,920
	国・県支出金					
	起債					
	その他					
	従事職員(人)	正規職員	0.75	0.3	0.3	0.45
		臨時職員		0.3	0.3	0.8

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	人口減少の進行に伴い、地域コミュニティ機能の低下し、地域活動の維持・継続が困難な状況となっている。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		集落維持活動支援金	120	阿智の夏祭り	4,000	
		集会所新增改築支援金	1,500			
		集会所備品整備支援金	400			
		広場設置支援金	100			
	ふるさと交流事業	800				
	期待される効果	集会所の増改築や備品整備を行うことで、安心安全なコミュニティ活動を行えるようになるとともに集落の維持に対する意識向上が図られる。まつり事業は、世代を超えた交流を創出し、住民の郷土愛を育むとともに、交流人口の拡大を通じて地域の活力を持続させる。				
	前年からの改善・工夫	集落に対する効果的な支援方法について検討する 夏まつりを持続可能なものとするための組織体制について検討する				
	具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落向けの事業について、4月の行政囑託委員会等において制度の説明を行う。</li> <li>・随時、相談受付、申請書類等の手続きに協力する。</li> <li>・まつり事業の実施計画</li> </ul> 4月: 実行委員会の開催(全体方針の決定) ~ 当日: 各部会の開催(細部検討) 10月: 反省会の開催				
	8年度の目標	対象(何を、誰を)	村内の集落			
		時期(何時までに)	年度中			
		意図(どうする、どうなる)	周知し、事業申請・実施に繋げる			

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	空き家の利活用事業	担当者	協働活動推進課	定住促進係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-2.地域力・集落維持			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	2.ひとのなごれ/1.定住促進			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	阿智村空き家情報活用制度要綱 ぬくもりの田舎暮らし推進事業補助金交付要綱			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	空き家所有者、空き家利活用希望者			
事業開始年	平成21年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	阿智村の定住者を維持し、新たな定住者を確保していくために空き家の利活用を推進する				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぬくもりの田舎暮らし推進事業補助金 所有者 家財の処分・運搬、屋内外の清掃等に要する経費 10/10補助 限度額20万円。 定住者 水回り及び屋内外の改修に要する経費 1/2以内 限度額75万円。</li> <li>・定住支援コーディネーターによる空家の調査、片付け支援、また、希望者の案内をした。</li> <li>・宅建協会との連携により、空き家の売買・賃貸に関わる取引の円滑化に取り組んだ。</li> <li>・空き家利活用促進団体の支援</li> <li>・空き家の解体を支援することにより、跡地の利活用を支援(1/2以内、上限100万円)する。</li> </ul>												
	実績・効果	ぬくもりの田舎暮らし推進事業補助金交付実績(※1月末時点見込み)												
		補助金	H28まで	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	件数	補助金千円
		所有者	61	4	8	12	8	7	10	5	8	6	129	22,805
定住者		5	2	3	4	3	2	0	0	0	0	19	6,707	
宅建成功		4	8	6	10	11	5	10	6	6	66			
	空き家解体補助(※1月末時点見込み) 20件													
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度									
	実績・見込額(千円)		1,043	10,028	19,667	11,910								
	一般財源		1,043	10,028	19,667	11,910								
	国・県支出金													
	起債													
	その他													
従事職員(人)	正規職員		0.2	0.2	0.2	0.2								
	臨時職員		0.7	0.7	0.7	0.7								

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家所有者の利活用に対する意識啓発。</li> <li>・居住のための改修費が高額となる物件が多い。</li> </ul>		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		宅建協会委託	110			
		ぬくもりの田舎暮らし	1,750			
		空き家利活用促進団体補助	50			
		空き家解体補助	10,000			
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落内の空家利活用による集落維持。</li> <li>・住宅の確保によるUIターン促進。</li> </ul>					
前年からの改善・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌による空き家所有者に対する継続的な告知。</li> </ul>					
具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、空き家相談、調査、案内。</li> </ul>					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	空き家利活用に向け、希望者を				
	時期(何時までに)	随時				
	意図(どうする、どうなる)	マッチングをする				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	村営住宅管理事業	担当者	協働活動推進課	定住促進係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-2.地域力・集落維持			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	2.ひとのながれ/1.定住促進			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	公営住宅法ほか			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	住宅困窮者および村営住宅入居者				
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	村営住宅を適切に管理し、住居環境を良好に維持する。 空室となった場合に状況を見てリフォームを行い、住宅の長寿命化を図る。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・住宅(内装・外装)や共有箇所の日常的な修繕 ・適正な改修とそれに合わせた家賃改定 ・中関団地再開発に向けた転居先斡旋 ・住宅困窮者の受け入れ			
	実績・効果	・修繕業者と連携を図るなかで、日常のかつ緊急を要する修繕に迅速に対応した。 ・ニーズに沿った改修を行い、適正な家賃に改定した。 ・中関団地再開発を5カ年計画1年目として、入居者の転居に向け住宅案内した。(2件) ・当年度7世帯の受け入れをした。			
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	22,817	26,138	21,731	21,544
	一般財源				
	国・県支出金				
	起債				
	その他	22,817	26,138	21,731	21,544
従事職員(人)	正規職員	1	1	1	1
	臨時職員	0.1	0.1	0.1	0.1

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	少子高齢・人口減少社会において、適切な住宅供給が必要。民間物件を含め、時代のニーズに沿い、かつ即時提供できる住宅が不足している。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		担当者会議旅費	2	井水負担金	26	
		住宅修繕料 他	7,814	移転補償費	3,000	
		火災保険料 他	692	公共施設整備基金積立金	6,577	
		浄化槽点検管理委託費 他	2,386			
		住宅敷地借地料	1,047			
期待される効果	定住対策の一環として良質な住宅を供給することで、住宅が要因による人口流出を防ぎ、人口を維持する。					
前年からの改善・工夫	前年度に引き続き、時代のニーズと人口動態を踏まえて、空き物件のリフォームを行い、適正な家賃に改定する。 老朽化した住宅の解体の計画、土地の新たな活用について検討する。					
具体的取組・スケジュール	中関団地再開発に向けた5カ年計画に基づく転居斡旋(2年目) 中関団地住民の転居先候補住宅の整備  随時 下平ハイツ エアコン設置工事 随時 村営住宅 改修工事(主に水回り)					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	村営住宅を				
	時期(何時までに)	通年で				
	意図(どうする、どうなる)	良好な状態で維持する。				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	村営住宅建設事業	担当者	協働活動推進課	定住促進係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-2.地域力・集落維持			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	2.ひとのなごれ/1.定住促進			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	住宅困窮者			
事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定		
実施目的	集落への若者を中心とした定住を目的とし、民間業者による建設が困難な地域に住宅を建設し定住者を受け入れる。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・旧清内路振興室の跡地利用による住宅(世帯用)の設計を進め、建設工事に着手した。			
	実績・効果	・旧清内路振興室の跡地利用による住宅(世帯用)の設計を進め、建設工事に着手した。			
③ 事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	297	68,364	203,000	105,390
	一般財源	297	37,044	50,800	16,490
	国・県支出金				
	起債		31,320	152,200	78,900
	その他				10,000
従事職員(人)	正規職員	0.4	0.4	0.4	0.4
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	住宅の老朽化が進む中での村営住宅の適正戸数の維持・更新		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		工事監理委託	5,230			
		建設工事	100,000			
		確認申請手数料	160			
	期待される効果	定住希望者の受け入れや、住宅の不足による他地域へ転居を防ぎ定住を促進する。				
	前年からの改善・工夫	旧清内路振興室跡地への住宅建設(単身用)を行う。				
	具体的取組・スケジュール	・旧清内路振興室跡地への住宅建設(単身用)工事を10月までに発注する。				
8年度の目標	対象(何を、誰を)	清内路への住宅整備工事を				
	時期(何時までに)	10月までに				
	意図(どうする、どうなる)	発注する。				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	自治会活動支援事業	担当者	協働活動推進課	協働活動係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-3.住民主体の協働の村			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/3.自治と協働の村づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	自治会活動支援金交付要綱			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	村内8自治会				
事業開始年	平成15年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	村内8自治会が行う住民自治と地域づくり活動に支援を行うことにより、積極的な活動を促し協働活動の村の発展力とする。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	各自治会の活動に対し支援金を交付 ①自治会活動に要する経費への支援 均等割＋世帯割＋人口割＋正副会長活動＋事務所経費(自治会館等運営経費の1/2補助) ②モデル事業への支援 ③美しいふるさとづくり事業への支援 ④事務局活動経費への支援 自治会連絡協議会に事務局として支援			
	実績・効果	各自治会で自主的な活動が実施された。 支援金の交付 ①自治会活動に要する経費への支援 8自治会 13,239千円 ②モデル事業への支援 6自治会 1,590千円(事業内容:世代間交流、防犯灯設置等) ③美しいふるさとづくり事業支援 7自治会 2,410千円(事業内容:公園等環境整備) ④事務局活動経費への支援 4自治会 1,244千円			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績・見込額(千円)	20,457	19,691	20,406	23,273
	一般財源	20,457	19,691	20,406	23,273
	国・県支出金				
	起債				
	その他				
	従事職員(人)				
	正規職員	0.2	0.1	0.1	0.3
	臨時職員	0.01	0.2	0.2	

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	人口減により役員の担い手確保に苦慮している。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		活動経費への支援金	13,700			
		モデル事業支援金	3,200			
		美しい事業支援金	4,000			
		事務局活動支援金	1,800			
	管理費用等	573				
	期待される効果	・自治会活動が活発になり、住民主体の地域づくりが進められる。 ・地域に対する関心が高まり、住民自治の向上・活性化が期待できる。				
	前年からの改善・工夫	各自治会の活動が円滑に進むように必要な支援体制を検討する。				
	具体的取組・スケジュール	・自治会連絡協議会の開催(計6回) 4月の自治会連絡協議会にて制度の説明。 ・要望書の受付(通年) ・随時、相談申請の受付。(通年)				
	8年度の目標	対象(何を、誰を)	村内8自治会			
		時期(何時までに)	年度中			
		意図(どうする、どうなる)	住民主体の活動ができるよう支援する			

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	村づくり委員会事業	担当者	協働活動推進課	協働活動係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-3.住民主体の協働の村			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	村づくり委員会としての届け出をした村民組織(5人以上)				
事業開始年	平成13年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	持続可能な村づくりのために、村民が自発的に行う村づくりの取り組みの経費(研修費、視察費、学習費等の費用)に対し、補助金を交付して活動の支援を行うことにより、村民が自らの地域や村の課題解決に向けて、主体となって取り組む村をめざす。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村づくり委員会登録団体の活動、申請手続き等をサポート</li> <li>・補助金活用15団体→ほっこりあちラジオ制作委員会、まめっこ応援団、未来に手渡したい食と農を育てる会・阿智村、JINEN WORKSあち、回想法で地域を元気にしまいか、あち自由大学、森のようちえんinあち、遊休荒廃地対策 楽農くらぶ、ひるがみにんにく生産組合、あち憲法を学ぶ会、浪合史跡保存会、阿智村ヘーゼルナッツ協議会、阿智ゆうきの風、倒木した小黒川のみズナラ活用検討委員会、地域共生型ゲストハウス準備委員会</li> </ul>				
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村民がその時々々の村の課題について研究や学習・研修を行う際の経費を村が担うことにより、幅広い分野で住民の自主的な取り組みが可能となっている。住民主体の村づくりを目指す村として、住民の力を引き出す仕組みとなっている。</li> </ul>				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	711	485	873	1,000
		国・県支出金	711	485	873	1,000
		起債				
		その他				
		従事職員(人)	正規職員	0.1	0.1	0.05
	臨時職員	0.1	0.2	0.2		

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	活動成果の報告や共有の機会が不足している。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		補助金	1,000			
期待される効果	村民が自らの地域や村の課題に、主体となって取り組むことができる。					
前年からの改善・工夫	引き続き、制度の説明、周知を行う。 活動報告の広報や展示。					
具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度説明、周知を実施する。</li> <li>・相談申請の受付(随時)</li> <li>・活動報告の広報や展示を実施する。</li> </ul>					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	登録団体が				
	時期(何時までに)	年度中				
	意図(どうする、どうなる)	自主的な活動ができるよう支援する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	全村博物館構想事業	担当者	協働活動推進課	協働活動係	
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-4.全村博物館構想				
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/3.自治と協働の村づくり				
	関連する主な計画等					
	根拠法令等	阿智村全村博物館構想推進条例、阿智村全村博物館構想推進要綱				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金交付	<input checked="" type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他
	事業の対象者					
事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定			
実施目的	住民一人ひとりが自分たちの暮らしを見つめ、地域にある資源を発見し、学び、活用することで、この地域に暮らす誇りを生み出すことをめざす。					

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2025年4月から園原ビジターセンターの指定管理先が変更となり、これまで協働活動推進課が直接実施していた企画展も指定管理先の実施事業とした</li> <li>・全村博物館構想推進事業を委託実施・運営支援</li> <li>・住民が地域を学ぶ →グループ学習支援</li> <li>・村内外、多世代による連携 →インターンシップ受け入れ</li> <li>・情報発信 →全村博だより発行、Webサイト、各種SNS</li> <li>・全村博全体を検討 →全村博企画委員会</li> </ul>				
	実績・効果	全村博物館協会に事業委託し、運営支援を行うことで、多くの事業を実施することができた。				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業コスト	実績・見込額(千円)	一般財源	12,281	10,319	11,498	13,592
		国・県支出金				
		起債				
		その他				
		従事職員(人)	正規職員	0.6	0.2	0.2
	臨時職員	0.8	0.9	0.9	2	

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性が必要な事業があり、担い手育成が必要。</li> <li>・村内各地の資源調査、組織化に取り組む必要があるが十分にできていない</li> </ul>		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		報償費	135	委託料	4,336	
		旅費	28	使用料	5	
		消耗品	10	工事費	1,000	
		修繕料	50	負担金	10	
保険料		18	補助金	8,000		
期待される効果	自然、歴史、文化などに関する学習、調査研究に住民が取り組むとともに、これらの学習をベースに地域資源を活かした観光や仕事づくりに取り組む。これにより阿智村でしかできない生活、産業を創出する。結果的に住み続けたい、住み続けられる地域をみんなで作っていくことができる。					
前年からの改善・工夫	園原ビジターセンターの修繕工事(水回り壁パネル等)					
具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園原ビジターセンター修繕工事(6月～)</li> <li>・全村博物館構想推進事業(委託)(通年) <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動支援、学習会、広報活動(通年)</li> </ul> </li> <li>・東山道・園原ビジターセンター運営補助金(通年)</li> <li>・全村博物館構想企画委員会の実施(随時)</li> </ul>					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	全村博物館構想の推進が図られるべく				
	時期(何時までに)	年間を通して				
	意図(どうする、どうなる)	事業実施する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

事務事業名	●熊谷元一写真賞・農村記録写真事業		担当者	協働活動推進課	協働活動係
①事務事業の概要	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-4.全村博物館構想			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/3.自治と協働の村づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者				
事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定		
実施目的	阿智村を長きにわたり撮影し続けた熊谷元一氏の業績を引き継ぎ、農村記録写真を通じて、心豊かな生活文化の創造を実現する。				

②令和7年度の取組・実績	具体的取組	○熊谷元一写真ユネスコ「世界の記憶」登録に向け、推進委員会を設置 ・8月キックオフシンポジウム ○熊谷元一保存活用委員会を中心とした取り組みの実施 ・5月飯田市美術博物館写真展示、広報まなざし発行(Vol6,7)、 ○第28回熊谷元一写真賞コンクールの実施 ・募集期間(4~9月)・審査会(10月)・表彰式(11月) ・受賞作品は熊谷元一写真童画館、阿智祭にて展示				
	実績・効果	世界の記憶登録に向けた取り組みがスタートし、多くの事業を実施することができた。学校教育における活用の場面が増加し、各小学校および阿智高校で活用された。阿智村全村博物館協会が主体となり、熊谷元一以外が撮影した阿智村の写真をデジタル化、保存活用する「阿智の記憶」プロジェクトがスタートした。				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業コスト	実績・見込額(千円)	一般財源	3,363	2,399	3,931	5,772
		国・県支出金	3,363	2,399	3,931	5,772
		起債				
		その他				
		従事職員(人)	正規職員	0.2	0.3	0.2
	臨時職員		0.1	0.2	1.5	

③評価	総合評価	B	事業の方向性	拡充
	課題	世界の記憶推進事業を軌道に乗せる		

④8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		報償費	1,324	補助金	1,200	
		旅費	183	基金	50	
		修繕料	50			
		委託料	4,200			
使用料		15				
期待される効果	・写真賞コンクールの実施を通じ、写真家・熊谷元一の功績を全国へ発信する ・熊谷元一の功績を引き継ぎ、現在の阿智村の姿を記録していく ・熊谷元一の功績を学ぶとともに、写真を通して阿智村の地域社会や歴史を学ぶ					
前年からの改善・工夫	★熊谷元一写真童画館の設置条例に基づき、館を指定管理とする(補助金1200千円) 第29回熊谷元一写真賞コンクールを委託事業とする(委託料1500千円) ユネスコ「世界の記憶」申請に向けた取り組みを進める。(申請書英訳1200千円、周知事業1500千円)					
具体的取組・スケジュール	・4-6月 写真童画館指定管理者公募・決定 7/1 指定管理開始 ・通年 「世界の記憶」推進事業 申請書作成/英訳 ・通年 熊谷元一写真周知事業(委託) ・第29回熊谷元一写真賞コンクール(委託) 10月審査会 11月表彰式 ・熊谷元一写真保存活用委員会の実施(通年)					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	熊谷元一写真童画館の運営体制を				
	時期(何時までに)	年度末までに				
	意図(どうする、どうなる)	確立させる				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	男女共同参画事業	担当者	協働活動推進課 男女共同参画係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-3.住民主体の協働の村		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/3.自治と協働の村づくり		
	関連する主な計画等	阿智村男女共同参画基本計画		
	根拠法令等	男女共同参画基本法		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
	事業の対象者	村民		
事業開始年	令和3年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定
実施目的	性別にかかわらず、あらゆる分野で個人が能力を発揮できる社会を目指す。男女問わず権利、機会が保障され、共に責任を担える地域づくりに取り組む。			

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	男女共同参画基本計画:本部会議/検証委員会 地域組織最適化支援:学童保育保護者会 アドバイザー委嘱 コーディネーター 2名委嘱 村内企業訪問結果レポート(広報あち掲載) 職員研修:特権とジェンダー・ステレオタイプから考える職員のキャリア形成				
	実績・効果	コーディネーター2名を委嘱し、昨年度の企業訪問の結果を「広報あち」に掲載した。  「誰もが暮らしやすい地域を目指す」という基本理念のもと、村内唯一の第一小学校学童保育保護者会に対し、組織を現代のニーズに即した形へ再編するための支援を行った。				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	107	388	310	1,686
		国・県支出金	107	388	310	1,686
		起債				
		その他				
		従事職員(人)	正規職員	0.1	0.5	0.5
		臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	限られた資源(人・時間・お金)の中で、事業成果を上げる必要がある。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		検証委員等報酬	206	学習会託児報酬	9	
		講師等謝礼	210	計画策定業務	1,000	
		講師旅費等	71			
		消耗品費等	40			
印刷製本費		150				
期待される効果	誰もが暮らしやすい地域を目指す。					
前年からの改善・工夫	次期基本計画の策定。 地域組織のあり方を見直すための調査・要望把握の実施。					
具体的取組・スケジュール	随時:本部会および検証委員会 通年:次期基本計画の策定					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	基本計画				
	時期(何時までに)	年度末				
	意図(どうする、どうなる)	策定、公表				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	★阿智村70周年記念事業	担当者	70周年事業企画委員及び各担当課
	総合計画での位置づけ			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ			
	関連する主な計画等			
	根拠法令等			
	実施方法 <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者			
事業開始年		<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	令和9年3月末 <input type="checkbox"/> 終期末定
実施目的		阿智村が発足し令和8年9月末に70周年を迎えるので、令和8年4月から令和9年3月末までを事業期間とし、「記憶をたどり、夢をつなぐ」をコンセプトに70周年記念事業を行う。		

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組					
	実績・効果					
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		実績・見込額(千円)	0	0	0	18,240
		一般財源				9,240
		国・県支出金				5,000
		起債				
その他					4,000	
従事職員(人)	正規職員					
	臨時職員					

③ 評価	総合評価	事業の方向性
	課題	

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		70周年記念式典	600	記念ナンバープレート	165	
		村勢要覧作成	2,000	記念PR	300	
		講演会	500	記念品	1,375	
		音楽コンサート	600	記念事業他	12,500	村内収録等
		阿智家族円満事業	200			
	期待される効果	70周年記念事業応援サポーター制度を設け、阿智村に在住、出身、または関わりのある方々にイベントへの協力、記念事業に関する広報の協力等を行ってもらい、応援サポーターとイベント等を参加者みんなで盛り上げ、阿智村の魅力が村内外へ発信することができ、未来への希望と誇りを持ち、忘れられない1年となる。				
	前年からの改善・工夫					
	具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 4月 花桃まつり公開録音ラジオ放送</li> <li>・ 5月 ウォーキング阿智家族スタート</li> <li>・ 6月 音楽コンサート</li> <li>・ 7月 星のナンバープレート発行</li> <li>・ 7月 夏まつり</li> <li>・ 10月 記念式典、村勢要覧</li> <li>・ 11月 キャラクターショー</li> <li>・ 11月 テレビ番組村内収録</li> <li>・ 11月 駅伝大会 講演会</li> </ul> <p>・ 令和8年6月末 まで70周年記念事業応援サポーター募集</p>				
	8年度の目標	対象(何を、誰を)	70周年記念事業を			
		時期(何時までに)	年度を通して			
		意図(どうする、どうなる)	実施する			

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	CATV運営事業	担当者	協働活動推進課	広報係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-5.情報の地域発信			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	放送法、阿智村情報化事業サービス網設置条例			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	阿智村情報化事業加入者			
事業開始年	平成18年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	村内全域への県内地上デジタル放送およびBS放送電波の再送信と、自主放送による村の広報事項等の伝達。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地上デジタル放送、BS放送、BS4K放送(右旋)の再送信及び自主放送サービスの提供</li> <li>・FMラジオ波の再送信(5波)の提供</li> <li>・自主放送設備や伝送路等の維持管理</li> <li>・Data放送/文字放送/スマホアプリの機器更新及び情報発信。</li> <li>・村内行事等(業者撮影委託)の映像による提供。</li> <li>・鳥獣害や自然災害による幹線等の断絶による被害対応 など</li> </ul> 【加入状況】 地上デジタル放送 2,197世帯、BS放送1,453世帯(令和6年12月現在) 地上デジタル放送 2,177世帯、BS放送1,425世帯(令和7年12月現在)			
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村からの最新情報を発信(お悔やみ・ライブカメラ・外部リンクなど)</li> <li>・地域に密着した地域行事等の動画番組の配信</li> <li>・障害発生時の迅速な対応</li> <li>・設備機器の定期更新(リースを含む)</li> </ul>			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	69,940	37,098	35,052	41,158
	国・県支出金	30,744	8,765	9,735	12,716
	起債	7,000			
	その他	32,196	28,333	25,317	28,442
	従事職員(人)	正規職員	0.5	0.5	0.5
	臨時職員	0.5	0.5	0.5	0.5

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主放送設備等老朽化による更新費用と維持管理費</li> <li>・鳥獣害による障害対策</li> </ul>		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		報償費・旅費	110	CATV設備等工事費	12,261	
		委託料	15,949	原材料費	385	
		消耗品費・保険料等	1,865	負担金	50	
		使用料・賃借料	10,006	加入還付金等	532	
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内全域に地上デジタル放送・BS放送・FMラジオを再送信することにより、安定した電波でテレビやラジオを受信することができる</li> <li>・自主放送番組で、行政情報や地域のできごとなど、文字や映像で必要な情報を伝えることができる</li> </ul>					
前年からの改善・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村のCATVを契約している各家庭等へ安定して届けるために必要な設備機器の更新</li> <li>・鳥獣害対策として、伝送路(ケーブル)の支障となる枝木等伐採</li> </ul>					
具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年 セキュリティ対策</li> <li>・令和8年4月～ 自主放送設備機器の更新</li> <li>・令和8年10月～12月 伝送路等の幹線パトロール</li> </ul>					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	自主放送設備機器の更新を				
	時期(何時までに)	年度末までに				
	意図(どうする、どうなる)	終える				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	広報発行事業	担当者	協働活動推進課	広報係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-5.情報の地域発信			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	村民全世帯				
事業開始年	昭和49年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	広報誌を発行することにより、村民に地域情報や行政情報を紙面でわかり易く発信する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・村内配布「広報あちお知らせ版」年12回「広報あち」年4回。1回あたりの配布 約1,900部。 ・村外発送「広報あちお知らせ版」(企業、団体など)約60部 「広報あち」(企業、ふるさと大使、個人など)約200部 ・阿智村公式ホームページにウェブブックとしての掲載。			
	実績・効果	・紙媒体で一律した村政の重要な課題や政策また身近な情報を提供することができた。 ・広報あち お知らせ版 年12回 2,250部発行 ・広報あち 年4回 2,400部発行			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	2,693	2,569	2,960	3,364
	国・県支出金	2,693	2,569	2,960	3,364
	起債				
	その他				
	従事職員(人)	正規職員	0.5	0.5	0.3
	臨時職員	0.5	0.5	0.2	0.2

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	・より見やすく分かり易いレイアウトの研究や、求められる情報の提供 ・記事内容の充実		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		広報誌印刷製本費	3,288			
		作成ソフト使用料	61			
		負担金(広報誌協会)	15			
	期待される効果	・村内の世帯へ配布することで、紙媒体を通じて、幅広い年齢層の住民へ必要な情報を格差なく届けることができる				
前年からの改善・工夫	・広報モニターの意見等を取り入れ、紙面の構成に反映させる					
具体的取組・スケジュール	・(随時)部落広報説明会の実施 ・年8回 お知らせ版 2,250部発行 ・年4回 広報あち 2,400部発行 ・年4回 広報モニターアンケート調査					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	村の広報誌として				
	時期(何時までに)	毎月				
	意図(どうする、どうなる)	発行する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	村公式ホームページ事業	担当者	協働活動推進課	広報係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-5.情報の地域発信			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	村内及び村外のホームページ閲覧者				
事業開始年	平成24年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	村政情報やくらしの情報を分かり易く村民へ周知する。また、観光や定住などの情報を阿智村に関心をもたれている村外の方へ向けて発信する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・閲覧者へ常に最新情報を提供する。</li> <li>・閲覧者の増を図るために古いコンテンツの更新や「リンク」の確認などを定期的に行う。</li> <li>・文字放送・データ放送・スマホアプリと連動し、きめ細やかな更新を行い発信と内容確認のチェック体制を強化。</li> <li>・セカンドページをリニューアル</li> </ul>										
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セカンドページをリニューアルしたことで、知りたい情報を以前よりも見つけやすいホームページの構成となった。</li> <li>・課ごとで記事を作成、更新することで、より速やかに記事を更新し閲覧者に周知することができた。</li> <li>・Webサイト内のページで閲覧された年間ページビュー数</li> </ul> <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>令和6年実績</td> <td>令和7年実績</td> <td>令和8年見込み</td> </tr> <tr> <td>約70万</td> <td>約79万</td> <td>85万</td> </tr> </table>					令和6年実績	令和7年実績	令和8年見込み	約70万	約79万	85万
	令和6年実績	令和7年実績	令和8年見込み									
約70万	約79万	85万										
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度							
実績・見込額(千円)	一般財源	1,162	1,067	2,715	1,109							
	国・県支出金	1,162	1,067	2,715	1,109							
	起債											
	その他											
従事職員(人)	正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2							
	臨時職員	0.3	0.3	0.3	0.3							

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	・パソコンやスマートフォンからの閲覧者(高齢者や障がい者などを含む)誰もが必要な情報を見ることができる		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		委託料(システム)	515			
		使用料(サーバー)	594			
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村公式ホームページを通じて、村内外の方へ情報を発信することができる</li> <li>・より見やすいホームページとなる</li> </ul>				
	前年からの改善・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報を容易に閲覧できるようなページの作成を行う</li> <li>・閲覧者やモニターなどの意見を取り入れた、ホームページの作成</li> </ul>				
	具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通年 新着情報を速やかに更新する</li> <li>・随時 検証を行う(モニターアンケートなどによる意見聴取)</li> </ul>				
8年度の目標	対象(何を、誰を)	最新の情報を				
	時期(何時までに)	分かりやすい内容で				
	意図(どうする、どうなる)	速やかに提供する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	情報政策業務	担当者	総務課	企画情報係	
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-6.健全で持続可能な行財政運営				
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり				
	関連する主な計画等	阿智村DX推進計画				
	根拠法令等	デジタル社会形成基本法				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他
	事業の対象者					
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定			
実施目的	デジタル社会の実現に向けて、個々人の多種多様な環境やニーズ等を踏まえて、利用者目線できめ細かく対応していくことにより、誰もが、いつでも、どこでも、デジタル化の恩恵を享受できることを目指します。					

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	自治体DXの推進 サイバーセキュリティ・個人情報保護の確保 マイナンバー制度の利活用の推進 地方公共団体情報システム標準化				
	実績・効果	基幹業務システムの標準準拠システム稼働 アナログ規制の点検 庁内LAN(LGWAN)無線化				
③ 評価	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		実績・見込額(千円)	64,188	61,447	190,014	163,561
		一般財源	57,314	55,524	108,819	162,571
		国・県支出金	6,874	5,923	81,195	990
		起債				
		その他				
従事職員(人)	正規職員	1	1	1	1	
	臨時職員					

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	行政事務にICTを積極的に取り入れ、自治体DXを推進する必要がある。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		基幹系システムの標準化	708	ネットワーク関係	4,864	
		業務システム	75,482	DX関係	43,391	
		番号制度	4,191	電子申請・届出	709	
		情報セキュリティ	7,259	コンビニ交付	7,112	
		ガバメントクラウド	19,800	J-lis負担金等	45	
期待される効果	行政の情報システムや情報資産等を適切に運用することで、安定した行政運営を実施することができる。 電子決裁、文書管理、財務会計の証拠書類の電子化などを導入することで内部事務の効率を高め、住民サービスの向上を図る。					
前年からの改善・工夫	電子決裁、文書管理、財務会計の証拠書類の電子化の検討・導入 アナログ規制の見直し 自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進 マイナンバーカード利活用の拡充					
具体的取組・スケジュール	○電子決裁、文書管理、財務会計の証拠書類の電子化の検討・導入(年度内) ○アナログ規制の見直し(年度内) ○行政情報システムの適切な運用(通年) ○情報資産のセキュリティ対策(通年) ○自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)への取り組み(通年)					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	情報システムや情報資産				
	時期(何時までに)	通年				
	意図(どうする、どうなる)	安定的に運用する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	財政管理運営業務	担当者	総務課	財政係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-6.健全で持続可能な行財政運営			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ				
	関連する主な計画等	新村建設計画、過疎地域持続的発展計画、辺地対策総合整備計画			
	根拠法令等	地方財政法、阿智村財務規則			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	阿智村一般会計			
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	村政の方向性の検討、地域住民の意見を反映した施策を実施し、最小の経費で最大の効果が得られるよう健全な財政運営を行う。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画書及び事務事業評価作成、計画審議会の開催</li> <li>・予算編成及び予算の執行管理・公表</li> <li>・地方公会計制度に基づく財務諸表の作成</li> <li>・交付税の算定、起債借入・償還等</li> <li>・公共施設個別施設計画の改訂</li> <li>・決算統計及び決算状況の公表</li> <li>・統計資料作成、指定統計調査実施</li> <li>・ふるさと納税の受入</li> </ul>			
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通交付税交付額 2,648,286千円(対前年比△3,729千円)</li> <li>・令和6年度決算に基づく実質公債費比率2.2%(第6次総後期計画目標値10.0%をクリア)</li> <li>・ふるさと納税収入見込額107,526千円(対前年比△167千円)</li> <li>・公共施設個別施設計画の改訂によって、各施設の今後の方向性(維持・改修・廃止など)を明確にする(計画改訂作業中)</li> <li>・広報あち等の媒体で、予算・決算の状況を村民等へ公表</li> </ul>			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	507,959	504,107	455,123	455,249
	国・県支出金	502,979	494,846	393,032	396,447
	起債	280	1,461	4,191	902
	その他	4,700	7,800	57,900	57,900
	従事職員(人)	正規職員	1.2	1.2	1.2
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	人件費や維持管理経費などの経常的な経費が増加傾向にあるため、予算の適正な執行管理に努めるとともに、今後の大型事業に対応するための財源の確保が必要となる。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		計画審議会報酬・旅費	305	公共施設等総合管理計画改訂業務委託	320	
		指定統計調査経費	997			
		ふるさと納税経費	50,055			
		財務諸表作成支援委託	1,188			
		起債償還元金・利子	402,384			
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財政健全化法における4つの財政指標の全てが適正範囲内となることで、健全財政が保たれる。</li> <li>・ふるさと納税の収入増に取り組みむことで、事業財源の確保と、返礼品による地域経済の活性化が図られる。</li> <li>・公共施設等総合管理計画の改訂により、今後の公共施設の方針を明確にして適正な維持管理と、統廃合等を検討するための基本方針とすることができる。</li> </ul>					
前年からの改善・工夫	ふるさと納税返礼品の種類増加に努める。					
具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業計画の公表(村ホームページ 他)</li> <li>・広報あちに掲載(予算:4月、決算:10月)</li> <li>・計画審議会の実施、村政懇談会の実施</li> <li>・ふるさと納税の対応(受入、返礼等)通年</li> <li>・公共施設等総合管理計画改訂(5月~10月)</li> </ul>					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	財政健全化法における4つの指標を				
	時期(何時までに)	令和8年度決算においても				
	意図(どうする、どうなる)	健全な数値とする				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	庁舎等公共施設管理業務	担当者	総務課	財政係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-6.健全で持続可能な行財政運営			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ				
	関連する主な計画等	新村建設計画、公共施設等総合管理計画			
	根拠法令等	地方財政法、阿智村財務規則			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者				
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定		
実施目的	役場庁舎等施設の維持管理				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	消耗品、燃料代(庁用)、ガス代、電気料、水道料、下水道料、修繕料、委託料(空調設備、昇降機保守、電気保安管理、消防設備点検、庁舎清掃)、火災保険料などの施設の維持管理(R7の主な修繕等) ・役場庁舎トイレ、給湯室の照明LED化工事 ・コミュニティ館自動ドアの修繕(部品交換) ・コミュニティ館エレベーター改修工事(実施中)			
	実績・効果	・施設の点検等により、不具合箇所等の早期発見。 ・修繕等の実施により、老朽箇所、不具合箇所の整備が図られた。 ・エレベーター改修等で利用者の安全確保が図られた。 ・照明のLED化により脱炭素化の推進が図られた。			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	26,201	28,116	33,956	45,620
	国・県支出金	26,201	28,116	33,956	45,620
	起債				
	その他				
	従事職員(人)	正規職員	0.3	0.3	0.3
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	公共施設の老朽化、設備の経年更新時期を迎えており、その修繕費や改修費の増加が課題。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
	期待される効果	庁用消耗品	300	火災保険料	280	・庁舎の照明LED化により脱炭素化が図られ、地球温暖化対策計画の目標達成に近づくことができる。 ・経年更新等を行うことで、老朽化した設備の維持と、施設の安全確保が図られる。
		庁舎燃料費	5,900	施設管理委託料	6,159	
		光熱水費	10,974	照明設備工事	1,563	
		庁舎等修繕料	1,396	施設修繕工事	3,905	
電話料		2,521	エレベーター改修工事	12,622		
前年からの改善・工夫	庁舎照明のLED化を計画的に実施している(R6:R7:トイレ・廊下等、R8:階段 他)					
具体的取組・スケジュール	・コミュニティ館エレベーター改修工事(～8月) ・コミュニティ館移動式観覧席部品交換 ・空調設備点検及び部品交換 ・照明LED化工事(階段 他) ・施設の点検、維持管理(通年)					
7年度の目標	対象(何を、誰を)	庁舎等公共施設の管理を				
	時期(何時までに)	令和8年度においても				
	意図(どうする、どうなる)	適正に行う				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	●村税課税事業	担当者	出納室	税務係・徴収係	
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-6.健全で持続可能な行財政運営				
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ					
	関連する主な計画等					
	根拠法令等					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他				
事業の対象者						
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定		
実施目的	的確な課税客体の把握と適正な課税に努め、効率的で公平な徴収をおこない、収納率の向上を目指す					

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	①宿泊税のR8年6月開始に向け条例施行規則の制定、総務省との協議、説明会の実施 ②法改正により目まぐるしく変わる税制度を正しく理解し、適正な課税を実施 ③滞納を減らすための口座振替不能通知や督促、催告による早期な接触の実施 ④中長期滞納者に対し早期に滞納処分(差押え等)を実施 ⑤困難案件を早期に解決するための県税事務所など関係機関との連携 ⑥広報誌等による納税啓発と税に関する広報を定期的実施 ⑦地方税お支払いサイトやスマホアプリを活用したキャッシュレス納付の推進				
	実績・効果	①宿泊税条例の制定 ②残高不足等による口振不能を確認し、不能通知を送付し、納付を促した。 ③滞納者へ電話や催告書発送による折衝を実施した。 ④滞納者の調査に早期着手し、自主的納付あるいは差押にむすびつけた。 ⑤小学校6年生を対象に租税教室を実施し、税の意義や役割を講演した。 ⑥広報あち、行政無線を活用し定期的な納税啓発と、申告等税に関する情報を発信した。 ⑦税理士無料相談を継続して実施し、税に関する疑問の解消を図った。 ⑧令和6年度決算における、現年度収納率99.4% (令和6年度事業計画目標を達成、令和5年度比0.2%増)				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	30,313	37,383	34,400	59,373	
	一般財源	30,313	37,383	34,400	28,321	
	国・県支出金				1,050	
	起債					
	その他				30,002	
	従事職員(人)	正規職員	4	4	4	
		臨時職員	1	1	1	

③ 評価	総合評価	A	事業の方向性	拡充
	課題	収納率を向上させるために、さらに税の目的を広く周知し、公平な徴収に努める滞納処分による収入未済額の減少		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		固定評価審査委員等報酬	135	電算業務委託料	20,416	
		旅費・消耗品・手数料等	1,420	その他業務委託料	229	
		法令改正支援委託	297	ソフト・システム使用料	4,279	
		滞納整理機構等負担金等	950	●宿泊税徴税経費	1,781	
		土地評価委託料	595	●宿泊税基金積立金	29,271	
	期待される効果	・制度改正に係るシステム改修や運用の変更など迅速に対応し、適正な課税を実施する。 ・県税事務所や県地方税滞納整理機構と連携し、計画的な滞納整理を実施する。 ●宿泊税の導入により観光振興のための財源を安定的に確保する。				
	前年からの改善・工夫	・R9年度評価替に向け準備を進める。 ・電子化を進め、国税連携や利便性の向上を図る。 ・滞納者の調査に早期着手し、早期解決を図る。				
	具体的取組・スケジュール	・税目ごと順次に課税処理を実施、期日までに納税通知書および納付書を送付する。 ・収納状況を管理し、口座振替不能通知、督促状を送付、滞納処分や不納欠損の適正な実施。 ・国基準に準拠した電子化をR8年9月に実施 ●宿泊税徴収開始R8年6月1日				
	8年度の目標	対象(何を、誰を)	現年度分収納率の計			
		時期(何時までに)	出納閉鎖時(2027/5/31)			
		意図(どうする、どうなる)	99.4%			

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	公用車管理業務	担当者	総務課	庶務係
	総合計画での位置づけ				
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ				
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者				
事業開始年		<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期		<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定
実施目的	本庁の公用車の適正な維持管理(振興室、消防、福祉企業センター等出先機関は除く)				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両に応じた適切な時期に点検を実施。</li> <li>・職員の中から各車両の管理者を定め、日常点検及びタイヤの季節履き替えや洗浄等を実施。</li> <li>・運転日誌に各車両の使用状況やアルコール検知器を用いた検査結果を記録。</li> </ul>				
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各管理者の日常点検により、不具合の早期発見に繋がり、適切な整備・修繕を行うことで、車両の安全性が保たれている。</li> </ul>				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業コスト	実績・見込額(千円)	一般財源	11,104	13,351	25,138	16,766
		国・県支出金	11,104	13,351	17,138	14,266
		起債				2,500
		その他			8,000	
	従事職員(人)	正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3
	臨時職員					

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	今後も車両の適切な維持管理を行い安全性を保つと共に、管理者の通常業務に支障をきたさない効率的な管理方法の研究を行っていく必要がある。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		燃料費	4,246	消耗品等	105	
		修繕費	3,265	車両購入	7,000	
		保険料	1,111	リース料	843	
		重量税	196			
期待される効果	公用車管理を適切に行うことにより、車両の不具合を早期に発見することができ、車両の安全性の確保や交通事故等のリスク回避、整備費用の抑制につながる。					
前年からの改善・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化した車両を更新し、安全性の確保及び経費削減を図る。</li> <li>・車両の使用状況の記録やアルコール検査結果の記録、日常点検の記録を効率的且つコストの削減を図る。</li> </ul>					
具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法定点検・日常点検の実施</li> <li>・安全運転の実施</li> <li>・車両の更新</li> <li>・メンテナンスリース化等の車両管理、運行管理方法の研究</li> </ul>					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	公用車を				
	時期(何時までに)	年間通じて				
	意図(どうする、どうなる)	適切に管理する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	議会運営	担当者	議会事務局	係	
	総合計画での位置づけ					
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ					
	関連する主な計画等					
	根拠法令等	憲法、地方自治法、条例				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他
	事業の対象者					
事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定			
実施目的	議会活動の充実と効率化を図るため、議員、事務局間で連携を密にし、適正かつ円滑な議会運営を行う。					

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	本会議(定例会 4回、臨時会 必要に応じて) 委員会等(総務常任委員会、産業建設常任委員会、政策検討委員会 リニア特別委員会、議会全員協議会、議会運営委員会、広報委員会等) 議員研修、県要望及び県議会陳情 自治会単位での懇談及び各種団体との懇談 議会だより発行 議会会議録の作成			
	実績・効果	○会議の開催 本会議(定例会 4回、臨時会 4回)、委員会等(総務常任委員会、産業建設常任委員会、政策検討委員会、リニア特別委員会、議会全員協議会、議会運営委員会、広報委員会、合同委員会、決算(予算)特別委員会等) ○議会広報誌の発行(4回、全戸配布、HP掲載) ○各種団体との懇談会や、議会だよりの内容充実に向けた取組を行い、住民に議会を身近なものと感じてもらふことにより、村政に対する関心を高めるよう努めた。 ○平日や夜間参加できない方をターゲットに住民懇談会を休日の昼間に開催できた。 ○阿智村議会請願及び陳情取扱い要綱を制定できた。			
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	52,173	53,676	55,421	55,262
	一般財源	52,173	53,676	55,421	55,262
	国・県支出金				
	起債				
その他					
従事職員(人)	正規職員				
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	適切な情報公開と効率的な議会運営。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		議員報酬	40,814	議会だより発行	846	
		費用弁償・普通旅費	484	議会会議録調整委託	3,804	
		議員共済会負担金	7,595	各種負担金	551	
		議員共済会事務費	180	議員活動交付金	280	
		議員研修講師謝礼	200	その他	508	
	期待される効果	住民の意見を反映させた政策提言 適正な行財政運営執行の監視 行財政情報の公開				
前年からの改善・工夫	議会運営及び事務処理の向上のため、先進事例の情報収集や研修に努める。 タブレットの導入を行い、DX化、ペーパーレスを進める。					
具体的取組・スケジュール	本会議(定例会 4回、臨時会 必要に応じて) 委員会(総務常任委員会、産業建設常任委員会、政策検討委員会 リニア特別委員会、議会全員協議会、議会運営委員会、広報委員会等) 議員研修、自治会及び各種団体との懇談会、議会だより発行、議会会議録の作成					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	議会運営を円滑に進めるため				
	時期(何時までに)	継続的に				
	意図(どうする、どうなる)	より効果的な支援事務を行い、議会運営の活性化を図る				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

事務事業名	選挙管理委員会	担当者	議会事務局	係	
① 事務事業の概要	総合計画での位置づけ				
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ				
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	地方自治法第180条の5、181条 ほか、公職選挙法			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
	事業の対象者				
	事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	民主主義の根幹をなす選挙の公正な管理執行。 現在の委員、補充員の任期は、令和8年9月29日まで。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	定例会 年4回(定時登録)、臨時会(選挙時等) 選挙人名簿、在外選挙人名簿等各種関係名簿の調整 各種選挙の適正な管理執行 各種研修への参加			
	実績・効果	定例会 年4回(定時登録) 参議院議員通常選挙、衆議院議員総選挙及び阿智村長選挙を適正に管理執行した。 投票区の見直しを行い、16区から13区とした。これに合わせ投票者の投票機会の確保のため送迎タクシーや浪合地区での期日前投票(2時間)の実施を行った。令和8年2月8日同日執行となった衆議院議員総選挙・村長選挙から13投票所となったが、システム改修経費など必要になったものの、歳出面では、投票管理者、立会人、事務従事者などの人件費や投票所維持費等経費の面で66万円以上の削減ができた。			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績・見込額(千円)	212	360	256	346
	一般財源	212	360	256	346
	国・県支出金				
	起債				
	その他				
	従事職員(人)	正規職員			
		臨時職員			

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	引き続き投票区の見直しの検討が必要。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		委員・補充員報酬	236			
		費用弁償・普通旅費	96			
		需用費	14			
	期待される効果	住民一人一人が選挙や政治に関心を持ち、それらに参加する重要な機会を確保することができる。				
	前年からの改善・工夫	投票率の向上を含め、効率的な投開票事務の仕組み作りの研究を行う。				
	具体的取組・スケジュール	定例会を年4回、臨時会を必要に応じて開催 選挙人名簿等各種関係名簿の調整 投票区の見直しについて検討の継続 各種研修等に参加するなどし、選挙知識の向上を図る 各種選挙を適正に管理執行する(長野県知事選挙 令和8年8月31日任期満了)				
	8年度 の目標	対象(何を、誰を)	長野県知事選挙、長野県議会議員一般選挙を			
		時期(何時までに)				
		意図(どうする、どうなる)	適切に執行する			

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	明るく正しい選挙啓発	担当者	議会事務局	係
	総合計画での位置づけ				
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ				
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他				
	事業の対象者				
事業開始年 <input type="checkbox"/> 時期不明 事業の終期 <input type="checkbox"/> 終期未定					
実施目的		選挙違反のない明るくきれいな選挙を行うこと、有権者が棄権することなく投票に参加すること、有権者が普段から政治と選挙に関心を持つよう啓発を行う。			

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	明るい選挙推進委員会の開催 明るい選挙啓発活動 チラシの作成 参議院議員通常選挙の投票呼びかけ 衆議院議員通常選挙及び阿智村議会議員一般選挙の投票呼びかけ 明るい選挙推進ポスターコンクール			
	実績・効果	明るい選挙推進啓発活動(街頭2回) 明るい選挙啓発活動 チラシの全戸配布 明るい選挙推進ポスターコンクール 村内小学生51名 出品 参議院議員通常選挙 投票率 66.91%(前回 66.53%) ※県選挙区 衆議院議員総選挙 投票率 69.02%(前回 65.11%) ※小選挙区 阿智村長選挙 投票率 68.33%(前回 68.12%)			
事業コスト	区分				
	実績・見込額(千円)	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	一般財源	71	141	247	238
	国・県支出金	71	141	247	238
	起債				
	その他				
従事職員(人)	正規職員				
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	若年層に向けた選挙啓発活動、各種選挙制度の周知による投票率の向上。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		推進委員報酬	126			
		費用弁償・普通旅費	16			
		ポスターコンクール	51			
		成人式	45			
	期待される効果	若年層に向けた選挙啓発活動、各種選挙制度の周知による投票率の向上				
	前年からの改善・工夫	具体的な投票率の向上のための懇談				
具体的取組・スケジュール	成人式での啓発 明るい選挙推進ポスターコンクール 8月村内審査 各選挙啓発活動等					
8年度 の目標	対象(何を、誰を)	選挙への関心の向上を				
	時期(何時までに)	継続的に行い				
	意図(どうする、どうなる)	投票率を上げる				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	長野県知事選挙	担当者	議会事務局	係	
	総合計画での位置づけ					
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ					
	関連する主な計画等					
	根拠法令等	公職選挙法				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他
	事業の対象者					
	事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定		
実施目的	公職選挙法に則った適切な選挙事務の執行。					

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組				
	実績・効果				
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)				9,955
	一般財源				500
	国・県支出金				9,455
	起債				
	その他				
従事職員(人)	正規職員				0.5
	臨時職員				

③ 評価	総合評価		事業の方向性	
	課題			

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		報酬	1,732	選挙人名簿調整委託	859	
		職員時間外勤務手当	4,850	ポスター掲示板リース	781	
		旅費	29	送迎委託	167	
		消耗品、燃料	287	その他	857	
	郵送料・新聞折込	393				
	期待される効果	村民一人ひとりが政治に関心を持ち、棄権することなく投票を行うことが期待される。				
	前年からの改善・工夫	投票所16→13 ※前回比較				
具体的取組・スケジュール	適切な選挙事務を執行する。					
8年度 の目標	対象(何を、誰を)	長野県知事選挙				
	時期(何時までに)	令和8年8月				
	意図(どうする、どうなる)	適切に執行する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	長野県議会議員一般選挙	担当者	議会事務局	係	
	総合計画での位置づけ					
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ					
	関連する主な計画等					
	根拠法令等	公職選挙法				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他
	事業の対象者					
	事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定		
実施目的	公職選挙法に則った適切な選挙事務の執行。					

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組				
	実績・効果				
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)				9,393
	一般財源				500
	国・県支出金				8,893
	起債				
	その他				
従事職員(人)	正規職員				0.5
	臨時職員				

③ 評価	総合評価		事業の方向性	
	課題			

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		報酬	1,455	選挙人名簿調整委託	866	
		職員時間外勤務手当	4,475	ポスター掲示板リース	1,016	
		旅費	29	送迎委託	167	
		消耗品等	207	その他	785	
		郵送料・新聞折込	393			
	期待される効果	村民一人ひとりが政治に関心を持ち、棄権することなく投票を行うことが期待される。				
	前年からの改善・工夫	投票所16→13 ※前回比較				
	具体的取組・スケジュール	適切な選挙事務を執行する。 ※令和9年4月執行予定の長野県議会議員一般選挙について、8年度中(令和9年3月)の必要経費について計上する。				
8年度 の目標	対象(何を、誰を)	長野県議会議員一般選挙				
	時期(何時までに)	令和9年4月				
	意図(どうする、どうなる)	適切に執行する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	浪合地区振興事業	担当者	総務課 浪合振興室係
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-6.健全で持続可能な行財政運営		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/3.自治と協働の村づくり		
	関連する主な計画等			
	根拠法令等	阿智村・浪合村合併協定		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
事業の対象者	浪合地区住民			
事業開始年	平成18年1月1日 <input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	浪合地区住民の総合窓口として、住民サービスの維持、ライフラインの確保、公共施設等の管理、災害時の拠点機能の維持、地域の振興事業を推進する。本庁機関と地域住民、自治会、公民館等の各種団体との連絡調整、活動の支援を行う。			

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・振興室窓口事務及び庁舎ほか地区内公共施設管理 ・自治会の事務局的役割、公民館活動の拠点として活動 ・地域課題への取り組みや振興策の推進 ・浪合フォーラム改修事業(建具、雨樋、屋根) ・もみじ平森林総合利用施設場内道路改修工事(道路改修)			
	実績・効果	・公共施設を安心して利用できるようになった。 ・地区住民の身近な行政窓口として住民サービスの向上維持する取り組みができた。 ・地域課題に迅速に対応するための地域支援と事業実施に効果が得られる。 ・地区住民への情報発信アプリの活用。			
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	65,268	78,333	56,835	41,672
	一般財源	40,546	39,731	51,591	38,228
	国・県支出金	11,730	0	0	
	起債	9,000	2,700	4,500	
	その他	3,992	35,902	744	3,444
従事職員(人)	正規職員	1	1	1	1
	臨時職員	2	2	2	2

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	地域振興の事務所として、また発災時の拠点としての機能を充実させること。 地域内公共施設等の有効活用、維持管理。 自主防災組織が発災時に機能できるような取り組みをしていく。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		人件費	18,590	公用車管理費	4,113	
		庁舎管理費	6,857			
		公共施設管理費	7,512			
		庁舎工事費	1,650			
		公共施設工事費	2,950			
期待される効果	地区住民に対する身近な行政窓口としてサービスを維持できる。 公共施設等の改修、見直しにより他地域の方との交流の増進、安全が担保されることで活用され地域振興向上について地域住民の意識の発展につながる。					
前年からの改善・工夫	・公共施設の改修 ・地区住民へ防災でも活用できる情報発信アプリの活用					
具体的取組・スケジュール	・浪合フォーラム改修事業(コアホール手摺改修) ・コミュニティーホール改修事業(出入口風除室、スロープ) ・車庫修繕工事(鉄骨修繕) ・浪合コアを地域防災の拠点施設として機能するよう充実を図る。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	地域振興事業・公共施設等維持管理事業				
	時期(何時までに)	年間を通じ				
	意図(どうする、どうなる)	推進・継続する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	清内路地区振興事業	担当者	総務課 清内路振興室
	総合計画での位置づけ	1.くらし・いきがい・協働/1-6.健全で持続可能な行財政運営		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり		
	関連する主な計画等			
	根拠法令等			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
事業の対象者	清内路地区住民			
事業開始年	H21.3.31 <input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	清内路地区の全ての住民が安心して住み続けられるための行政サービス・ライフラインの確保、災害時の拠点機能の維持、本庁との連絡調整や住民、各種団体等との協働により地域振興を図る。			

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振興室窓口事務及び清中プラザほか地域内公共施設管理</li> <li>・自治会の事務局的役割、公民館・小学校など各種団体への支援・協力</li> <li>・本庁担当係等と連携して地域課題への取組や振興策の推進</li> <li>・リニアへの地元清内路地区としての対応を協議</li> <li>・ふるさと村自然園の修繕維持(濾過ポンプ取替)</li> <li>・除雪機の更新</li> <li>・防災備蓄品の適時適切な更新</li> </ul>			
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民の身近な行政窓口としてサービスを維持する取り組みができた。</li> <li>・自治会・公民館などの協働による地域課題への取組や振興策の推進により、地域活動が行われている。</li> <li>・自治会リニア対応代表者会や村道1-20号地権者・利用者の会等への協力により住民生活への負荷軽減と、地域振興につなぐ活動が継続して行われている。</li> <li>・公共施設の改修により利用者の満足度向上、施設の利用者数の向上化に繋がった。</li> <li>・集落支援員・阿智高生による、伝統野菜の保存や伝統野菜を使った商品開発された。</li> </ul>			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	55,233	57,020	31,971	35,556
	国・県支出金	46,307	56,977	29,871	33,416
	起債	8,900			
	その他	26	43	2,100	2,140
	従事職員(人)	正規職員	2	2	2
	臨時職員	1	1	1	1

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	・地域内公共施設等の有効利活用 ・高齢化による住民自主活動への支障(担い手不足) ・定住・移住の推進 ・公共施設の経年劣化		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		人件費	19,022	清中プラザ利用推進	256	
		庁舎維持管理費	7,663	ふるさと村自然園関連	1,595	
		公共施設維持管理費	947	夜間送迎	4,460	
		公用車維持管理費	1,023			
地域振興事業費		590	合計	35,556		
期待される効果	・清内路地区住民に対する身近な行政窓口としてサービスを維持できることで、住民の利便性が確保される。 ・公共施設等の改修により長寿命化や利用率の改善が見込まれると共に、地区外住民との交流の場の提供にも繋がり、地域振興についての住民意識の向上が期待できる。					
前年からの改善・工夫	・清内路夜間送迎車両の更新 夜間送迎車両の安全確保と、維持管理費の削減を図る。 ・施設維持管理費の見直しと、更なる経費削減に努める。					
具体的取組・スケジュール	・通年で振興室・公共施設の維持管理を行う。 ・リニア関連は地元の安全を第一と捉えた上で住民に寄り添った対応を行う。 ・教育委員会と連携し、ミズナラの今後について住民と一緒に検討していく。 ・第8期清内路振興協議会を立上げ、清内路地域の振興策について検討していく。 ・清中プラザを地域の防災拠点として機能するよう更なる充実を図る。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	地域振興事業・公共施設等維持管理事業				
	時期(何時までに)	年間を通じ				
	意図(どうする、どうなる)	推進・継続する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	子ども祝い券支給事業	担当者	民生課	福祉係
	総合計画での位置づけ	2.教育・文化・地域愛/2-1.地域で育む子育て支援			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	3.結婚・子育ての切れ目ない支援/2.子育てしやすい環境づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	健やか育児支援祝金支給要綱			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	村内在住の村内保育園入園した者及び小中学校へ入学した者の保護者			
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	子育て世代の応援として、子どもの成長する節目にその成長を祝福し、子どもの健やかな育成と明るい家庭づくりを支援する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	子ども祝い券(健やか育児支援金)は、ふるさと振興基金を原資とし、お祝い品として村内事業所で使うことができる商品券1万円分を贈呈する。																																							
	実績・効果	【健やか育児支援金】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>配布</th> <th>利用金額</th> <th>利用率</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【参考】令和2年度</td> <td>153名</td> <td>1,501千円</td> <td>98.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>158名</td> <td>1,533千円</td> <td>97.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>154名</td> <td>1,522千円</td> <td>98.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5年度</td> <td>159名</td> <td>1,544千円</td> <td>97.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6年度</td> <td>131名</td> <td>1,294千円</td> <td>98.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7年度</td> <td>171名</td> <td>1,667千円</td> <td>97.5%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					年度	配布	利用金額	利用率	%	【参考】令和2年度	153名	1,501千円	98.1%		3年度	158名	1,533千円	97.0%		4年度	154名	1,522千円	98.8%		5年度	159名	1,544千円	97.1%		6年度	131名	1,294千円	98.8%		7年度	171名	1,667千円	97.5%	
	年度	配布	利用金額	利用率	%																																				
【参考】令和2年度	153名	1,501千円	98.1%																																						
3年度	158名	1,533千円	97.0%																																						
4年度	154名	1,522千円	98.8%																																						
5年度	159名	1,544千円	97.1%																																						
6年度	131名	1,294千円	98.8%																																						
7年度	171名	1,667千円	97.5%																																						
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度																																				
実績・見込額(千円)	一般財源	1,601	1,351	1,724	1,316																																				
	国・県支出金	57	57	57	66																																				
	起債																																								
	その他	1,544	1,294	1,667	1,250																																				
	従事職員(人)	正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1																																			
	臨時職員	0.1	0.1	0.1	0.1																																				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	100%使用していただけるような工夫が必要		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		報償費(子ども祝券)	1,250			
		消耗品費	7			
		印刷製本費	59			
	期待される効果	子育て家庭の経済的負担の軽減 村内商工業事業所の経済的効果				
	前年からの改善・工夫	使用期限前に、使用していただけるよう学校を通じて対象家庭へお知らせを配布する。 業者からの換金忘れがないようお知らせする。				
具体的取組・スケジュール	【健やか育児祝金】 入園・入学時に交付 4月～7月 祝い券使用期間 5月～8月 換金(商工会) 9月末 精算 3月 次年度分利用券印刷					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	子ども祝い券を				
	時期(何時までに)	4月の入園・入学時に				
	意図(どうする、どうなる)	遅延なく交付する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

事務事業名	地域子育て支援拠点事業(こども広場)	担当者	教育委員会 こども家庭センター
①事務事業の概要	総合計画での位置づけ	2.教育・文化・地域愛/2-1.地域で育む子育て支援	
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	3.結婚・子育ての切れ目ない支援/2.子育てしやすい環境づくり	
	関連する主な計画等	阿智村子ども・子育て支援事業計画	
	根拠法令等	児童福祉法 子ども子育て支援法 児童虐待防止法	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他	
	事業の対象者	0歳から18歳までの児童とその保護者・家族等子育てに関わるすべての世代	
	事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期
実施目的	妊娠期から18歳までの児童とその家族を対象に一元的に集約した切れ目のない支援を行う。子育て中の親子や家族が交流を行う場と情報を提供し、子育ての援助を行う。成長や発達に応じた専門性をもった切れ目のない支援を行う。		

②令和7年度の取組・実績	具体的取組	・こども家庭センター「あちっ子プラザ」開所(通年) ・親子・家族のつどいの場、こども広場の提供と運営・クリスマス会 わくわくキッチンの実施 ・1,2歳児教室の開催、子育て講座 各体験講座の実施 ・育児及び子育て相談、家庭相談とその援助業務 ・養育支援、療育・母子保健事業、保育園との連携、他機関、専門機関との連携と早期対応 ・子育て支援専門研修、虐待対応専門研修・保育サポーター養成講座実施 ・阿智村公式ラインによるこども広場や子育て支援の情報や案内を発信、HP更新																																																													
	実績・効果	令和7年12月31日現在 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>こども広場</th> <th>さくらんぼ</th> <th>つぼみ</th> <th>浪合</th> <th>清内路</th> <th>保育園訪問</th> <th>各種訪問</th> <th>おひさま</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>2歳児教室</td> <td>1歳児教室</td> <td>わくわく</td> <td>うきうき</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>日数・回数</td> <td>181</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>25</td> <td>19</td> <td>34</td> </tr> <tr> <td>登録数</td> <td></td> <td>6</td> <td>6</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>延べ利用数</td> <td>793組</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>0</td> <td>43</td> <td></td> <td></td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>(人)</td> <td>1,954人</td> <td>91</td> <td>60</td> <td>対象0</td> <td>97</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>									こども広場	さくらんぼ	つぼみ	浪合	清内路	保育園訪問	各種訪問	おひさま			2歳児教室	1歳児教室	わくわく	うきうき				日数・回数	181	11	11	0	9	25	19	34	登録数		6	6					36	延べ利用数	793組	36	36	0	43			37	(人)	1,954人	91	60	対象0	97			
		こども広場	さくらんぼ	つぼみ	浪合	清内路	保育園訪問	各種訪問	おひさま																																																						
		2歳児教室	1歳児教室	わくわく	うきうき																																																										
日数・回数	181	11	11	0	9	25	19	34																																																							
登録数		6	6					36																																																							
延べ利用数	793組	36	36	0	43			37																																																							
(人)	1,954人	91	60	対象0	97																																																										
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度																																																										
	実績・見込額(千円)	20,303	10,632	7,703	5,717																																																										
	一般財源	3,419	3,329	849	2,126																																																										
	国・県支出金	16,734	7,264	6,822	3,441																																																										
	起債																																																														
	その他	150	39	32	150																																																										
従事職員(人)	正規職員	0.5	1	1	1																																																										
	臨時職員	3	2	3	3																																																										

③評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	出生数の低下を受けた参加者数減により、教室や行事等の内容や取り組みの見直しが必要。		

④8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		人件費	3,705	研修会等負担金	35	
		講師謝礼	195	保育サポーター保険料	67	
		委託料	922			
		需要費	505			
		使用料	288			
期待される効果	「阿智村こども家庭センター」運営により、使い易い子育て支援サービスの提供と向上、子育て支援の体制と環境整備が図られることで、誰もが安心して子育てができる村となる。きめ細かい相談や支援を実施し、家庭の養育力や子どもが成長する力を育む。					
前年からの改善・工夫	乳幼児、未就園児とその保護者・家族に対し、社会情勢やニーズに合わせたきめ細かいサービスの提供に努める。専門性を生かし、地域連携を果たしながら様々な年齢教室や講座、イベントを開催する。ホームページのリニューアルを受け、分りやすく即時性のある情報発信を行う。					
具体的取組・スケジュール	4月 ホームページおよび公式ラインの更新、研修 通年 こども広場開所、各年齢教室、親子教室、体験講座を開催 育児や養育に関する相談と支援サービスの提供					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	阿智村こども家庭センター運営により				
	時期(何時までに)	通年				
	意図(どうする、どうなる)	安心して子育てができる地域とする				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	●こども家庭センター事業	担当者	教育委員会 こども家庭センター
	総合計画での位置づけ	2.教育・文化・地域愛/2-1.地域で育む子育て支援		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	3.結婚・子育ての切れ目ない支援/2.子育てしやすい環境づくり		
	関連する主な計画等	阿智村子ども・子育て支援事業計画		
	根拠法令等	児童福祉法 子ども子育て支援法 児童虐待防止法 市町村子ども家庭指針		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
	事業の対象者	0歳から18歳までの児童とその保護者・家族等子育てに関わるすべての世代		
事業開始年	令和6年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定
実施目的	妊娠期から18歳までの児童とその家族を対象に、一元的に集約した切れ目のない支援を行う。地域のすべての子どもと家庭の相談に対応し、児童及びその家庭状況を把握し必要な支援を行う。特別な支援が必要となる児童、家庭に対し専門性をもった支援を行う。			

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・阿智村こども計画策定。こども計画策定委員会(児童福祉審議会)、若者委員会開催 ・家庭相談、虐待相談と援助業務 統括支援員、こども家庭専門主事等専門職配置 継続 ・母子保健担当保健師、心理職、母子保健事務担当配置 機関連携の充実 ・教育支援センター運営。学校不適応児童生徒の教育相談、通室指導、学校連携対応 ・児童生徒に関する3つの支援ネットワーク会議の開催。個別支援会議開催、参加 ・こども家庭センター研修・会議、児童虐待対応専門研修、地域合同会議参加 ・若者の居場所支援研修、発達支援、不登校対応研修等参加				
	実績・効果	【児童生徒支援ネットワーク会議】年4回開催(うち研修会1)対象児童への対応。支援会議参加124回 学校訪問43回 新規相談8件 【子育て支援ネットワーク協議会】代表者会1回 実務者会議3回 個別ケース会議23回 新規相談64件 里親制度説明会開催 【生活・生徒指導ネットワーク会議】年4回 研修会1回 いじめ不登校の現状共有と未然防止 【教育支援センター】通室指導 教育相談25件 不登校相談17件 支援会議81回 (令和7年12月31日現在)				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	9,397	40,350	38,264	36,150
		国・県支出金	9,047	27,925	29,942	18,975
		起債	350	12,425	8,322	17,175
		その他				
		従事職員(人)	正規職員	0.5	0.5	1
	臨時職員	0.5	1	3	3	

③ 評価	総合評価	A	事業の方向性	拡充
	課題	こども家庭センター開所2年目となり、安定した業務・事業の展開ができた。特に相談対応業務について成果があった。今後もセンター業務の周知、広報の工夫と徹底が必要。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		人件費	33,162	備品購入費	32	
		講師謝礼	230	通信運搬費	186	
		委託料	1,670	研修会等負担金	65	
		需要費	781			
		使用料	24			
期待される効果	すべての妊産婦と0歳から18歳までの児童とその家族・家庭に丁寧な支援を図ることにより、誰もが村の中で安心して子育てができる。児童虐待防止、発達障がいや不登校等の課題に対し切れ目のない支援を行うことで、こどもの心身豊かな成長と家庭養育の安定が図られる。					
前年からの改善・工夫	ネットワーク会議の効率的運用を図り、多様化、複雑化する相談援助内容に対応するため、職員の専門性の向上と連携支援の力を高め、各機関との協働をより円滑にしていく。阿智村こども計画を施行し、計画の進行に対して検証を行う。 ●家庭支援事業のメニューを追加し、各家庭及び児童のニーズに対応する。					
具体的取組・スケジュール	4月 阿智村こども計画施行・運用開始。6,10,12月 児童福祉審議会にて計画検証実施。 6月 15歳から18歳の若者に向けて促進グッズを使い相談窓口の周知と啓発を行う。 通年 こども家庭支援事業、各種相談対応と機関連携の実施。 統括支援員、保健師、心理士、こども家庭相談員等の専門研修参加。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	阿智村こども家庭センター運営により				
	時期(何時までに)	通年				
	意図(どうする、どうなる)	こども家庭支援、相談援助機能の充実を図る				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	学童保育事業	担当者	教育委員会	こども家庭センター	
	総合計画での位置づけ	2.教育・文化・地域愛/2-1.地域で育む子育て支援				
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	3.結婚・子育ての切れ目ない支援/2.子育てしやすい環境づくり				
	関連する主な計画等					
	根拠法令等	こども大綱 子ども子育て支援法 児童福祉法 児童虐待防止法 放課後児童クラブ運営指針				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	<input checked="" type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他
	事業の対象者	小学校就学児童とその保護者				
事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定			
実施目的	小学校就学児童の保護者が就労等により昼間留守になる家庭に対して、地域との連携による児童の発達段階に応じた適切な遊びや生活の場を提供することで、安心安全な環境を保障し、保護者の就労と生活を支援する。					

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内5小学校区で事業実施。浪合校区、清内路校区は法人委託。他は直営。</li> <li>・入所説明会・入所審査基準による適正な受入れ。要配慮児童のための加配支援員配置。</li> <li>・放課後児童支援員認定資格講習参加1名、資格取得。救急救命・防犯講習実施(年2回)</li> <li>・放課後児童クラブ安全計画により職員及び児童による定期防災、防犯訓練を実施。</li> <li>・学校学童連絡会実施(3校/年2回)</li> <li>・入退館システム「ゲートウォッチャー」のアプリ機能更新で利用者の利便性を向上させた。</li> </ul>																																															
	実績・効果	<p style="text-align: right;">令和7年12月31日時点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">学童保育</th> <th rowspan="2">学校区</th> <th rowspan="2">登録児童</th> <th colspan="2">開催日数</th> <th rowspan="2">利用数 (延べ人数)</th> </tr> <tr> <th>うち学校休業</th> <th>うち土曜保育</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>わんぱくクラブ</td> <td>第一小</td> <td>64</td> <td>206</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>6,598</td> </tr> <tr> <td>児童クラブにじ</td> <td>第二小</td> <td>47</td> <td>181</td> <td>26</td> <td>0</td> <td>5,055</td> </tr> <tr> <td>プレイパーク</td> <td>第三小</td> <td>24</td> <td>179</td> <td>25</td> <td>0</td> <td>1,812</td> </tr> <tr> <td>はなもも</td> <td>清内路小</td> <td>15</td> <td>22</td> <td>22</td> <td>0</td> <td>172</td> </tr> <tr> <td>浪合児童クラブ</td> <td>浪合小</td> <td>6</td> <td>131</td> <td>23</td> <td>5</td> <td>380</td> </tr> </tbody> </table>					学童保育	学校区	登録児童	開催日数		利用数 (延べ人数)	うち学校休業	うち土曜保育	わんぱくクラブ	第一小	64	206	26	27	6,598	児童クラブにじ	第二小	47	181	26	0	5,055	プレイパーク	第三小	24	179	25	0	1,812	はなもも	清内路小	15	22	22	0	172	浪合児童クラブ	浪合小	6	131	23	5	380
	学童保育	学校区	登録児童	開催日数		利用数 (延べ人数)																																											
				うち学校休業	うち土曜保育																																												
わんぱくクラブ	第一小	64	206	26	27	6,598																																											
児童クラブにじ	第二小	47	181	26	0	5,055																																											
プレイパーク	第三小	24	179	25	0	1,812																																											
はなもも	清内路小	15	22	22	0	172																																											
浪合児童クラブ	浪合小	6	131	23	5	380																																											
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度																																												
	実績・見込額(千円)	24,541	36,432	37,674	37,194																																												
	一般財源	11,045	15,418	17,616	17,463																																												
	国・県支出金	11,346	17,377	16,230	16,230																																												
	起債																																																
	その他	2,150	3,637	3,828	3,501																																												
	従事職員(人)																																																
	正規職員	1	1	1	1																																												
	臨時職員	9.5	10	10.5	10.5																																												

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	保護者の就労率増加に伴い低学年児童の登録利用数が増加。学童保育本来の目的である就労支援に沿った登録審査、受理が必要。多様な児童に対応するための職員の専門性と資質の向上。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		人件費	29,005	通信運搬費	629	
		需用費	1,062	委託料	4,360	
		食料費	1,814	学童保育保険	33	
	講師謝礼	60				
	使用料	231				
期待される効果	就労家庭の「小1の壁」打破とともに、すべての校区の就労家庭児童が放課後等安全・安心に過ごす居場所を確保し健全な成長を促すことで、保護者が安心して就労することができる。					
前年からの改善・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>★長期休業時における食事提供の段階的实施。(夏休み3日、春休み2日の計5日を予定)</li> <li>・要配慮児童への加配支援員配置を維持を図り、支援に関する研修や学習会等の開催。</li> <li>・学童保育安全マニュアルの確認と点検の実施。</li> <li>・防災防犯対策の専門的な訓練、学習機会を設け対応の強化を図る。</li> <li>・保育学習会や不適切保育の未然防止研修にて職員の意識と資質向上に努める。</li> </ul>					
具体的取組・スケジュール	4月 新年度受入開始 入所式 新規利用者への入退館システム利用説明及び利用開始 5月～10月 職員研修会、学習会 10月～放課後児童支援員認定資格研修受講(県指定の日程) 12月 次年度入所登録・募集案内開始 1月 入所申込説明会 2月:入所判定会議、決定 3月:入所及び新年度準備 通年 学校学童連絡会、クラブリーダー会、支援員会議、研修会、防犯防災定期訓練					
8年度の目標	時期(何時までに)	利用児童とその保護者に				
	意図(どうする、どうなる)	通年 安心で安全な保育と環境を提供する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	放課後児童健全育成事業 (放課後子供教室)	担当者	教育委員会	こども家庭センター
	総合計画での位置づけ	2.教育・文化・地域愛/2-1.地域で育む子育て支援			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	3.結婚・子育ての切れ目ない支援/2.子育てしやすい環境づくり			
	関連する主な計画等	阿智村第二期子ども・子育て支援事業計画			
	根拠法令等	児童福祉法 子ども子育て支援法			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	<input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他
	事業の対象者	小学校就学児童とその保護者			
	事業開始年	令和3年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定
実施目的	放課後や週末等に学校施設等を活用して児童の安全・安心な居場所を設け、地域住民の参画を得て、学習やスポーツ、文化活動、地域との交流活動等の事業を実施する。児童が地域社会の中で心豊かで健やかに成長できる環境づくりを推進する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内5小学校区で事業を実施。浪合小、清内路小は法人への業務委託。</li> <li>・放課後こどもサポーター(講師、サポートスタッフ)23名登録。</li> <li>・放課後子供教室運営協議会開催(5月、10月、2月)</li> <li>・校区ごとの実行委員会開催、地域での組織的運営や業務委託における地域密着運営の安定化への取り組み。</li> <li>・スポーツ、レクリエーション、物作り、魚釣り魚取り等、地域散策など野外体験企画の実施。</li> </ul>				
	実績・効果	令和7年12月31日時点				
		学校区	年間予定数	開催回数	活動内容	利用児童 (延べ人数)
		第一小	12	9	スポーツ、制作、魚釣り、正月飾り作り	459
		第二小	12	9	スポーツ、制作、正月飾り作り	294
		第三小	12	10	スポーツ、制作、ミニ門松づくり	213
		清内路小	20	12	和太鼓、スポーツ、制作	184
	浪合小	50	36	サッカー、テニス、登山	888	
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		実績・見込額(千円)	2,451	3,382	3,250	3,428
一般財源		1,871	2,622	2,534	2,806	
国・県支出金		580	760	716	622	
起債						
その他						
従事職員(人)	正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5	
	臨時職員	3.5	4	4	4	

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	運営や活動、地域連携の定着がみられたが、内容や参加者の固定化傾向がある。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		人件費	1,515	委託料	364	
		委員等報酬	135	講師謝礼	1,002	
		委員旅費	12			
		サポーター旅費	120			
		需要費	280			
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内すべての小学生が、放課後に安全・安心に過ごせる時間や機会及び居場所となる。</li> <li>・体験活動や異年齢交流を通し、健全な成長発達を促す。</li> <li>・地域の方やとの交流と文化行事体験から地域への愛着を深める。</li> <li>・児童の自主性・協調性・社会性・思いやりの心が育つ。</li> </ul>				
	前年からの改善・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な講師を活用し、放課後サポーターの人材発掘、増員に努める。</li> <li>・より多くの児童の参加を促すため活動内容の見直しと広報の工夫を行う。</li> <li>・地域の特色を生かした新たな体験の取り入れ(歴史学習や自然体験)</li> <li>・児童が遊びや決まり事など主体的に考え、活動する機会を設ける。</li> <li>・開催後のアンケート集約を行い、児童と保護者の思いや意見を把握し活動に反映させる。</li> </ul>				
具体的取組・スケジュール	通年:放課後子供教室運営協議委員会開催(年3回 4月・10月・3月) 5月~保護者説明会、年間登録手続き 第一回教室開催 各学校毎の定期開催開始 7月~10月 新・放課後総合プラン研修会(県開催) 参加 2月 年間反省、新年度準備					
8年度 の目標	対象(何を、誰を)	小学生と地域の住民が				
	時期(何時までに)	通年				
	意図(どうする、どうなる)	放課後子供教室を通して有意義な交流や体験をする				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	阿智村学校のあり方検討委員会	担当者	教育委員会	学校教育係
	総合計画での位置づけ	2.教育・文化・地域愛/2-2.明日を生きる力を育む学校教育			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	3.結婚・子育ての切れ目ない支援/3.地域に根ざした質の高い教育の推進			
	関連する主な計画等	教育行政大綱			
	根拠法令等	阿智村学校のあり方検討委員会設置要綱			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者					
事業開始年	令和6年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	令和7年度	<input type="checkbox"/> 終期末定
実施目的	本村における児童生徒数の推移を踏まえ、阿智村立小学校及び中学校の将来を展望した学校のあり方について、阿智村学校のあり方検討委員会を設置し、幅広い見地から検討し、方向性を見出す。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校のあり方検討委員会 4月 7月 9月 10月 12月 1月 2月</li> <li>・小委員会 5月 6月 9月 10月</li> <li>・第1回地区懇談会(中間まとめの説明) 各自治会 4月</li> <li>・村内小中学校視察・教職員との懇談会 6月</li> <li>・第2回地区懇談会(最終答申骨子案の説明) 各自治会 9月 10月、全体会 10月</li> <li>・保育園、小学校保護者懇談会 各学区ごと 11月 12月</li> <li>・最終答申提出 2月</li> <li>・最終答申説明会 3月</li> </ul>			
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区懇談会では広く村民の意見を聴取すると共に、保育園・小学校保護者懇談会では、小グループによる懇談をし、新しい学校のあり方に関心を持った意見を聴取することができた。</li> <li>・毎回の委員会、各種懇談会の記録を速やかに作成し、ホームページに掲載、村民に周知・報告することができた。</li> <li>・2年間のまとめとして「最終答申」を提出し、村内全家庭に配布</li> </ul>			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績・見込額(千円)	0	780	2,565	0
	一般財源		780	2,565	
	国・県支出金				
	起債				
	その他				
	従事職員(人)				
	正規職員				
	臨時職員		0.3	0.6	

③ 評価	総合評価	A	事業の方向性	終了
	課題			

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
	期待される効果					
	前年からの改善・工夫					
	具体的取組・スケジュール					
	8年度の目標	対象(何を、誰を)				
		時期(何時までに)				
		意図(どうする、どうなる)				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	★阿智村新たな学校づくりプロジェクト事業	担当者	教育委員会	学校教育係
	総合計画での位置づけ	2.教育・文化・地域愛/2-2.明日を生きる力を育む学校教育			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	3.結婚・子育ての切れ目ない支援/3.地域に根ざした質の高い教育の推進			
	関連する主な計画等	教育行政大綱			
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者					
事業開始年	令和8年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	学校のあり方検討委員会からの答申を受け、阿智村立義務教育学校の開校に向けて、必要な事項を検討、調整を図り、準備を推進していく。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	令和8年度以降の取組、スケジュールを検討。			
	実績・効果	開校に向けて必要となる、阿智村立義務教育学校開校準備委員会、各部会の構成案を作成。			
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	0	0	1,298	7,111
	一般財源			1,298	7,111
	国・県支出金				
	起債				
	その他				
従事職員(人)	正規職員				0.3
	臨時職員			0.2	0.4

③ 評価	総合評価		事業の方向性	
	課題			

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		報酬	2,898			
		旅費	613			
		支援委託料	3,600			
	期待される効果	阿智村立義務教育学校開校準備委員会を設置し、開校に向け協議を推進する。知識と経験のある業者から新たな学校づくりプロジェクト事業の支援を受けることで、準備業務を効率的に進めることができる。				
	前年からの改善・工夫					
	具体的取組・スケジュール	・阿智村立義務教育学校開校準備委員会の開催 ・各部会の開催 ・視察研修の実施 ・講演会・報告会の開催				
	8年度の目標	対象(何を、誰を)	阿智村立義務教育学校開校準備委員会を			
		時期(何時までに)	4月までに設立し			
		意図(どうする、どうなる)	開校に向けて協議を進める			

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	学校教育施設整備事業	担当者	教育委員会	学校教育係
	総合計画での位置づけ	2.教育・文化・地域愛/2-2.明日を生きる力を育む学校教育			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	3.結婚・子育ての切れ目ない支援/3.地域に根ざした質の高い教育の推進			
	関連する主な計画等	教育行政大綱			
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者					
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	・児童生徒の学習環境および生活環境を充実させる。 ・老朽化してきた学校施設を整備する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	各校の改修箇所を計画的に整備した。 第一小・・・特別支援教室に空調設備設置 第二小・・・特別支援学級教室の床面改修、職員トイレ改修、体育館軒天井改修 第三小・・・職員用トイレ改修、児童用トイレ改修、体育館トイレ改修 浪合小・・・図書館照明LED化、外灯改修、 清内路小・・・職員室・保健室のサッシ改修 阿智中・・・集会室に空調設備設置、職員トイレ改修				
	実績・効果	空調設備の設置、特別支援教室の床面カーペット化では学習環境の向上、トイレの洋式化では衛生環境の向上、その他の工事では施設の改善や安心・安全を図ることができた。 学校教育活動に支障がないよう、夏休み中に工事を竣工することができた。				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	64,636	75,357	28,143	26,549
		国・県支出金	21,536	20,457	8,143	1,949
		起債				11,700
		その他	43,100	54,900	20,000	12,900
	従事職員(人)	正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3
		臨時職員				

③ 評価	総合評価	<b>B</b>	事業の方向性	<b>継続・維持</b>
	課題	老朽化による改修、照明のLED化が進んでいない学校があるため、引き続き計画的な改修を行う必要がある。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		第一小整備工事	5,885			
		第二小整備工事	550			
		浪合小整備工事	2,550			
		清内路小整備工事	230			
	阿智中整備工事	17,334				
期待される効果	第一小は屋根の改修、第二小は体育館トイレ洋式化、浪合小は体育館のトイレ洋式化、防犯カメラ更新、清内路小は昇降口照明改修、阿智中は南校舎2階・3階の照明LED化、南校舎3階の教室に空調設備設置により教育環境の改善・充実が期待される。					
前年からの改善・工夫	・蛍光灯の製造・輸出入が禁止になることに伴い、LED化を推進する。 ・昨年度に引き続き空調設備の設置、トイレの洋式化を中心に改修を推進する。					
具体的取組・スケジュール	4月工事管理設計委託の発注 5月以降随時工事発注 空調設備は夏休みまでに竣工、その他の工事は2学期中に竣工し、学校教育活動に支障がないように努める。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	各工事を				
	時期(何時までに)	2学期中までに				
	意図(どうする、どうなる)	竣工出来るよう計画的に進める				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

事務事業名	●学力向上支援事業	担当者	教育委員会	学校教育係
①事務事業の概要	総合計画での位置づけ	2.教育・文化・地域愛/2-2.明日を生きる力を育む学校教育		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	3.結婚・子育ての切れ目ない支援/3.地域に根ざした質の高い教育の推進		
	関連する主な計画等	教育行政大綱		
	根拠法令等			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
	事業の対象者			
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	児童生徒が基礎的・発展的な学力や心身の逞しさを身につけ、将来の夢や進路の実現に向けて、伸び伸びと充実した学校生活を送ることができる教育を目指す。			

②令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公営学習塾「若駒アカデミー」 中学校全学年を対象に実施した。</li> <li>・理科専科指導教員 5校を計画的に訪問 ・音楽専科指導教員 3校を計画的に訪問</li> <li>・学校司書 6校を計画的に訪問 ・部活動支援員 中学校に配置</li> <li>・複式支援員、特別支援教育支援員、放課後学習支援員等の配置</li> <li>・学力向上、ふるさと学習、英語各委員会を開催</li> <li>・保小中12年間を一貫した英語教育の推進、英語教育専門員の配置、英語検定・数学検定補助の実施、英語検定・数学検定対策講座の開設、海外の学校とのオンライン交流を実施</li> </ul>				
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校支援のための専科指導教員(英・算・数・理・音)、村費教員や各種支援員の配置により、きめ細かい対応をすることができ、安定した学校運営を行うことができた。</li> <li>・英語検定、算数・数学検定の対策講座の実施、海外の学校と交流授業をすることで、児童生徒の学習意欲の向上が図られた。</li> <li>・海外語学研修事業は、中学生14名、高校生8名の22名が参加し、現地校との交流、現地の家庭を訪問するホームビジット、大学生に市内を案内してもらいB&amp;Sプログラム等での研修にも意欲的に取り組み、異文化理解や英語学習への興味が増すきっかけとなった。</li> </ul>				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	96,518	101,243	114,749	117,241
		国・県支出金	91,455	93,180	105,321	107,913
		起債	797	756	388	428
		その他	4,266	7,307	9,040	8,900
		従事職員(人)	正規職員			
	臨時職員	0.2	0.2	0.2	0.2	

③評価	総合評価	B	事業の方向性	拡充
	課題	各教育委員会がスタッフの充実を図っており、教員の定年延長も重なり、村費教員や各種支援員の確保が難しくなっている。放課後学習等で、きめ細かい指導を進めているが、学力検査で思うように結果が出せない状況にある。		

④8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		英語数学検定補助	400	学校司書	2,574	
		ALT委託料	12,045	学校教育専門主事	16,766	
		海外語学研修事業	9,500	ICT機器	10,778	
		公営学習塾講師等	1,814	複式解消等教員	21,685	
理科音楽等専科		12,078	特別支援教育支援員等	29,601		
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全小中学校に特別支援教育支援員を配置するとともに、必要に応じて複式支援員や学校司書等を配置することで、学校教育の多様なニーズに応えることができる。</li> <li>・専科指導教員の配置(英語、数学・算数、理科、音楽)により学力向上につながる。</li> <li>・コース別授業の導入により、先取り学習や発展学習、また基礎から丁寧に学べるようになり、学力向上(底上げ)につながる。</li> <li>・教職員のICT研修やICT機器の活用により、児童生徒のさらなる学力向上につながる。</li> </ul>					
前年からの改善・工夫	★村費講師を配置し、中学2・3学年の英語・数学の授業を3つのコース別(基礎的な内容と応用的な内容をバランスよく学習する充実コースを2講座、基礎的な内容を活用しながら応用力の充実を図る発展コースを1講座)として実施する。					
具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公営学習塾「若駒アカデミー」の開講。</li> <li>・英語検定・数学検定の対策講座を実施。</li> <li>・7月30日～海外語学研修事業を実施。</li> </ul>					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	専科指導教員を				
	時期(何時までに)	村内小中学校に配置することで				
	意図(どうする、どうなる)	児童生徒の学力向上を図る				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	学校給食運営事業	担当者	教育委員会	共同調理場係
	総合計画での位置づけ	2.教育・文化・地域愛/2-2.明日を生きる力を育む学校教育			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	3.結婚・子育ての切れ目ない支援/3.地域に根ざした質の高い教育の推進			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者					
事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	児童生徒の成長にあわせ栄養のバランスに配慮した給食を提供することにより、身体の健全な発達と体位の向上を図る。食への感謝の気持ちを育むこと、食材や生産者への理解を深める中で、日常生活における食習慣の形成を図る。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・提供食数 共同調理場560食、浪合調理場47食 ・「地域食材の日」には阿智村産の食材を使用し、その日の給食時に読み上げられる「ランチタイム」では、地域食材、郷土料理について取り上げ児童生徒に伝えた。 ・家庭科の食育の授業の資料となるように、主食、主菜、副菜、使用材料などを盛り込んだ献立表を配布した。			
	実績・効果	・「地域食材の日」には清内路カボチャ、赤根大根、たまねぎ、きゅうり、すいかを使用することができた。 ・今年度も11月28日には焼肉給食プロジェクトに参加し、焼き鳥に清内路ニンニクを使用したタレをかけた主菜を提供し、好評であった。 ・小学校の希望献立においては、児童がバランスの良い献立を考え、中学校家庭科ではバランスの良い食事について話すことができ、地域食材について触れることもできた。			
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	83,402	88,989	111,139	114,273
	一般財源	51,530	58,149	78,161	79,782
	国・県支出金				26,245
	起債				
	その他	31,872	30,840	32,978	8,246
従事職員(人)	正規職員	1	1	1	1
	臨時職員	9.5	9.5	9.5	10.5

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	・アレルギー対応が必要な児童の増加により栄養教諭、調理員の対応が増加している。 ・物価の高騰により、米などの材料費の値上がりが続いている。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		報酬・給料	28,916	清掃・保守委託料	2,157	
		手当・共済・旅費	18,894	使用料	259	
		需用費	11,779	備品購入費	1,725	
		食材費	49,491	公課費	25	
		手数料等	1,027			
期待される効果	・保護者の負担を軽減し、食材を効果的に使った給食が提供できる。 ・学校給食衛生管理の基準に適合した安心安全な給食が提供できる。					
前年からの改善・工夫	★小中学校の給食費無償化。 ・食材の地産地消を推進し、食を通じて児童生徒に地域に対する興味・関心を持ってもらう。 ・保護者、学校、調理場が密接に連携し、事故なく安心安全な給食を提供できるように配慮する。					
具体的取組・スケジュール	・学校給食費共同調理場運営委員会及び専門委員合同会議を5月と3月に開催する。 ・浪合調理場県費栄養職員が廃止されたため、村費職員として対応する。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	調理機械・器具を				
	時期(何時までに)	8月中旬に				
	意図(どうする、どうなる)	点検整備を行い、万全の状態での調理ができるようにする				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	保育事業	担当者	教育委員会	保育園係
	総合計画での位置づけ	2.教育・文化・地域愛/2-3.子どもが健やかに育つ保育園			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	3.結婚・子育ての切れ目ない支援/2.子育てしやすい環境づくり			
	関連する主な計画等	阿智村こども計画			
	根拠法令等	子ども・子育て支援法、児童福祉法			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	就学前児童保護者			
事業開始年	昭和31年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	なし	<input type="checkbox"/> 終期末定
実施目的	子ども・子育て支援法に基づき、就学前の児童に教育・保育の機会を提供し、心身の健全な発達・発育に資することを目的とする。また、児童福祉法に基づき、就労等により家庭での保育が困難な乳幼児を保育し、安全・安心な生活の場を提供し、保護者に必要な支援を行う。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・6園の運営 延長保育の実施(あふち7:30~19:00、伍和・智里東7:30~18:30、智里西・浪合・清内路8:00~17:15) 未満児の受け入れ(あふち0歳児～、智里東1歳児～、伍和・清内路2歳児～) ・園児数の推移を踏まえた休所・再開の基準の設定と、浪合保育園の休所決定 ・あふち保育園照明器具取替 ・やまほいく推進																																								
	実績・効果	【利用園児数】 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>あふち</th> <th>伍和</th> <th>智里東</th> <th>智里西</th> <th>浪合</th> <th>清内路</th> <th>広域</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和7年度</td> <td>94 (26)</td> <td>35 (6)</td> <td>19 (5)</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>14 (4)</td> <td>7 (4)</td> <td>184 (45)</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>103 (41)</td> <td>28 (7)</td> <td>24 (7)</td> <td>8</td> <td>10 (2)</td> <td>18 (4)</td> <td>6 (2)</td> <td>197 (63)</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>106 (42)</td> <td>34 (7)</td> <td>27 (10)</td> <td>7</td> <td>12 (3)</td> <td>10</td> <td>9 (5)</td> <td>205 (67)</td> </tr> </tbody> </table> ( )未満児再掲						あふち	伍和	智里東	智里西	浪合	清内路	広域	合計	令和7年度	94 (26)	35 (6)	19 (5)	8	7	14 (4)	7 (4)	184 (45)	令和6年度	103 (41)	28 (7)	24 (7)	8	10 (2)	18 (4)	6 (2)	197 (63)	令和5年度	106 (42)	34 (7)	27 (10)	7	12 (3)	10	9 (5)	205 (67)
		あふち	伍和	智里東	智里西	浪合	清内路	広域	合計																																	
令和7年度	94 (26)	35 (6)	19 (5)	8	7	14 (4)	7 (4)	184 (45)																																		
令和6年度	103 (41)	28 (7)	24 (7)	8	10 (2)	18 (4)	6 (2)	197 (63)																																		
令和5年度	106 (42)	34 (7)	27 (10)	7	12 (3)	10	9 (5)	205 (67)																																		
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度																																					
	実績・見込額(千円)	342,818	393,440	413,622	439,647																																					
	一般財源	309,906	343,035	383,048	397,662																																					
	国・県支出金	13,092	16,663	9,400	10,850																																					
	起債	0	0	8,900	12,000																																					
	その他	19,820	33,742	12,274	19,135																																					
従事職員(人)	正規職員	24	23	22	22																																					
	臨時職員	49	55	53	56																																					

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	・未満児・延長保育需要増に対応するための職員確保及び業務改善 ・園児数の推移を踏まえた、持続可能な保育体制の検討		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考																																																																								
		人件費	297,115	備品購入費	2,115																																																																									
		工事費	12,175	運営費	128,242																																																																									
	期待される効果	・副食費無償化による保護者負担の軽減 ・保育環境の整備 ・保育園の情報発信 ・持続可能な保育体制の検討		令和8年度入園児童数見込み <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>あふち</th> <th>伍和</th> <th>智里東</th> <th>智里西</th> <th>浪合</th> <th>清内路</th> <th>広域</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5歳児</td> <td>23</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>2</td> <td></td> <td>6</td> <td>1</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>23</td> <td>15</td> <td>4</td> <td>3</td> <td></td> <td>4</td> <td>1</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td>6</td> <td></td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>2歳児</td> <td>12</td> <td>5</td> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>1歳児</td> <td>15</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>0歳児</td> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>92</td> <td>33</td> <td>21</td> <td>5</td> <td></td> <td>16</td> <td>4</td> <td>171</td> </tr> </tbody> </table>				あふち	伍和	智里東	智里西	浪合	清内路	広域	合計	5歳児	23	6	4	2		6	1	42	4歳児	23	15	4	3		4	1	50	3歳児	10	7	5			6		28	2歳児	12	5	5				1	23	1歳児	15		3				1	19	0歳児	9							9	合計	92	33	21	5		16	4	171
		あふち	伍和	智里東	智里西	浪合	清内路	広域	合計																																																																					
5歳児	23	6	4	2		6	1	42																																																																						
4歳児	23	15	4	3		4	1	50																																																																						
3歳児	10	7	5			6		28																																																																						
2歳児	12	5	5				1	23																																																																						
1歳児	15		3				1	19																																																																						
0歳児	9							9																																																																						
合計	92	33	21	5		16	4	171																																																																						
前年からの改善・工夫	★副食費無償化 保育環境整備によるきめ細やかな保育 持続可能な保育体制の検討																																																																													
具体的取組・スケジュール	園児数の推移を踏まえ、保育体制や運営方法の見直しを行い、保育の質を維持・向上させるとともに、多様な保育ニーズに対応できる体制づくりを進める。 3歳以上児の副食費無償化																																																																													
8年度の目標	対象(何を、誰を)	園児数の推移を踏まえた保育体制を																																																																												
	時期(何時までに)	通年で																																																																												
	意図(どうする、どうなる)	検討し、安定した保育の提供を図る																																																																												

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	中央公民館事業	担当者	教育委員会	公民館係
	総合計画での位置づけ	2.教育・文化・地域愛/2-4.社会教育の充実			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ				
	関連する主な計画等	教育振興計画			
	根拠法令等	社会教育法、阿智村公民館設置条例等			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	村民			
事業開始年	昭和42年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	・生涯にわたり豊かな人生を送るために学習や文化活動の機会をつくる。 ・身近で起きている様々な問題について村民自ら関心を高める機会をつくる。 ・主体的な自己表現や地域づくり活動を支援する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・はたちの集い:5/3 R7年度(午後)52/61 ・阿智祭(第56回):11/8、9 展示、舞台発表(41団体) バザー(8団体) ・社教研(第59回):分科会(健康福祉・農業・平和・自然歴史文化・教育) ・学習会等(専門部員研修「人類学から見た天文」・人形劇・戦後80周年記念事業 ・自然観察会・プログラミング体験等)・地区公民館 学習会等 ・文化イベント事業・社会教育団体支援(婦人会・育成連絡会等) ・中央公民館予約システム運用			
	実績・効果	・各種行事をコロナ禍前と同様に開催し、特に阿智祭は雨天やインフルエンザの流行のなかであったが、無事開催できた。 ・施設予約システムを大きなトラブルなく運用できた。実施したアンケートを踏まえて、機能改善を図り利便性の向上を図っていきたい。 ・開放したロビーが居場所として活発に利用されている。 ・地区公民館がそれぞれ独自に各種学習会・イベント(ウォーキング、歴史講演会、ニューススポーツ大会)・館報作成をすすめる			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	27,068	28,204	20,323	23,618
	国・県支出金	16,768	18,524	20,323	19,718
	起債				
	その他	10,300	9,680		3,900
	従事職員(人)	正規職員	2	2	1
	臨時職員			1	1

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	・施設老朽化の修繕 ・予約システム機能の改善		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
	期待される効果	委員・役員報酬	8,156	燃料・光熱水費	3,728	
		講演会講師謝礼	1,572	印刷製本費	1,824	
		文化イベント補助	1,000	備品購入費	317	
		社会教育団体補助	680	工事請負費	4,030	
消耗品・修繕料		2,311				
前年からの改善・工夫	・施設等の改修・更新により、安全面を強化し、利用の幅を広げ、文化事業、地域づくりやサークル活動の活発化を促す。					
具体的取組・スケジュール	引き続き施設の管理、修繕、施設の予約システムの改善など安心便利に使えるように整備する。また、参加者が主体的に地域の課題を考える地区館の取り組みや社教研の分科会活動、文化事業を立ち上げていく文化イベント事業などを大事にしていく。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	はたちの集い、阿智祭、社教研の実行委員会を				
	時期(何時までに)	開催2カ月前に準備し				
	意図(どうする、どうなる)	盛況に開催する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	読書活動事業	担当者	教育委員会	社会教育係
	総合計画での位置づけ	2.教育・文化・地域愛/2-4.社会教育の充実			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ				
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	図書館法、阿智村立図書館設置条例ほか			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	村民				
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	図書館機能を充実させ、読書をする機会を増やし、また、生涯学習・社会教育の拠点の一つとしてより活性化させる。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・本の相談事業・お楽しみ会・お話し会・読書会の実施20回延べ300人 ・乳幼児学級2回延べ30人 高齢者学級1回10人 ・施設訪問おはなし会（大人対象15回延べ200人 子ども対象40回 500人） ・ブックスタート事業(7ヶ月児)24人 ・セカンドブック事業(2歳児)23人 ・図書館の蔵書及び環境整理 ・図書館リニューアルの研究・視察				
	実績・効果	文学講座(椋鳩十学習会・8月)やおたのしみ会(元図書館職員・大道芸人オマールえびの絵本ライブ・7月)、ワークショップ(漫画家・好本拓朗氏に絵の描き方を学ぶ講座・12月)等、外部からの講師を招聘し盛況のうちに実施できた。また各学校、保育園へ月一回程度訪問、または相互訪問によりおはなし会を行った。 令和6年度の図書館20周年を踏まえつつ、図書館リニューアルの研究・視察ができた。				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業コスト	実績・見込額(千円)		15,428	16,296	17,947	20,727
	一般財源		11,928	12,796	17,947	17,727
	国・県支出金					
	起債					
	その他		3,500	3,500		3,000
従事職員(人)	正規職員					
	臨時職員		2	2	2	2

	貸出冊数(冊)	利用者人数(人)			
		児童	学生	一般	計
令和5年度	37,813	2,136	391	4,968	7,495
令和6年度	35,671	2,020	411	4,636	7,067
令和7年度	26,837	1,552	345	3,438	5,335

※令和7年度(4/1~12/31)

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	居場所としての役割を高める、親子連れもより安全快適に過ごせるなど、より魅力的にするための機能を充実させたい。蔵書の収納を考えたい。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		委員報酬	81	負担金・補助金・通信費	881	
		図書司書報酬	7,926	図書システム保守	1,107	
		社会保険料	1,873	使用料	396	
		臨時司書報酬	2,061	雑誌書籍購入	4,332	
講師謝礼		70	図書館工事	2,000		
期待される効果	・図書館を部分的に改修し、図書館の居場所としての機能を高め、子育て・生涯学習・社会教育の拠点の一つとしてより活性化させる。					
前年からの改善・工夫	・乳幼児から高齢者まですべての年齢を対象とした施設への訪問の定着 ・今後20年先の図書館を見据え、居場所としての図書館の充実を目指し、部分的なリニューアル工事を計画的に行う					
具体的取組・スケジュール	令和9年3月までに部分的なリニューアル工事をを行う。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	図書館のリニューアルに伴う部分的な改修を				
	時期(何時までに)	令和9年3月までに				
	意図(どうする、どうなる)	行う				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	●公民館(社会体育事業)	担当者	教育委員会	公民館係	
	総合計画での位置づけ	2.教育・文化・地域愛/2-5.スポーツで育む健康、交流				
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ					
	関連する主な計画等	スポーツ基本計画				
	根拠法令等	スポーツ基本法、阿智村スポーツ推進委員設置規則等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他
	事業の対象者	村民				
事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定			
実施目的	・スポーツを通じて積極的に社会参加を促し、住民の健康づくりと子どもの健全育成を図る。 ・心身の健全な成長を通して、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成をめざす。					

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・スポーツ大会の実施 ①生涯野球阿智大会9/6・7 ②村民ゴルフ大会10/13 ③阿智村駅伝大会11/30(役場・阿智中 中継点2箇所 35チーム) ・各種講習会の実施 ①AED講習会1/20 ②ランニング講習会9/1 ・体育団体への支援 ①体育協会 ②少年少女スポーツクラブ ③チャレンジゆうAchi ・スポーツ機会の提供 ①チャレンジフェスティバル8/8 ・休日部活動の地域移行の推進 ・体育施設等の予約システム運用			
	実績・効果	・社会体育関係施設の整備により、誰もが安全に使いやすい施設にする。 ・各種大会の開催や各種団体への支援により、スポーツ活動を活発化させる。 ・休日部活動の地域移行をスタートできた。			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	6,107	11,438	7,785	8,639
	国・県支出金	6,107	11,438	7,785	5,902
	起債				2,737
	その他				
	従事職員(人)	正規職員	1	1	1
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	拡充
	課題	社会体育施設の利用が活発となり、施設や器具等の充実や安全面の確保が求められている。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
	期待される効果	パート報酬	226	委託(施設管理)	2,008	
		消耗品・燃料	633	●委託(地域展開)	3,150	
		光熱水費	1,026	使用料	411	
		修繕費	655	その他	132	
役務費		330				
前年からの改善・工夫	・社会体育関係施設の改修整備により、誰もが安全に使いやすい施設にする。 ・各種大会の開催や各種団体への支援により、スポーツ活動を活発化させる。特に、安全面、ゲストラナーなどによる賑わいなど駅伝大会の充実を図る。 ・休日とともに平日部活動の地域展開を準備する。					
	●平日部活動の地域展開の推進。 ・各社会体育関係施設の環境整備を引き続き行う。					
具体的取組・スケジュール	・スポーツ大会の実施 ①生涯野球阿智大会9月 ②村民ゴルフ大会10月 ③駅伝大会11月 ・各種講習会の実施 ①AED講習 ②ランニング講習会 ・体育団体への支援 ①体育協会 ②少年少女スポーツクラブ ③チャレンジゆうAchi ・スポーツ機会の提供 ①チャレンジフェスティバル8月 ・施設の設置・修繕 ①わいWai安全対策(枯枝除去)					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	駅伝大会、ゴルフ大会などの実行委員会を				
	時期(何時までに)	開催2カ月前に準備し				
	意図(どうする、どうなる)	盛況に開催する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	文化財保護事業	担当者	教育委員会	社会教育係
	総合計画での位置づけ	2.教育・文化・地域愛/2-6.文化活動と地域文化の振興			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ				
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	文化財保護法 阿智村文化財保護に関する条例			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	村民			
事業開始年	昭和42年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定
実施目的	・地域の貴重な文化財を調査し保護保存する。 ・阿智村の豊かな自然・歴史・文化財への関心を高め、地域にある文化財の価値を共有する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・清内路手作り花火技術伝承補助・神坂峠他保全作業 ・小黒川のミズナラ 倒木後の対応、対策委員会(9月) ・村天然記念物清南寺夫婦桜土壌改良 ・村内建造物調査(神坂神社社殿・旧信濃文学館) ・自然観察会(地質・植物)				
	実績・効果	・『わたしたちの阿智村』自然編作成(令和7年3月完成)によって、今後自然分野の文化財候補の掘り起こし、学校の地域学習の教材の開拓につなげる。また、調査と関連して、植物・地質についての野外観察会が引き続きできた。 ・昨年度折れた小黒川のミズナラについて、新芽が確認され指定維持の可能性が生まれた。また、折れた幹の活用などが今後の課題となった。引き続き対応を進めていく。				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業コスト	実績・見込額(千円)	一般財源	13,490	8,256	5,254	4,124
		国・県支出金	5,015	4,856	3,854	2,724
		起債	1,075			
		その他	7,400	3,400	1,400	1,400
		従事職員(人)	正規職員	1	1	1
	臨時職員					

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	新規の文化財指定や文化財の保存の充実を図る。遺跡の発掘など埋蔵文化財行政を充実させる。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		委員等報酬	298	委託料	878	清内路花火補助含む
		報償費	123	使用料	396	
		旅費	107	工事費	250	
		消耗品・光熱水	562	補助金	1,510	
期待される効果	文化財調査により、文化財の価値を高め、指定文化財を増やす。保護作業、見学会等の企画により住民の文化財への愛着や興味関心を促進することが期待される。					
前年からの改善・工夫	引き続き、地域の指定文化財を保護し、文化財候補を調査していく。また、小黒川のミズナラ保護を進めていく。					
具体的取組・スケジュール	・清内路手作り花火技術伝承補助・神坂峠ほか保全作業 ・小黒川のミズナラ保護(新芽の確認調査と今後の保護等について研究)					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	神坂峠・浪合関所など				
	時期(何時までに)	11月までに				
	意図(どうする、どうなる)	草刈り等の保全作業を行う				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	診療所運営	担当者	民生課	保健係
	総合計画での位置づけ	3.医療・福祉・健康/3-1.医療体制の充実			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ				
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	国民健康保険法			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	村民			
事業開始年	昭和56年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	国民健康保険その他社会保険の主旨に基づき診療を行い、国民健康保険事業を円滑に実施すること。 本村における保健施設の中核として公衆衛生の向上及び増進に寄与すること。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・医師1名、看護師2名(村職員1名、「NPO在宅医療支援の会 道」から看護師1名、業務委託)、事務1名の職員体制で診療を行う。 ・6年度から診療日を変更し休診日を減らしたことで、受診者の利便性の向上を図っている。 ・診療所への通院手段を確保するため、利用者負担片道100円でタクシー送迎サービスを実施。(令和7年12月までの実績:伍和…6回、浪合…9回、清内路…0回、利用延べ人数81人) ・診療所に通うことが困難な方を対象として、医師等が訪問し在宅で安心して診療を受けられる訪問体制を整えている。				
	実績・効果	各診療所1日平均受診者数(人)				
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
		伍和診療所	6.5	7.3	8.1	8.8
		浪合診療所	12.2	12.8	13.0	13.8
	清内路診療所	3.1	2.7	2.4	2.2	
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績・見込額(千円)	47,100	46,963	46,838	50,700	
	一般財源	25,591	24,040	20,473	24,724	
	国・県支出金	5,703	6,456	6,303	7,325	
	起債					
	その他	15,806	16,467	20,062	18,651	
従事職員(人)	正規職員	1	1	1	1	
	臨時職員	1	1	1	2	

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	安定的な運営を行い現在の医療体制を維持することで、患者が継続的な受診ができるようにする。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		伍和診療所	9,583			
		浪合診療所	36,610			
		清内路診療所	4,507			
	期待される効果	地域に診療所があることで、身近なところで受診ができ安心感が得られる。				
	前年からの改善・工夫	現在の診療所体制を維持しつつ、今後の医療体制を検討していく。				
具体的取組・スケジュール	村営診療所の運営 医師・看護師の確保 村営診療所へのタクシー送迎の継続 訪問診療の周知、利用促進					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	診療所を含めた医療体制を				
	時期(何時までに)	年度内に				
	意図(どうする、どうなる)	検討していく				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	福祉医療費支給支援	担当者	民生課	保健係
	総合計画での位置づけ	3.医療・福祉・健康/3-1.医療体制の充実			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	阿智村福祉医療費支給条例			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	乳幼児(0~6歳)、小・中・高校生世代、母子等・父子、重度心身障がい者、精神障がい者			
事業開始年	平成20年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	乳幼児・児童生徒、障がい者、精神障がい者、難病患者、ひとり親家庭の保護者等に対し、医療費の一部を支給することにより、対象者の医療費負担の軽減と健康増進を図り、福祉の向上に努める。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・18歳以下の子どもを対象に、県内の医療機関で受診した医科・歯科・調剤・訪問看護・柔整の医療費の窓口負担が0円になるよう現物給付方式で実施。 ・心身障がい者、母子・父子家庭の親を対象に自動給付方式によって、レセプト1件あたり300円を控除した額を補助。 【子どもの窓口負担額】 0円：阿智村、平谷村、根羽村、下條村、天龍村、大鹿村、豊丘村、高森町 300円：飯田市、松川町、阿南町、売木村、泰阜村、喬木村				
	実績・効果	受給者数	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		乳幼児等(県単)	719	717	689	
		乳幼児等(村単)	148	137	144	
		重度心身障害者	212	204	212	
		精神障害者	68	70	79	
		母子・父子等	109	85	92	
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		実績・見込額(千円)	41,099	39,294	37,924	38,588
		一般財源	29,398	26,042	24,978	25,449
国・県支出金		11,701	13,252	12,946	13,139	
起債 その他						
従事職員(人)	正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5	
	臨時職員					

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	拡充
	課題	受給要件となる障がい者手帳等の更新状況について庁内システム間の連携がないため、手帳等の更新忘れや受給資格の整合確認が課題		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		福祉医療費	35,169			
		事務手数料	1,877			
		システム使用料	383			
		消耗品	19			
		システム改修費	1,140			
期待される効果	医療費の自己負担軽減により、病気の早期発見や治療による健康増進。乳幼児等の健全な育成。心身障がい者、母子・父子家庭の生活安定。					
前年からの改善・工夫	県の対象医療費拡充に伴い、令和8年8月診療分から精神障がい者の入院費用を支給対象とする。令和9年度開始予定のオンライン資格確認(マイナ保険証を利用すれば全国どこの病院でも県内同様に福祉医療を受給できる)に向け、PMHと情報連携するためのシステム改修を行う。					
具体的取組・スケジュール	・医療費を遅滞なく支給。 ・18歳以下の子どもは県内の医療機関で受診した医療費の窓口負担を引き続き0円とする。 ・心身障がい者及びひとり親家庭は、県補助基準に上乗せし、レセプト1件あたり300円を控除した額を補助。(県補助基準ではレセプト1件あたり500円を控除) ・対象拡大に伴うシステム改修及び広報の実施					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	制度対象者に				
	時期(何時までに)	年間を通して				
	意図(どうする、どうなる)	適切に資格認定・支給決定をする				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	社会参加支援事業	担当者	民生課	福祉係
	総合計画での位置づけ	3.医療・福祉・健康/3-2.地域包括ケア・互いに認め合い、支え合える地域づくり			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	生活困窮者自立支援法			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	不登校・ひきこもり状態にある者				
事業開始年	令和6年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	不登校・ひきこもり状態にある者に対し、相談、訪問支援、フリースペースにおける居場所支援、就労相談支援等を行い社会参加を促す。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	ご本人・ご家族からの相談を受ける中で事業への申請を促し、相談を受けたり居場所の提供、就労に向けた支援を行い、社会参加を目指す。				
	実績・効果	相談件数8件あり登録数は7件である。(登録者:児童3名、成人4名) 就労支援よりも居場所としての利用が多いが、自宅から出て家族以外との交流ができ、社会参加につながっている。				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	33	57	1,000	1,966
		国・県支出金	33	57	1,000	1,966
		起債				
		その他				
		従事職員(人)	正規職員	0.1	0.1	0.1
		臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	当事者からの相談等がなければ支援につなげることが難しい。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		委託料	1,966			
	期待される効果	ひきこもり状態の方に事業の認識をしてもらい、利用することで社会参加につながる。				
	前年からの改善・工夫	事業を認識してもらうよう、広報等で周知をしていく。				
	具体的取組・スケジュール	事業者からの申請書等の提出に際し、速やかに判断し、利用者が適切に事業を受けられるようにする。				
8年度の目標	対象(何を、誰を)	申請書等を				
	時期(何時までに)	随時				
	意図(どうする、どうなる)	受付、決定する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	高齢者のための補助金・祝い金事業	担当者	民生課	福祉係
	総合計画での位置づけ	3.医療・福祉・健康/3-2.地域包括ケア・互いに認め合い、支え合える地域づくり			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等	阿智村老人福祉計画(信州あち おたっしゅプラン)			
	根拠法令等	老人福祉法			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	阿智村シニアクラブ連合会および単位シニアクラブ、75歳以上の高齢者			
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	・シニアクラブ連合会及び各単位クラブに対し補助金を交付することにより高齢者の健康増進・地域コミュニティの維持、生きがいづくりの活動資金を提供する。 ・各地区で行う敬老大会に補助することで、長年にわたり社会に貢献されてきた高齢者の労苦に敬意を表し長寿を祝う。また、88歳以上の方に商品券を贈り高齢者の長寿を祝う。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・シニアクラブからの補助申請の受付及び交付事務及び、県補助金の交付申請及び補助金の受入、実績報告事務 ・自治会に対して、地区内の75歳以上の者一人当たり2,000円の補助金を交付する。 ・敬老祝い金として商品券を贈る。 敬老祝い券:88歳～99歳 5,000円、100歳～ 10,000円の交付 88歳と100歳は村長が自宅等を訪問し、それ以外は民生委員を通じて配布				
	実績・効果	・県補助金申請及び実績報告等事務が適正に処理でき、シニアクラブ連合会に補助金を交付することが出来た。 ・敬老大会補助金 令和7年度対象者 1,275人 補助限度額2,419,794円 敬老大会が身近な自治会で開催されることで地域内の交流が深まる。満額使われない自治会があった。 ・敬老祝の該当者宅への村長の訪問は喜ばれている。地元登録事業所にて利用されている。 令和7年度 対象人数 391人 (2,040,000円) 登録事業者数 169カ所				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	5,682	6,159	6,689	6,847
		国・県支出金	456	456	432	432
		起債				
		その他				
		従事職員(人)	正規職員	0.1	0.1	0.1
	臨時職員	0.2	0.2	0.2	0.2	

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	敬老大会補助金について、一人当たりの補助額を増額したが参加人数が少なく、補助金を減額する自治会があったため、全額使用してもらえない様助言をする。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		高齢者クラブ補助金	1,859			
		敬老大会補助金	2,560			
		敬老祝品	2,330			
		券印刷代他	98			
	期待される効果	シニアクラブの活動資金が確保され、各事業が計画的に実施出来る。敬老祭の充実、世代間、地域内交流の場となる。該当高齢者に商品券で贈呈し、村内事業所での利用は経済効果を生みだしている。				
前年からの改善・工夫	・敬老大会補助金について、満額使っていただけるように該当自治会へ助言する。 ・単位クラブに対する県補助金が減額されているが、連合会事業に対する補助金及びコーディネーター設置に対する補助金を一般財源で同額維持し、活性化事業に活用していただく。					
具体的取組・スケジュール	・各単位クラブより補助申請を受け付け、県への申請、補助金の支払い、県へ実績報告をする。 ・自治会からの申請により、補助金の支払いをする。 ・敬老祝い券の印刷、商工会へ依頼・契約し、券の発行・配布を行い、2月に精算					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	適切な補助金を				
	時期(何時までに)	年度内に				
	意図(どうする、どうなる)	支払う				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	高齢者等交通サービス事業	担当者	民生課	福祉係
	総合計画での位置づけ	3.医療・福祉・健康/3-2.地域包括ケア・互いに認め合い、支え合える地域づくり			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等	阿智村障がい者計画・老人福祉計画			
	根拠法令等				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	重度心身障害者および65歳以上の独居または高齢者世帯で交通手段を持たない者			
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	在宅の心身障がい者及び高齢者世帯で、交通手段のない方の移動を支援し経済的負担の軽減を図る。 村内医療機関の受診送迎を支援するために低額料金でタクシーを利用してもらう				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<p>〔高齢者等交通サービス事業(タクシー券)〕 1枚100円のタクシー利用券を、役場からの距離に応じた枚数を該当者に交付。タクシー及び巡回バス利用時に券で支払い、タクシー会社等へ利用券分の料金を支払う。申請・交付は民生委員を通じ行い、毎年更新する。</p> <p>〔福祉移動サービス事業(ささえ愛事業)〕 公共交通機関の利用が困難な高齢者等の通院等のための移送サービス事業、智里東地区限定。月1人4回まで利用可能。</p> <p>〔村内医療機関受診送迎支援事業〕 村内医療機関へは、利用料1回定額(300円)で行きのみ利用可。      対象者:高齢者等 (村営診療所へは、利用料片道100円、地区内往復利用可。      対象者:診療所利用者)</p>				
	実績・効果	<p>福祉タクシー券 交通手段の無い高齢者等の交通費を助成。タクシー券利用は、例年50%弱。(R6年度46.2%) R7 交付人数 134名 交付枚数 22,920枚</p> <p>ささえ愛 利用登録者: 15名      ボランティア登録: 5名 利用状況: 10人/月      利用目的:主に病院受診</p>				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)		1,647	1,640	1,850	2,117
		一般財源	1,647	1,640	1,850	2,117
		国・県支出金				
		起債				
	その他					
従事職員(人)	正規職員	0.1	0.1	0.1	0.1	
	臨時職員	0.2	0.2	0.2	0.2	

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	福祉タクシー券の使用率が低いので、申請者の利用状況等を把握し検討する必要がある。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		扶助費(タクシー券)	1,520	ささえ愛		
		送迎委託料		消耗品	22	
		村内医療機関	420	修繕料	88	
				燃料費ほか	51	
			自動車保険料ほか	16		
	期待される効果	交通弱者の移動手段の経済的支援の一助となる。				
前年からの改善・工夫	70歳以上巡回バス無料化、村内医療機関送迎サービス等様々な交通手段があるので、対象者や交付枚数の検討をする。					
具体的取組・スケジュール	現在該当している方は2月中に民生委員を通じて申請、審査後3月にタクシー券を交付。 申請者へのアンケートの実施					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	タクシー券を				
	時期(何時までに)	随時				
	意図(どうする、どうなる)	配布する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	授産施設事業	担当者	民生課 福祉企業センター
	総合計画での位置づけ	3.医療・福祉・健康/3-2.地域包括ケア・互いに認め合い、支え合える地域づくり		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり		
	関連する主な計画等			
	根拠法令等			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
事業の対象者	福祉事務所長が施設の利用を認め利用を求められた者及び一般の施設希望利用者			
事業開始年	昭和32年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定
実施目的	身体・精神上の理由、世帯の事情によって就業能力が限られている方や生活困窮者に、施設の利用を通して就労機会を提供し、また、技能の習得により、これらの方の保護と自立更生をはかることを目的としている。			

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい者や高齢者の就労および生きがいの場の提供</li> <li>・作業能力を考慮し、身体・精神的に無理のない仕事の配分</li> <li>・不良品をださない努力による企業からの信頼の獲得</li> <li>・継続的施設利用のための仕事の確保</li> <li>・施設および建物周辺の環境整備(雨水桝修理、雨樋清掃、周辺木伐採、床貼り、粗大ごみ廃棄等)</li> <li>・利用者の体調確認、一人暮らし高齢者等の見守り</li> </ul>			
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に仕事を確保し、就労および生きがいの場を提供できた</li> <li>・施設および建物周辺の環境整備により、安全な就労の場を提供できた</li> <li>・利用者に体調や生活の変化があった際は見逃さず、保健師や村福祉係と連携し対応した</li> </ul>			
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	48,534	55,889	51,062	59,796
	一般財源	20,754	26,467	24,000	31,588
	国・県支出金	15,156	16,467	14,578	14,578
	起債				
	その他	12,624	12,955	12,484	13,630
従事職員(人)	正規職員	1	1	1	1
	臨時職員	7	7	7	7

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	高齢の利用者が身体上の理由により退所され、認定利用者数が減少している。実施目的のとおり、施設を維持する必要性は高いが新たな利用者の確保は難しい。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		職員人件費	41,698	作業員工賃	11,000	事業収入を充てる
		需用費・役務費等	4,213	事業用需用費等	1,500	
		借地料	685			
		工事請負費	550			
		備品購入費	150			
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいのある方や高齢の方の就労および生きがいの場の提供</li> <li>・就労による収入の確保</li> <li>・一人暮らし高齢者の見守り</li> </ul>					
前年からの改善・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に作業ができるよう改修をおこないながら施設を維持する</li> <li>・職員同士の意思疎通をおこない、円滑に仕事を採配する</li> <li>・継続的に仕事量を確保するため、納期を厳守する</li> </ul>					
具体的取組・スケジュール	R8.4	利用者の自立支援計画の策定、指導員間での共有、利用者の同意を経て実施				
	4~	安定的な仕事の確保				
	5~随時	施設および周辺の環境整備				
	6	感染症・災害業務継続計画に基づく訓練・研修を実施				
8年度の目標	対象(何を、誰を)	授産事業収入				
	時期(何時までに)	R8.4~R9.3				
	意図(どうする、どうなる)	安定的に事業収入を得て、作業員工賃を減少させない				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	障害福祉事業	担当者	民生課	福祉係
	総合計画での位置づけ	3.医療・福祉・健康/3-3.障がい者の自立支援			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等	阿智村障がい者計画・第7期阿智村障がい福祉計画・第3期阿智村障がい児計画			
	根拠法令等	障害者総合支援法、児童福祉法他			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者・障がい児・法で定められた難病等患者			
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	<p>・地域福祉の充実に向けた福祉サービスを総合的、一体的に実施することにより、誰もが生きがいをもっていきいきと暮らせる安全で安心な社会づくりの実現を目指す。</p> <p>・障がい(児)者等が有する能力や適性に応じて、自立した日常生活や社会生活を送れるようにする。</p>				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<p>・障害福祉サービスが適切に利用できるように、保健センター・こども家庭センター・地域包括支援センター・飯伊圏域障がい者総合支援センター等の関係機関と連携を図り、支援が必要な家庭へ情報の提供や相談の充実に努め、適切な時期に支援ができるよう取り組む。</p> <p>・身体に障がいがある方の障がいを取り除いたり、軽くすることを目的とし医療費を支給する。</p> <p>・自立支援・介護サービスの利用料に対して収入に応じた割合で扶助する。</p> <p>・各種手帳・受給者証等の申請に基づき、遅滞なく処理をし関係機関等へ送付する。</p>				
	実績・効果	<p>○サービスを利用する事で、その人にあった日常生活・社会生活を営む為の支援ができた。</p> <p>・障害者給付事業：介護給付・54人、訓練等給付・68人、相談支援・53人、補装具・15人</p> <p>・障害児給付事業：児童発達支援・1人、放課後等デイ・11人、相談支援・12人</p> <p>・障害者医療費給付事業：育成医療(障がい児)0名、更生医療(障がい者)2名</p> <p>○日常生活用具(スタマ装具やオムツ等)、移動支援等のサービスを支給・支援することで、地域における自立した生活や社会参加を促進することができた。</p> <p>日常生活用具(スタマ装具・13人、オムツ・4人)、移動支援・13人、地域活動支援センター・13人</p>				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	217,096	247,083	230,250	226,693
		国・県支出金	62,710	93,034	70,333	64,917
		起債	154,386	154,049	159,917	161,776
		その他				
	従事職員(人)	正規職員	1	1	1	1
	臨時職員					

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	障がい者等が望むサービスを提供するために、障がい者支援センター・保健師・こども家庭センター・学校等の関係機関と連携を強化すること。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考	
		事務費	2,167	地域福祉助成関係	2,644		
		負担金・補助金	3,966	地域生活支援	7,334		
		医療扶助費	6,900	介護扶助費	332		生活扶助費
				障害介護給付	184,952		
			障害児給付関係	18,398			
	期待される効果	<p>・自立生活支援用具等の給付は、障がい者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるかと期待される。</p> <p>・地域活動支援センター事業は、障がいのある方の日中の活動をサポートし、創作、生産活動、地域交流など地域生活を支えるサービスが提供される。</p> <p>・各事業では、それぞれ介護者の負担軽減が図られる。</p>					
前年からの改善・工夫	保健センター・こども家庭センター・地域包括支援センター等の関係機関と連携を図り、必要な情報の提供や相談の充実に努めるほか、広報等で周知する。						
具体的取組・スケジュール	随時 障がい者又は障がい児の保護者等からの申請があったとき、内容を審査し適当と認めたとときに支給決定をする。						
8年度の目標	対象(何を、誰を)	サービスを					
	時期(何時までに)	随時					
	意図(どうする、どうなる)	支給決定する					

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	地域支援事業 (地域包括支援センター運営)	担当者	民生課 地域包括支援センター係
	総合計画での位置づけ	3.医療・福祉・健康/3-2.地域包括ケア・互いに認め合い、支え合える地域づくり		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり		
	関連する主な計画等	信州あちおたっしゅプラン21 阿智村老人福祉計画・第9期介護保険事業計画		
	根拠法令等	介護保険法		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
事業の対象者				
事業開始年	平成18年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定
実施目的	地域包括支援センターは、介護保険法で定められた、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務、介護予防ケアマネジメント業務を総合的に行い、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように支援することを目的とする。			

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・介護予防・日常生活支援総合事業(要支援1・2・事業対象者)・・・訪問型サービス、通所型サービス、配食見守りサービス、介護予防ケアマネジメント ・一般介護予防事業・・・おたっしゅかい、生きがい講座、ふれあいサロン ・任意事業・・・やすらぎ支援事業、避難行動要支援者災害時個別支援計画の作成 ・権利擁護事業・・・成年後見制度、日常生活自立支援事業、高齢者虐待相談 ・包括的・継続的ケアマネジメント・・・地域ケア会議 ・生活支援体制整備事業(阿智村社会福祉協議会へ委託)・・・協議体会議			
	実績・効果	介護予防・日常生活支援総合事業利用者は全体的に増加。予防意識向上している。 ・おたっしゅかい:年間のべ2,451名(70名増)・・・平均年齢83.4歳(90代18%、80代63%) 介護保険移行者:8名(目標値:10名以内/年) 健康寿命延伸のための 取り組みとなっている。 ・配食見守りサービス:年間のべ12,080食(2,519食増)・・・R7年度新規者:27名 健康維持、安否確認の効果は高く、介護給付費の抑制にもつながっている。 ・協議体:公共交通地区版作成 各自治会100部配布			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	52,891	52,270	62,009	60,758
	国・県支出金	24,153	24,503	32,546	30,001
	起債	23,017	22,084	23,661	24,769
	その他				
	従事職員(人)				
	正規職員	2	2	2	2
	臨時職員	3	3	1	1

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	介護保険制度を持続させていくために、介護状態・疾病の重症化予防、制度の適正利用、地域での支えあいが必要である。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
	期待される効果	職員人件費	18,919	印刷製本費	60	
		介護予防事業委託料	23,035	地域ケア会議報償費	59	
		介護予防・生活支援サービス負担金	12,566	その他	1,558	
		生活支援コーディネーター人件費	4,384			
協議体運営費		177				
前年からの改善・工夫	・第10期介護保険事業計画・老人福祉計画策定のため、事業の評価、課題抽出、課題分析を行う。 ・村内居宅介護支援事業所と共にケアプラン作成に関する研修、ケアプラン点検を行う。 ・在宅介護者の要望をもとに介護者のつどいを企画する。					
具体的取組・スケジュール	・第10期介護保険事業計画・老人福祉計画を策定する。 ・ケアプラン点検実施。 ・地域ケア会議実施。 ・介護者のつどい実施。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	第10期介護保険事業計画・老人福祉計画を				
	時期(何時までに)	年度末までに				
	意図(どうする、どうなる)	策定する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	地域支援事業(認知症総合支援事業)	担当者	民生課 地域包括支援センター係
	総合計画での位置づけ	3.医療・福祉・健康/3-2.地域包括ケア・互いに認め合い、支え合える地域づくり		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり		
	関連する主な計画等	信州あちおたっしゅプラン21 阿智村老人福祉計画・第9期介護保険事業計画		
	根拠法令等	介護保険法		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
事業の対象者				
事業開始年	平成29年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定
実施目的	認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を見守る地域づくりに努めるとともに、認知症の早期診断や相談対応により、適切な支援を行う。			

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症初期集中支援チームによる活動(早期相談・早期診断につなげる相談業務、各種サービス利用支援、専門医療機関との連携)</li> <li>・認知症ケアパスを用いた啓発活動・認知症サポーター養成講座の開催</li> <li>・成年後見制度等の利用に関する相談</li> <li>・回想法の実践支援</li> </ul>			
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症に関する相談:16件(実数)、うち70歳以下の相談は4件。</li> <li>・地域回想法実践講座参加者:23名、うち14名が指導者となり地域での回想法実践活動開始。</li> <li>・認知力アップ教室参加者(第1期):7名、(第2期):4名</li> <li>・認知症セルフチェッカー(福祉と健康のつどい)体験者数:87名、うち12名が認知機能の低下を示唆する結果であった。</li> </ul>			
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	79	180	408	513
	一般財源	79	180	400	262
	国・県支出金			8	251
	起債				
	その他				
従事職員(人)	正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	今後、高齢者人口の増加に伴い、認知症高齢者の増加が予測される。誰もが認知症について正しく理解し、認知症になっても暮らし続けられる地域作りが必要。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		サポート医委託料	34			
		地域回想法講師委託料	72			
		認知症に関する機材	300			
		サポーター養成講座	45			
		その他	62			
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回想法を地域での介護予防活動に取り入れることで、認知症予防、仲間づくり、世代間交流ができる場となる。</li> <li>・多くの人が認知症について正しい知識を持ち、認知症についての理解者を増やすことで、認知症になっても安心して自分らしく生活できる地域づくりにつながる。</li> </ul>				
	前年からの改善・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民、社会福祉協議会と協働で地域回想法を実践し、認知症予防や認知症への理解を高めていけるような働きかけを行う。</li> <li>・VRや映画などのツールを活用し、認知症への関心を高めていく。</li> <li>・認知症サポーター養成講座を学校や商工会等と連携して開催する。</li> </ul>				
	具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域回想法基礎研修・専門研修修了者とともに、地域の介護予防活動の場で回想法を実践する。</li> <li>・認知症サポーター養成講座・介護予防事業などを通して、認知症や認知症予防についての普及啓発を行う。</li> </ul>				
	8年度の目標	対象(何を、誰を)	地域回想法を			
		時期(何時までに)	年度末まで			
		意図(どうする、どうなる)	月に2か所ずつ地域の介護予防活動の場で実践する。			

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	家庭介護者休養支援事業	担当者	民生課	福祉係
	総合計画での位置づけ	3.医療・福祉・健康/3-3.障がい者の自立支援			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	家庭介護者休養支援事業実施要領			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	介護度3以上または重度障がい者を在宅で介護している方			
事業開始年	平成16年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	家庭で介護をしている方の心身の休養を図り、家庭介護の促進を図る。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	1月1日と7月1日を基準日として、それ前6ヶ月間、1か月15日以上家庭で介護している場合に、1か月あたり10,000円を単位として月数分を支給する。				
	実績・効果	令和2年度 慰労金支払額 5,780,000円 (実績) 令和3年度 慰労金支払額 8,240,000円 (実績) 令和4年度 慰労金支払額 7,450,000円 (実績) 令和5年度 慰労金支払額 6,380,000円 (実績) 令和6年度 慰労金支払額 7,320,000円 (実績) 令和7年度 慰労金支払額 5,660,000円 (R8.1.31現在実績)				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	6,380	7,320	6,700	7,200	
	一般財源	6,380	7,320	6,700	7,200	
	国・県支出金					
	起債					
	その他					
	従事職員(人)	正規職員 1 臨時職員	1	1	1	

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	請求し忘れることの無いように情報提供できているかどうか。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		扶助金	7,200			
	期待される効果	要介護高齢者等の在宅生活を支え、介護者や家族の負担の軽減が図られる。				
	前年からの改善・工夫	対象と思われる方で慰労金の請求の無い方に対し、請求忘れの無いように通知をする。				
	具体的取組・スケジュール	前期 4月申請書発送 5月中受付・審査 6月～慰労金支払い 後期 10月申請書発送 11月中受付・審査 12月～慰労金支払い				
8年度の目標	対象(何を、誰を)	介護慰労金				
	時期(何時までに)	期日までに(随時)				
	意図(どうする、どうなる)	支払いをする				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	●地域で展開する健康づくり	担当者	民生課 保健センター係
	総合計画での位置づけ	3.医療・福祉・健康/3-4.あち健康プラン21の推進		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり		
	関連する主な計画等	阿智村健康増進・食育計画(あち健康プラン21)		
	根拠法令等	健康増進法		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
事業の対象者	全村民			
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定
実施目的	身近な地域から健康づくりの輪が広がることにより、健やかな日常生活を送ることができる。			

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	トリプルAサポート事業:地域で主体的に行う、組織的な健康づくり活動への補助。 福祉と健康のつどい:自分の体のことを知り、健康づくりに取り組むきっかけづくり。 いきいき健康大学:6会場で実施。健康学習で、体を理解し、予防する力を身につける。 あちぽチャレンジ:1日5000歩以上歩くと、ふくまるくんポイント1ポイント付与。 女性のためのいきいき健康講座:更年期の過ごし方について学習会を開催。 地域の健康学習:健康常会や公民館活動支援にて、啓発や学習活動を実施。 食環境整備:村内小売店の商品棚に、減塩商品を紹介する案内を設置した。 チャレンジゆうAchi、スポーツ推進委員、食生活改善推進員と連携して事業を実施。				
	実績・効果	・いきいき健康大学に約80名が参加。 ・福祉と健康のつどい、測定週間と合わせ約100名が参加。認知機能評価、カルシウム摂取を目的とした試食、福祉用具体験など健康に関心をよせる機会となった。 ・あちぽチャレンジは毎月300~500名が参加。毎月約1600ポイント付与した。 ・トリプルAサポート事業では、5団体が新たに活動を開始した。各種教室での紹介や広報を行い、多くの方が活動に参加され健康づくりを継続していただけるよう支援した。 ・公式LINEで健康づくりに関する情報を月1,2回配信し、ホームページの内容も充実させた。				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	3,754	3,390	3,030	3,648
		国・県支出金	2,127	2,390	2,530	3,098
		起債	1,627	1,000	500	500
		その他				
		従事職員(人)	正規職員	1	1	1
	臨時職員	1	1	1	1	

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	村の健康課題として、三大疾病予防(脳血管疾患、筋骨格系疾患、認知症)を啓発し、リスクを下げる取り組みが必要である。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		トリプルA補助金	1,608			
		福祉と健康のつどい	850			
		消耗品	100			
		健康教室等講師	890			
あちぽチャレンジ		200				
期待される効果	健康常会、公民館活動、商工会等、身近な地域の集まりに出向くことで、村の健康課題を発信し、脳卒中予防の健康意識が高まる。 あちぽポイントを拡充し、歩くことで健康づくりに取り組む人が増える。 また健康ポイントとして、新たなポイントを設けることで健康づくりにつながる。					
前年からの改善・工夫	村の三大疾病(脳血管疾患、筋骨格系疾患、認知症)予防に取り組む。 商工会等と連携し、健康づくりをしやすい食環境を構築する。 ●あちぽポイントの拡充。 福祉と健康のつどいの参加者を増やすため、阿智祭での開催を検討する。					
具体的取組・スケジュール	いきいき健康大学、健康教室等参加者が、継続して自主的に健康づくりに取り組めるよう、グループ作り等支援する。各事業からトリプルA事業参加者が増えるよう支援する。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	村民				
	時期(何時までに)	年度内に				
	意図(どうする、どうなる)	三大疾病予防を知ってもらい、予防に取り組むことができる				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	各種検診事業(がん予防・歯科保健)	担当者	民生課 保健センター係
	総合計画での位置づけ	3.医療・福祉・健康/3-4.あち健康プラン21の推進		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり		
	関連する主な計画等	阿智村健康増進・食育計画(あち健康プラン21)		
	根拠法令等	健康増進法		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
事業の対象者				
事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	がんの早期発見・早期治療により、がん死亡率を下げる。 歯周病疾患健診を行うことで、歯周病による様々な疾病を予防するとともに、歯の喪失を防ぐことで、健康寿命の延伸を図る。			

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	集団がん検診:胃がん、大腸がん、子宮がん、乳がん(マンモ、エコー)、前立腺がん、肝炎 個別がん検診:子宮がん、乳がん(マンモ) がん検診無料クーポン発行:受診率向上対策: 子宮がん(20歳)、乳がん(40歳)、大腸がん(40歳)、前立腺がん(50歳)、肝炎(40歳) 成人歯科健診(30~70歳まで5歳間隔年齢時)、妊婦歯科健診 アピアランスケア助成事業 商工会健診、福祉と健康のつどいにおいて、無料歯周病検査を実施。			
	実績・効果	<がん検診(受診者数)> 精密検査受診率平均60% 胃がん検診(163人)、大腸がん検診(469人)、子宮がん検診(128人)、乳がん(215人) 前立腺がん検診(156人)、肝炎(8人) <無料クーポン利用率> 子宮がん(3%)、乳がん(43%)、大腸クーポン(18%)、前立腺(20%) <成人歯科健診/受診率>(30人/5%) 無料歯周病検査を約150人に実施。歯の健康への関心を高めた。			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	6,216	5,926	5,168	6,243
	国・県支出金	6,216	5,926	5,168	6,243
	起債				
	その他				
	従事職員(人)	正規職員	1	1	1
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	受診啓発のために実施している。無料クーポン利用者が少ないため、啓発が必要である。歯科健診受診者が少ないため、啓発が必要である。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		がん検診	5,584			
		歯周疾患検診	291			
		印刷製本費	348			
		アピアランス補助	20			
	期待される効果	がん検診により、がんを早期発見・早期治療し、がん死亡率を下げる。歯周病疾患健診を行うことで、歯周病による様々な疾病を予防する。また、歯の喪失を防ぐことで、認知症を予防し、生涯自分の食べたい物を食べられるなど、生活の質を維持することができる。				
前年からの改善・工夫	受診率向上のため、がん検診の電子申請での受付を継続する。がん検診無料クーポン対象者、歯科健診未受診者への受診勧奨を行う。受診券送付に合わせて、啓発する。働く世代の女性に子宮がん検診、乳がんマンモ検診を受けやすいよう、個別検診を周知する。					
具体的取組・スケジュール	検診申し込み時(2月)にがん検診を啓発する。5~6月に無料がん検診クーポン、歯科健診受診券を送付し、合わせて広報等で周知する。年2~3回受診勧奨を広報等で行う。各検診は年間計画に沿って実施。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	全住民対象				
	時期(何時までに)	2月				
	意図(どうする、どうなる)	がん検診の啓発を行う。				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

事務事業名	健診事業(生活習慣病予防)	担当者	民生課 保健センター係
① 事務事業の概要	総合計画での位置づけ	3.医療・福祉・健康/3-4.あち健康プラン21の推進	
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり	
	関連する主な計画等	阿智村健康増進・食育計画(あち健康プラン21)	
	根拠法令等	高齢者の医療確保に関する法律、健康増進法	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他	
	事業の対象者	国保特定対象者、後期高齢者医療保険加入者、39歳以下の村民、消防団員	
事業開始年	昭和58年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期
			<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定
実施目的	健康診断の結果から自分の体の状態を知り、生活習慣を見直し、改善することで疾病を予防し、健康の維持増進を図る。		

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・一般健診(39歳以下)、消防団員健診、特定健診(国保加入者40～74歳)、後期高齢者健診(75歳以上)の区分で、集団健診を実施した。 ・商工会健診にて、歯周病チェック、保健事業の紹介等実施。 ・村内の医療機関と連携しコントロール不良者への支援を行った。 ・保健指導対象者には訪問や電話による支援のほか、からだ改善教室を開催し運動習慣定着や食生活の改善について意識を高めてもらう機会を提供した。 ・村内医療機関等多職種連携会議を3回開催。			
	実績・効果	・特定健診:集団健診(214人)、個別健診(53人)、人間ドック(62人)、データ提供(2人) ・後期高齢者健診:集団健診(106人)、個別健診(21人)、人間ドック(36人) ・一般健診:集団健診(106人)、女性デー検診(健診27人、子宮43人、エコー45人) ・「からだ改善教室」参加者16名。運動や食事習慣の改善のきっかけづくりとした。 ・生活習慣病重症化予防として、訪問、受診同行等によりハイリスク者への支援を行った。医療機関と連携し効果的な保健指導の体制づくりを構築した。 ・商工会健診に出向き、商工会との健康づくりに関する連携を開始することができた。			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	10,235	10,323	12,617	13,269
	国・県支出金	8,394	9,077	7,767	8,020
	起債	1,841	1,246	4,850	5,142
	その他				
	従事職員(人)	正規職員	1	1	1
	臨時職員	0.2			

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	生活習慣病予防としての健康診断を受けても、体の状態を理解するためのフォロー事業が少ない。国保被保険者だけでなく、各世代にあった健康意識向上のための取り組みが必要である。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		特定健診	4,457	ヘルスアップ事業	3,416	
		国保人間ドック等	2,400	健康教室	180	
		39歳以下一般健診	358			
		後期高齢者健診	1,258			
後期高齢人間ドック		1,200				
期待される効果	商工会と健康づくり事業で連携し、働く世代の健康づくり、生活習慣病予防を進めることができる。 地域職域連携を強化することで、健康保険移行時など切れ目のない支援が実施できる。 ハイリスク者に対し、健診後のフォロー体制を充実させ、医療機関と連携し、対象者の生活に即した支援を行い、糖尿病、脳血管疾患等重症化を予防する。					
前年からの改善・工夫	国保特定健診未受診者、後期高齢者医療保険対象者の健康状態未把握者に対して、レセプト情報を把握しながら、個別訪問を実施し、未受診者の健康状態を把握する。 国民健康保険、後期高齢者医療保険新規加入者に対し、健康診断受診券、村の健康診断に関する情報を送付する。					
具体的取組・スケジュール	通年 新規国保、後期高齢医療保険加入者へ受診券・チラシを送付・人間ドック補助申請に合わせて面談実施。個別健診の推進。 集団健診は計画に沿って実施する。 村内医療機関等多職種連携会議を年3回開催し村の課題等情報を共有し、連携について協議する。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	各世代の健康診断対象者				
	時期(何時までに)	通年				
	意図(どうする、どうなる)	健康診断を受診する人が増加する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	水中運動教室	担当者	民生課 保健センター係
	総合計画での位置づけ	3.医療・福祉・健康/3-4.あち健康プラン21の推進		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり		
	関連する主な計画等	阿智村健康増進・食育計画(あち健康プラン21)		
	根拠法令等	健康増進法		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
事業の対象者	全村民			
事業開始年	平成7年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定
実施目的	水中運動は、浮力、抵抗、水圧、水温の4つの特性を生かし、妊婦・乳幼児から高齢者、障がい等ハンディを抱えた方など、すべての年代・世代、すべての健康レベルにとって、効果的な運動であり、個々の課題にあったプログラムに取り組むことで、健康寿命の延伸を図る。			

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	大人クラス:11クラス    ヨガ:2クラス 子どもクラス:10クラス    親子クラス:2クラス 療育クラス:1クラス 指導者確保のため指導料の引き上げを実施。				
	実績・効果	教室登録者数:大人123名    子ども130名 月平均参加者数:大人350名・子ども390名 おとな男性教室は定員に達している。ロコミで参加者数が増えている。 こども教室は定員に達している。3月申し込みの時点で定員に達する。 大人教室は疾患、免許返納等の理由による退会、休会がある。新規入会もあり、登録人数は維持している。子どもから大人まで健康づくりの場として定着している。				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	25,358	25,447	26,519	26,660
		国・県支出金	24,748	24,837	25,909	26,510
		起債	610	610	610	610
		その他				
		従事職員(人)	正規職員	0.2	0.2	0.2
		臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	指導者の人材確保。光熱水費、人件費、老朽化に伴う修繕費、維持費の増加。児童数の減少により子どもクラスは1クラス減となる。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		水中運動委託料	5,896			
		プール運営補助金	20,000			
		プール監視委託料	526			
		リハビリ指導委託	238			
期待される効果	健康運動指導士に個別相談でき、年齢や身体状態に合わせた教室を選択できる。高齢者は関節に負担がかからず、体力維持ができています。参加者同士で会話するなど交流ができ、自分で交通手段を使って通うなど社会参加の場所としても有効である。子どもの教室は、体力づくり、抵抗力、免疫力向上が期待できる。他の学校児童との交流にもなっている。					
前年からの改善・工夫	講師料の見直しにより、指導者を確保する。水中運動担当の健康運動指導士に、健康教室等の講師を依頼する。健診後フォローとしての繋ぎや、他の運動団体との連携を図り、水中運動を啓発する。					
具体的取組・スケジュール	年間計画に沿って実施					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	村民				
	時期(何時までに)	年度中				
	意図(どうする、どうなる)	計画に沿って実施する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	精神保健		担当者	民生課 保健センター係	
	総合計画での位置づけ	3.医療・福祉・健康/3-4.あち健康プラン21の推進				
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり				
	関連する主な計画等	阿智村自殺対策計画				
	根拠法令等	精神保健及び精神障がい者福祉に関する法律				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他				
② 令和7年度の取組・実績	事業の対象者	全村民				
	事業開始年	平成17年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
	実施目的	「阿智村自殺対策計画」を推進し、全世代における生きることの包括的支援を行う。 精神的な困難を抱えているために、引きこもりにある人々の居場所を提供することで、地域で健やかに社会生活が送れるようにする。				
③ 評価	具体的取組	精神デイケア(以下はなももハウス)を保健センターで毎週金曜日に実施。利用者の個別計画を作成し、生活力やコミュニケーション能力の向上、就労支援を目的としている。保健センター内の季節ごとの飾りつけや、阿智祭・ひなまつり会場の飾り、バザーでの手作り品の販売、エコバックを作り薬局に提供するなどの社会貢献を通して、生きがいや就労支援を行っている。さらに就労後のフォローも行っている。 精神疾患、知的障がい、おとなの発達障がい、引きこもり等の方々の支援は、保健センターの保健師が窓口として、他機関他職種と連携しながら、訪問支援や個別相談等を実施している。				
	実績・効果	はなももハウスの利用者は、設定した目標に対し評価を実施。現在7名が登録しているが、就労につながったり、生活能力の向上がみられたりと、ほぼすべての参加者の目標が達成できた。利用者の話し合いによるプログラムの作成で、参加意欲の向上や主体性を高めることもできた。 自殺対策事業としては、「第2期自殺対策計画」を策定した。				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		実績・見込額(千円)	629	608	522	501
		一般財源	629	608	522	501
		国・県支出金				
起債 その他						
従事職員(人)	正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5	
	臨時職員			0.5		
④ 8年度事業計画	総合評価	B		事業の方向性	継続・維持	
	課題	はなももハウスは、他の施設やサービスに馴染めない方々も多く、セーフティネットの役割も担っている。ニーズの掘り起こしや必要な住民に十分情報を届ける必要がある。				
④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		看護師派遣委託料	238			
		支援員等報酬	156			
		医師相談料	17			
		消耗品	50			
期待される効果	「第2期阿智村自殺対策計画」を推進することで、だれも自殺に追い込まれることのない地域をつくる。 はなももハウスを実施することで、社会とのつながりをつくり、自立していくための能力を高めていくことができる。					
前年からの改善・工夫	7年度に策定した第2期の計画を推進する。 はなももハウスを必要な住民に知ってもらうための広報を充実させる。					
具体的取組・スケジュール	第2期自殺対策計画を推進するために、「阿智村市内自殺対策推進協議会」を開催する。 はなももハウスを毎週金曜日に実施する。 はなももハウスを精神科医療機関等へ周知するとともに、広報等で案内する。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	阿智村市内自殺対策推進協議会を				
	時期(何時までに)	令和7年9月までに				
	意図(どうする、どうなる)	開催する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	●母子保健事業	担当者	教育委員会 こども家庭センター
	総合計画での位置づけ	3.医療・福祉・健康/3-4.あち健康プラン21の推進		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり		
	関連する主な計画等	阿智村健康増進・食育計画(あち健康プラン21)		
	根拠法令等	母子保健法		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
	事業の対象者	妊娠期から18歳までの母子とその家族		
事業開始年	昭和40年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定
実施目的	妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行うことで、母性及び乳幼児の健康の保持増進を図る。乳幼児の成長発達に即した育児、栄養、歯科等の保健指導を総合的に行うことで、病気や障がいの早期発見と予防に努めるとともに育児不安の軽減を図る。			

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭訪問…妊産婦、2か月(全数)、随時</li> <li>・乳幼児健診…1か月児健診(個別・医療機関委託)、4か月、7か月、10か月、12か月、1歳半、3歳、3歳児眼科、股関節脱臼検査 幼児相談…2歳</li> <li>・乳幼児学級、離乳食教室を毎月開催。不妊治療補助、母子手帳交付、両親学級、妊産婦健診、定期予防接種の勧奨、産後ケア補助、授乳育児相談補助、新生児聴覚検査補助、未熟児養育医療助成、ことばの相談、療育相談(水中運動含む)実施。</li> <li>・出産祝い金(村単5万)+妊婦のための支援給付金(10万)、出産祝い品(村単1万相当)</li> </ul>			
	実績・効果	大きな新規事業や大幅な事業の変更は行わなかったが、毎月の乳児健診は継続して実施、乳幼児学級も毎月行った。保護者が学びの場に参加すること、子どもたちが様々な体験の場に参加することが大切だと考え、保護者の学習の機会を多くしようと意図的に取り組んだ。学習的要素が深まると参加者が少なくなる傾向はあるが、支援者側が保護者に伝えていきたいこと(発達について、防災対策、赤ちゃんとのふれあい等)を学習会形式で伝えた。母子保健担当保健師とこども家庭相談員が同一部署となったため、連携が深まった。			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	9,003	19,796	20,900	28,926
	国・県支出金	6,869	17,188	17,833	26,026
	起債	2,134	2,608	3,067	2,900
	その他				
	従事職員(人)	正規職員	1.5	1	1
	臨時職員		1	1	1

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	拡充
	課題	出生数の減少により、事業や業務の方向性、支援のあり方を模索・検討することが必要。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
	期待される効果	不妊治療補助	530	出産祝金等	4,025	
		妊産婦健診ケア等	5,639	予防接種事業	16,176	
		乳幼児健診・教室	1,793			
		未熟児養育医療	500			
療育事業		263				
前年からの改善・工夫	出生数が減少しているが、引き続き充実した事業の方向性について、工夫・検討していく。 ●従来、宿泊型のみ実施していた産後ケア事業について、日帰り型ケア・訪問型ケアも実施し、妊産婦への支援充実を図る。 ●母子手帳アプリを導入し、保護者へのお知らせやアンケート回答など、村と保護者双方が手軽に情報を共有できる環境を整える					
具体的取組・スケジュール	家庭訪問・相談援助業務…妊産婦、2か月(全数)、療育相談、随時 乳幼児健診…1か月(個別・医療機関委託)、4か月、7か月、10か月、12か月、1歳半、3歳、3歳児眼科(全数)、股関節脱臼検査(必要な乳児) 健康相談・教育…2歳児相談、ことばの相談、両親学級、乳幼児学級、離乳食教室 通年…不妊治療補助、妊産婦健診、定期予防接種の勧奨、未熟児養育医療助成、等補助。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	妊産婦と乳幼児に				
	時期(何時までに)	通年				
	意図(どうする、どうなる)	健やかに安心して出産や子育てができる支援を行う				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	感染症対策事業(予防接種等)	担当者	民生課 保健センター係
	総合計画での位置づけ	3.医療・福祉・健康/3-4.あち健康プラン21の推進		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり		
	関連する主な計画等	阿智村健康増進・食育計画(あち健康プラン21)		
	根拠法令等	予防接種法、感染症法		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
事業の対象者	各予防接種の対象年齢の村民			
事業開始年	昭和23年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定
実施目的	感染症の発症とまん延を防止することにより、公衆衛生の向上と推進を図る。			

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<b>【定期接種(B類疾病)】(自己負担あり)</b> インフルエンザ(65歳以上)、肺炎球菌(65歳)、新型コロナ(65歳以上)、 带状疱疹ワクチン(R7年度65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上を対象) <b>【任意接種補助事業】</b> 肺炎球菌(66歳以上)、带状疱疹ワクチン(50歳～64歳) <b>【結核検診】</b> 胸部レントゲン検査(65歳以上)				
	実績・効果	インフルエンザ・新型コロナ予防接種問診票は、65歳以上に個別発送。 (R7接種状況 11月時点) 带状疱疹(317人)、65歳肺炎球菌(14人)、インフルエンザ(1,147人)、新型コロナ(207人) 接種率:65歳肺炎球菌(18%)、インフルエンザ(51%)、新型コロナ(9%)				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	25,652	9,769	17,378	14,605
		国・県支出金	25,652	9,769	17,378	15,156
		起債				
		その他				
		従事職員(人)	正規職員	1	1	0.5
		臨時職員	1			

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	新型コロナ予防接種の自己負担(8,000円)となった。 带状疱疹ワクチンが定期接種に移行しており、5年間の経過措置が設けられている。 65歳肺炎球菌の接種率が低いため、対象者が適切に接種できるよう周知する必要がある。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		個別接種委託料	14,249			
		個別接種補助金	224			
		予診票印刷	22			
		胸部レントゲン	110			
期待される効果	個人の発症、重症化を予防し、集団発生を予防できる。					
前年からの改善・工夫	定期接種(B類疾病)に位置付けられた、带状疱疹ワクチンは経過措置として、70歳から5歳刻みで周知をする。 65歳肺炎球菌の接種率が低いため、接種勧奨を行う。 インフルエンザなど感染症流行情報を発信し、感染症予防の啓発を行う。					
具体的取組・スケジュール	定期接種は、遅延なく適切な時期に案内と問診票を発行する。 任意接種は、個人、病院に補助制度を周知する。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	定期接種対象者に				
	時期(何時までに)	誕生日等必要な時期に				
	意図(どうする、どうなる)	接種勧奨を行う				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	●阿智村観光事業	担当者	商工観光課	観光係
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-1.観光を基軸とした産業振興			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	1.しごと/1.地域資源を活かした観光の推進			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者					
事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	観光を基軸とした産業振興のため、「日本一の星空」をはじめ地域の観光資源を活用しイベントやキャンペーン等開催による誘客活動を効率的に行う。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	(株)阿智屋神観光局による、案内所の運営、JR駅との連絡バス、誘客宣伝、地域連携事業(観光協会からの継承事業)、ユニバーサルツーリズム事業等への補助と「日本一の星空」のブランディング推進、浪合パーク運営等スタービレッジ事業への補助 二次交通の課題等を検討し中津川便と諏訪便を廃止し、松本便の運行を実施 認知度と理解度の向上を目的としたビックイベント等の開催 地域観光資源の創出活動や地元農産物の利用促進の実施 屋神温泉史の発行作業			
	実績・効果	国内旅行が低迷する中で、効果的なブランディングとプロモーションを行うことが、旅行離れ傾向にある若年層等が阿智村に旅行に来たくなる動機づくりや旅行意欲の増進につながった。「日本一の星空阿智村七夕まつり」は2年目で、住民の協力を得て内容を充実させ事業として定着した。			
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	141,500	140,037	142,867	147,189
	一般財源	141,500	140,037	142,867	147,189
	国・県支出金				
	起債				
	その他				
従事職員(人)	正規職員				
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	拡充
	課題	国内での認知度と理解度向上は成果が出ているが、インバウンド(訪日外国人旅行)へのプロモーションや受入態勢は整っていない。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		観光局運営補助	51,900	スタビブランディング	15,400	
		プロモーション補助	18,800	スタビ浪合事業	5,000	
		バス・アクティビティ事業	34,840	スタビ来場者コントロール	5,000	
		地域連携事業	8,660	★インバウンド調査研究	4,950	
	屋神温泉環境整備	2,550	広域SDGs負担金	89		
	期待される効果	国内旅行が低迷する中で、更なるブランディングやプロモーションの強化をはじめ、地域連携による様々な観光資源の創出や農業等異業種と観光との連携活動の充実により、阿智村に来たくなる旅行意欲の増進が期待される。 国内旅行が低迷する中、インバウンドの状況把握や誘客対策等の研究の実施により適正な誘客対策を整えられる。				
	前年からの改善・工夫	インバウンドについての調査等研究を行い、阿智村独自のインバウンド対応策を検討する。 中津川市と飯田市・阿智村を繋ぐ定期的な二次交通事業の実現に取り組む。 村政70周年記念事業を、日本一の星空の下で開催し皆で祝う。				
	具体的取組・スケジュール	インバウンド対応策について年度内に観光局により調査等研究を実施する。				
	8年度の目標	対象(何を、誰を)	インバウンド調査研究を			
		時期(何時までに)	年度内に			
		意図(どうする、どうなる)	実施する			

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	観光地整備事業	担当者	商工観光課	観光係
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-1.観光を基軸とした産業振興			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	1.しごと/1.地域資源を活かした観光の推進			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者					
事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	村内観光地の受入環境の整備を行うことで、観光地の魅力を向上させ、阿智村の交流人口の拡大を目指す。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	森林環境譲与税による観光地等魅力向上森林景観整備(昼神温泉郷内森林整備) 恵那山登山広河原ルートに変わる新ルート計画開始 史跡・公園等管理(東山道・園原の里管理委託) トイレ管理(昼神公衆トイレ管理委託・仮設トイレ設置(網掛山)) トイレ環境美化支援金(寺尾、花桃、イベント広場、広河原、宮の原、清内路、御所) 登山道刈払い(恵那山、昼神温泉遊歩道、南沢山、富士見台、東山道) 観光地景観維持刈払い(R153とR256沿い)			
	実績・効果	昼神温泉郷内の危険木伐採により、訪れるお客様の受入態勢を整えた。 公衆トイレは、管理団体等への支援により常時清潔な状態を維持している。 登山道の刈払いや案内看板の新調により、訪れるお客様が気持ちよく安全に歩くことができた。 落石多発と河川増水の危険性が高い登山コースの見直し検討を、地元住民等の協力により開始することができた。			
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	25,025	27,394	21,496	28,582
	一般財源	18,242	22,894	17,026	24,082
	国・県支出金	1,740	1,500	1,400	1,500
	起債				
	その他	5,043	3,000	3,070	3,000
従事職員(人)	正規職員	1.2	1.2	1.2	1.2
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	拡充
	課題	施設等の継続的な維持管理が必要だが、管理する地元団体等の高齢化や人手不足が近い将来懸念される。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		登山道等管理整備	3,675	公園等管理整備	2,222	
		滝見台トイレ改修	2,750	公衆トイレ等管理	3,629	
		湯ったりな昼神改修	4,776	恵那山新ルート計画	4,840	
		観光地等森林整備	3,000	火災保険料	195	
		セラピー基地施設整備	3,000	設計管理委託	495	
期待される効果	観光客や地域住民等のニーズを活かし利便性や安全性を高め、安心して過ごせる村づくりにより観光客の滞在時間の延長や新たな魅力の創出につなげる。 地元団体等が主体的に清掃等に取り組むことで、地域への愛着とおもてなしの心を醸成でき、手入れされた気持ちの良い景観・施設で観光客を受け入れられる。					
前年からの改善・工夫	河川を渡る危険な登山ルートを地元有識者などと検討した結果により、新ルートを開設する方向で計画をする運びとした。 各施設等の管理や整備については、引き続き地元団体等の主体的な取組みにより効率的に行う。					
具体的取組・スケジュール	危険ルートについて有識者や地元住民等と現地調査を行い、新ルート案を確定する。 年度当初に、各施設等の維持管理について各団体との準備を整える。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	恵那山登山新ルート案を				
	時期(何時までに)	年度内に				
	意図(どうする、どうなる)	確定する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	観光センター運営事業	担当者	商工観光課	観光係
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-1.観光を基軸とした産業振興			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	1.しごと/1.地域資源を活かした観光の推進			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者					
事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	観光事業の中心である昼神温泉の活性化のため、昼神温泉観光センターの運営を行う。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	観光センターの運営 ・熊谷元一写真童画館 常設展示、アートギャラリー、館内イベント ・イベントホール等貸館																																																													
	実績・効果	熊谷元一写真童画館入館者数は、年度当初から花桃まつり中止やヘブンス園原の休業等のあおりを受け減少したが、あらゆる企画の実施により大幅な減少はま逃れた。																																																													
	事業コスト	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td colspan="6">(人)</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td>11,004</td> <td>5,565</td> <td>4,782</td> <td>6,039</td> <td>6,762</td> <td>6,328</td> </tr> </table> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>区分</td> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> <td>令和8年度</td> </tr> <tr> <td>実績・見込額(千円)</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>  一般財源</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>  国・県支出金</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  起債</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>従事職員(人)</td> <td>正規職員</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>臨時職員</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					(人)						R1	R2	R3	R4	R5	R6	11,004	5,565	4,782	6,039	6,762	6,328	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	実績・見込額(千円)	3,000	3,000	3,000	1,500	一般財源	3,000	3,000	3,000	1,500	国・県支出金					起債					その他					従事職員(人)	正規職員					臨時職員		
(人)																																																															
R1	R2	R3	R4	R5	R6																																																										
11,004	5,565	4,782	6,039	6,762	6,328																																																										
区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度																																																											
実績・見込額(千円)	3,000	3,000	3,000	1,500																																																											
一般財源	3,000	3,000	3,000	1,500																																																											
国・県支出金																																																															
起債																																																															
その他																																																															
従事職員(人)	正規職員																																																														
	臨時職員																																																														

③ 評価	総合評価	<b>B</b>	事業の方向性	<b>継続・維持</b>
	課題	昼神温泉リニア新時代構想の推進と合わせた施設のあり方の検討が必要		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		観光センター補助金	1,500			
	期待される効果	昼神温泉郷内の拠点施設として、観光客の周遊による経済効果が期待される。				
	前年からの改善・工夫	昼神温泉リニア新時代構想の推進と検討を実施する。引き続き、効果的な運営に努める。				
	具体的取組・スケジュール	昼神温泉リニア新時代構想の推進と検討を実施する。引き続き、効果的な運営に努める。				
8年度の目標	対象(何を、誰を)	施設運営を				
	時期(何時までに)	年間通じて				
	意図(どうする、どうなる)	行う				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	屋神温泉新時代推進事業	担当者	リニア・まちづくり課 まちづくり企画係
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-1.観光を基軸とした産業振興		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	1.しごと/1.地域資源を活かした観光の推進		
	関連する主な計画等	屋神温泉リニア新時代構想		
	根拠法令等			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
事業の対象者				
事業開始年	令和2年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定
実施目的	リニア中央新幹線開通後を見据え、屋神温泉リニア新時代構想の目指す姿を実現し、「世界に選ばれるHIRUGAMI ONSEN」を目指す。			

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	官民連携事業を前提とするなかで、株式会社阿智屋神観光局が村の代理人として事業全体のマネジメントを行うこととした。(PPPエージェント方式) 事業の可能性や資金調達について民間事業者や金融機関と対話を重ね、事業の企画立案に取り組んだ。			
	実績・効果	村の財政を鑑み、従来の公共事業ではなく、経済合理性のある官民連携事業とし、公共性が高い分野へ税金を使う方式で取り組んでいるため、企画立案に時間を要している。 観光庁の補助金事業で、企画立案のため「外国人旅行者に選好される魅力的なコンテンツの開発・強化」「安定的な財源の確保のための計画の策定」に取り組んだ。			
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	5,139	10,159	76,170	34,170
	一般財源	5,139	10,159	76,170	34,170
	国・県支出金				
	起債				
	その他				
従事職員(人)	正規職員	0.5	0.6	0.6	0.6
	臨時職員			1	1

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	税金のみによらない経済合理性のある企画の立案・実行。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		屋神温泉新時代構想業務委託	20,000			
		視察経費	500			
		消耗品等	70			
		パート報酬等	13,600			
	期待される効果	屋神温泉リニア新時代構想の具体化。				
	前年からの改善・工夫	当面、①湯ったり～な屋神周辺の再開発②阿智川の景観整備③直面した民間事業者の課題の3つに整理し、取り組む。 短期・中期に取り組む実行計画を策定する。				
	具体的取組・スケジュール	湯ったり～な周辺の再開発については、要求水準をまとめ、民間事業者による部分と村による公共部分を整理する。阿智川の景観整備については、飯田建設事務所と協議するなかで、国交省かわまちづくり支援制度に取り組む。 また、民間事業者の課題は、構想全体の内容を考慮する中で必要に応じて対応する。				
	8年度の目標	対象(何を、誰を)	要求水準書を			
		時期(何時までに)	年度末までに			
		意図(どうする、どうなる)	作成する			

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	花桃まつり・花桃管理	担当者	商工観光課	観光係
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-1.観光を基軸とした産業振興			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	1.しごと/1.地域資源を活かした観光の推進			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者					
事業開始年	令和2年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	花桃まつりの運営、また、花桃の管理を支援することで、村の資源である花桃の維持を行う。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	来場車両が行き先を迷わない為に新たな誘導看板の政策と設置。 花桃まつり会場内や期間中の誘導作業を熟知したスタッフが専門的に対応した。 モモヒメヨコバイ(外来種)の被害防止対策の試験的防除作業を実施した。 智里西地区や花桃管理団体への支援。				
	実績・効果	これまでの反省等を基に、来場車両が交差点で無駄な停止をしないよう誘導看板の新設や熟知したスタッフによる的確な誘導作業により渋滞緩和対策と歩行者の安全確保を行った。 モモヒメヨコバイ(外来種)による被害防止対策については、試験的に2年間行ってきた結果、ある程度の防除方法が分かってきた為、薬剤散布の時期や方法を花桃を管理する団体と共有できた。				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業コスト	実績・見込額(千円)	一般財源	17,400	13,316	23,361	19,000
		国・県支出金	0	8,322	0	0
		起債				
		その他	17,400	4,994	23,361	19,000
	従事職員(人)	正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3
	臨時職員					

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	花桃まつり期間中のスタッフ等人員不足 開花時期の交通量と歩行者の増加による地域住民への負荷の低減		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		まつりスタッフ人件費・旅費	3,400	土地使用料	350	
		まつり消耗品等	2,110	村内花桃管理支援	600	
		トイレ汲取り等役務費	805	花桃管理補助金	8,000	
		トイレ清掃等委託料	2,213	その他	2	
仮設トイレ等使用料		1,520				
期待される効果	村が中心となり地元管理団体と協力して花桃まつりを行うことで安定的な開催ができる。また、花桃管理を支援することで、美しく咲く花桃を保持できる。					
前年からの改善・工夫	まつり期間中の交通規制はこれまで同様に警察署の指導に基づき、例年どおり一方通行で行い、渋滞の起因箇所は熟知した専門スタッフの配置により行う。また、必要に応じて新たな誘導看板等の製作と設置を行う。 モモヒメヨコバイ等病害虫防止対策への対応は花桃を管理する団体と連携をとりながら行う。					
具体的取組・スケジュール	3月 花桃まつり実行委員会 4月上旬から～4月下旬 まつり実施(交通整理、駐車場対応、出店対応等) 5月～花桃管理を支援(管理団体への支援、協力等) 6月～花桃まつり実行委員会(次年度へ向けた検討)、モモヒメヨコバイ等被害防止作業開始					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	花桃まつりを				
	時期(何時までに)	開花時期に合わせて				
	意図(どうする、どうなる)	実施する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	温泉事業	担当者	商工観光課	観光係
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-1.観光を基軸とした産業振興			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	1.しごと/1.地域資源を活かした観光の推進			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者				
事業開始年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定		
実施目的	屋神温泉のお湯を安定的に供給する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	4号源泉井戸孔内調査と老朽化したポンプの入替工事 温泉専門研究機関との相談業務 湯量計交換工事				
	実績・効果	温泉配湯施設 20施設 温泉配湯量 507.5㎥/分 4号源泉井戸孔内調査の結果を基に安定的な温泉の供給方法の検討を実施する。				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業コスト	実績・見込額(千円)	一般財源	56,225	51,794	58,397	30,134
		国・県支出金				
		起債				
		その他	56,225	51,794	58,397	30,134
	従事職員(人)	正規職員	1	1	1	1
	臨時職員					

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	十分な温泉の揚湯量を確保するための更なる調査の実施と、それに基づく対応策を至急行う必要がある。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		人件費	8,566	2号温泉負担金等	2,959	
		電気料	7,000	積立金	79	
		修繕料等需用費	700	その他	822	
		給湯管理等委託料	4,846			
	施設維持修繕等工事	5,162				
期待される効果	揚湯量の減少している井戸の内部調査等の実施により、状況を把握し今後の対策を行うことで、湯量の確保に努める。 安定した温泉の配湯により、温泉利用施設の安定的な経営、泉質の維持が誘客につながる。					
前年からの改善・工夫	調査内容の結果により、必要な対策を検討し年度内の閑散期等を利用して作業を実施する。					
具体的取組・スケジュール	令和7年度末に出される、4号源泉井戸孔内調査の結果により必要な対策を検討する。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	年度月上旬に調査結果を検討し				
	時期(何時までに)	年度内に				
	意図(どうする、どうなる)	必要な対策作業を実施する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	治部坂高原別荘管理事業	担当者	総務課	治部坂別荘管理事務所係
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-1.観光を基軸とした産業振興			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	1.しごと/1.地域資源を活かした観光の推進			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	阿智村治部坂高原別荘管理事務所設置条例			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	別荘契約者			
事業開始年	昭和40年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	別荘及び観光利用者等の高原の自然との触れ合い等の便に供するとともに、都市との交流を深め地域の活性化のための事業を行う。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	遊休地の有効活用を行うことにより村の活性化につなげ、雇用の創出などを目的とし昭和40年代より借地による別荘開発を行い、中京圏の方を中心に夏の避暑や冬のスキーなど利用されてきた。 ・契約者数: 159名 契約区画数179区画 ・別荘の管理や環境整備、別荘会との協力 ・道路修繕、支障木の伐採				
	実績・効果	・環境整備や道路修繕を行うことで居住環境が向上している。 ・道路改修を終了した。				
事業コスト	実績・見込額(千円)	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		一般財源	38,412	37,437	38,329	16,978
		国・県支出金	8,455	6,672	8,486	6,859
		起債	20,800	20,800	20,000	
		その他	9,157	9,965	9,843	10,119
	従事職員(人)	正規職員	1	1	1	1
	臨時職員					

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	・別荘契約者が世代交代を迎え50年を経過する別荘もあり利用率の低下が危惧される。 ・水道施設、管路等の老朽化による改修、修繕が必要とされる。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		人件費	8,969			
		事務所管理費	850			
		施設管理費	3,878			
		道路改良費	2,000			
	公用車管理費	1,281				
期待される効果	・治部坂高原は混雑地区を代表する観光地です。別荘会と協力し、別荘の利用促進や誘客を行なうことにより交流人口の増加が見込まれ経済効果が期待できる。					
前年からの改善・工夫	・管理費及び水道料の値上げ検討。					
具体的取組・スケジュール	・年間を通して環境美化、利用促進に努め、空き別荘の新規利用者への譲渡促進等を行う。 ・支障木伐採工事					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	別荘地内の景観保持及び設備				
	時期(何時までに)	年間を通じ				
	意図(どうする、どうなる)	適切な管理を行う				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

事務事業名	一般社団法人 阿智村産業振興公社事業	担当者	建設農林課	農政係
① 事務事業の概要	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-2.阿智の特色を生かした農業振興		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	1.しごと/2.次世代につなぐ農業		
	関連する主な計画等			
	根拠法令等			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
	事業の対象者			
事業開始年	平成22年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期未定
実施目的	産業振興公社は阿智村の総合計画に基づき、地域内循環システムの構築と有利販売による地域住民の収入の増加を図り、農業による持続可能な村づくりを進めることを目的とする。また、村農産物の加工品の研究や販路拡大、PRも併せて行う。			

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	認証農産物のブランド化、村内農家の更なる収入安定・維持に貢献し、村内農業全体の発展に寄与するものとし、次の事業を実施した。 1.農産物の栽培指導及び生産拡大、担い手育成に関する事業（協力隊2名） 2.農産物の販売促進事業（豊山町交流事業、豊橋大一青果、加工特産品開発事業） 3.完熟堆肥の安定供給及び有効活用の推進 4.農業振興に関する調査及び研究事業 5.アグロフォレストリー事業による新栽培実証実験 6.販路拡大事業による加工品の研究販売（ブドウ栽培、ワイン開発、大豆加工品） 7.地域内循環地産地消（無人販売強化、昼神温泉への積極的な推進）			
	実績・効果	主な販売先と販売見込み 140,000千円(前年比115%) 豊一豊田青果 45,000 知多総合市場 18,000 各種イベント事業 6,000 中津川にぎわい館 12,500 モーニングコープ 8,000 昼神温泉関連 10,000 ・各イベントへの積極的な参加や地縁先への販売強化、また新たな市場開拓を行い、販売実績は大幅に増加した。 ・夏場の猛暑があったものの、生産者からの出荷量が増え販売数量が大幅に上昇。加えて市場を中心に高単価での取引が続き、売り上げが増加した。			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績・見込額(千円)	35,105	41,765	55,000	50,000
	一般財源	35,105	41,765	55,000	50,000
	国・県支出金				
	起債				
	その他				
	従事職員(人)	正規職員 2	2	2	2
		臨時職員			

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	夏場の高温障害は今後も続くものと推測され、作型の変更や暑さに強い品目を研究していく必要がある。出荷数量の増加により新たな販売先の確保が求められる。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		補助金(プロジェクト推進費)	47,000			
		販路拡大支援事業	3,000			
	期待される効果	・認証農産物の有利販売による生産者の所得向上と、生きがいとして取り組む農家の拡大。 ・後継者育成事業により担い手を確保することで、農産物の出荷量増加が期待できる。 ・昼神温泉への農産物供給により、農業と観光の連携が図られ、地域内循環が強化される。 ・ブドウ栽培による阿智村産ワインの本格的な製造、販売により、地域活性化を図る。				
	前年からの改善・工夫	・昼神温泉関係者、学校関係との連携による地産地消の更なる推進。 ●ブドウ栽培による新たな阿智村の目玉商品として、阿智村産ワインの製造、販売に力を入れる。 ●交流ある都市との地縁を生かし、阿智村農産物の更なる販売先拡大に努める				
	具体的取組・スケジュール	・「阿智村産業振興公社みらい構想」を基本方向とし、情勢に合わせ検討や見直しを行う。 ・南信州農業農村支援センター・JA・農地集落支援員・村と連携し、農業者や研修生の指導・育成を的確に行っていく。 ・阿智村産ワイン製造、販売に向け、観光局と連携して取り組む。また地元飲食店や小売店への販売にも力を入れる。				
	8年度の目標	対象(何を、誰を)	交流のある地縁都市			
		時期(何時までに)	10月末までに			
		意図(どうする、どうなる)	阿智村農産物の販売を行う			

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	果樹農業振興	担当者	建設農林課	農政係
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-2.阿智の特色を生かした農業振興			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	1.しごと/2.次世代につなぐ農業			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	果樹経営農家				
事業開始年	平成11年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	農業災害補償法に基づく果樹共済への加入を促進し、災害対策のための資材費の一部を補助することにより果樹栽培農家の経営安定を図る。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	果樹農家支援として果樹共済掛金の20%を補助 果樹減農薬資材補助として資材費の20%を補助 凍霜害対策として資材費の1/2を補助 廃園から発生する病気まん延防止として伐採経費の1/2を補助				
	実績・効果	・共済掛金、資材補助を行うことにより生産者の負担を減らし生産意欲の向上に貢献した。 ・不安定な気象条件による、被害防止に貢献した。 ・隣接する廃園の病気まん延防止に要する伐採経費を補助することにより、被害を防止し農業経営の安定に役立っている。 果樹共済掛金補助金 10件 果樹減農薬資材補助 20件				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	541	418	497	494
		国・県支出金	541	418	497	494
		起債				
		その他				
		従事職員(人)	正規職員	0.1	0.1	0.1
		臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	果樹農家の高齢化と担い手不足や、温暖化により栽培環境が非常に厳しくなるなか、品種の選定や新しい技術の取り組みなど課題は山積している。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		果樹共済掛金補助	69			
		凍霜害対策補助	97			
		減農薬資材補助	148			
		収入保険掛金補助	180			
期待される効果	資材購入を補助することにより、災害対策への意識向上と経費の削減をはかり、共済加入を通じて果樹農家の経営安定が期待され、阿智村の特産品であるリンゴ、ナシ、ぶどう、柿の生産が確保できる。					
前年からの改善・工夫	突発的な豪雨や台風などの農業者の責によらないリスクによる収入減を補償する収入保険制度への加入に対し、共済と連携しながらPRIに努める。 獣害対策のための放任果樹の伐採補助を検討する。					
具体的取組・スケジュール	・凍霜害の恐れがある春先は天気予報等により、農家への広報による呼びかけを行い、霜が発生した当日は果樹園の調査し必要な対応を行う。 ・台風等の災害の発生が予想される際は注意喚起を行い、調査し必要な対応を行う。 ・補助事業の周知は、各団体等を通じて行う。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	補助金の申請受付を				
	時期(何時までに)	令和8年度中に				
	意図(どうする、どうなる)	支払を速やかに行う				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	新規就農者支援	担当者	建設農林課	農政係
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-2.阿智の特色を生かした農業振興			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	1.しごと/2.次世代につなぐ農業			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	農業振興事業補助金交付要綱			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	新規就農者			
事業開始年	平成21年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	意欲ある若者の就農を支援することで、後継者問題への対策と遊休荒廃農地の解消に努め、基盤産業としての農業振興の充実をはかる。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	新規に就農した者に就農に必要な資金を支援する。 ・経営開始資金150万円・経営発展支援(施設機械購入支援) ※49歳以下(国補) ・住宅料補助 研修期間中上限月額2万円 ※55歳以下 JA・産業振興公社・長野県と連携し就農前後の支援による担い手の確保育成の取組。 JA・産業振興公社・長野県と連携し新規就農者の募集(UIターン、地元)。 農業や家庭菜園で身近な疑問を気軽に相談できる先輩農家をアドバイザーとして設置。				
	実績・効果	新規就農者が担い手として定着することで、村全体の農業振興とともに地域の活性化に貢献した。 <b>【実績】</b> ・経営開始資金 5組 6,950千円(継続5名) ・経営体育成支援事業 1名 1,357千円 ・農業アドバイザー 8名				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	11,284	27,170	8,247	5,800
		国・県支出金	784	210	210	550
		起債	10,500	26,960	8,037	5,250
		その他				
		従事職員(人)	正規職員	0.2	0.5	0.2
		臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	就農者1人ひとり目標が異なるため、目標に合わせた幅広い支援が必要。地域に定着し経営が安定するようきめ細かな支援の為に指導力が必要である。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		農業アドバイザー報償	170	後継者育成事業補助金	250	
		会場使用料	90	JA担い手プロ	40	
		経営開始資金	5,250	デュース負担金		
	期待される効果	担い手の確保により農業者数を確保することで、農地の保全となる。 経営開始資金(継続3組)				
前年からの改善・工夫	今後もUIターンによる就農希望者は多くみられることから、引き続き関係機関と連携し、新規就農者の確保に努める。 都市圏での就農相談会への積極的参加。 JA・公社・長野県と連携を密にし相談体制の充実を図る。					
具体的取組・スケジュール	JA・公社・県と連携し新規就農者の交付金の受給や農業経営のフォローアップを行う。 JA担い手プロデュースと連携し就農希望者、相談者との情報共有をはかり、研修生の確保に努める。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	補助金の申請受付を				
	時期(何時までに)	令和8年度中に				
	意図(どうする、どうなる)	支払を速やかに行う				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	畜産農業振興	担当者	建設農林課	農政係
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-2.阿智の特色を生かした農業振興			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	1.しごと/2.次世代につなぐ農業			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者					
事業開始年	平成14年度	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	有機活用農業を推進するうえで、畜産農家の経営を維持、振興することが欠かせないことから、獣医師を確保し畜産振興を図る。また、計画的な畜舎消毒の補助を行い畜産環境改善を図る。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・阿智村嘱託獣医師による家畜の診療、家畜防疫業務、家畜飼育管理指導業務等により畜産振興が図られた。</li> <li>・また、農家ごとの計画的な畜舎消毒の補助を実施することで、畜舎の環境衛生を推進してきた。</li> <li>・飯伊家畜畜産物衛生指導協会が取り扱うワクチンを指定獣医師により接種したものに限り、そのワクチン購入費の経費1/2補助を行う。</li> </ul>				
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家畜の早期診療等や家畜飼育管理指導が行われている。</li> <li>・農家ごとの計画的な畜舎消毒を補助する事により畜舎環境衛生に対する意識向上がはかられている。</li> <li>・家畜保健所、長野県と連携してCSF(豚熱)や高病原性鳥インフルエンザ対策に対応している。</li> </ul>				
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	実績・見込額(千円)	19,679	2,462	4,822	4,222	
	一般財源	19,679	2,462	2,822	2,222	
	国・県支出金					
	起債					
	その他			2,000	2,000	
従事職員(人)	正規職員	0.2	0.2	0.2	0.2	
	臨時職員					

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	有機活用農業推進に必要な畜産農家の経営維持が課題となっている。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		嘱託獣医師報酬	1,812	畜産経営緊急対策	2,000	
		畜産環境整備補助金	100			
		廃用牛処理事業補助	10			
		牛ワクチン接種代補助	300			
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・畜産農家の支援を行うことにより優良堆肥が確保され堆肥センターの安定運営にもつながり、有機活用農業の推進と安心・安全な農産物の供給が期待できる。</li> </ul>				
	前年からの改善・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き畜産農家の経営の支援を行うとともに、畜舎環境衛生に努める。</li> <li>・飼料等の高騰により経営がひっ迫する畜産農家に交付金を支給し支援する。</li> </ul>				
	具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・獣医師による家畜の診療、家畜防疫業務、家畜飼育管理指導業務を行う。</li> <li>・畜舎消毒の補助事業。阿智家畜防疫に関する業務全般。</li> <li>・畜産農家との懇談会の実施。</li> </ul>				
	8年度の目標	対象(何を、誰を)	畜産農家			
		時期(何時までに)	令和8年度中			
		意図(どうする、どうなる)	課題を共有し必要な支援を行う			

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	農地環境保全	担当者	建設農林課	農政係
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-2.阿智の特色を生かした農業振興			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	1.しごと/2.次世代につなぐ農業			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	活動を実施する団体、グループ、農業者等				
事業開始年	平成12年度	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	日本型直接支払制度を活用し、農業従事者の高齢化、担い手の減少による耕作放棄地の発生を抑制し、集落全体で農地の持つ多面的機能の保全、生産環境を整備し適正な農業生産活動の改善を図る。また、定着を図る取り組みを支援する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<p>【中山間地域等直接支払】中山間地域等の農業生産条件の不利を補正することにより、将来に向けた農業生産活動を維持する活動の支援。</p> <p>【多面的機能支払】多面的機能を支える共同活動や地域資源(農地、水路、農道等)の質的向上を図る共同活動の支援。* 担い手に集中する水路・農道等の管理を地域で支え、農地集積を後押し。</p> <p>【環境保全型農業直接支払】自然環境の保全に資する農業生産活動の実施に伴う追加的コストを支援。</p>			
	実績・効果	<p>中山間直接支払</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第6期対策(R7~R11)の集落協定が策定された:16集落115ha</li> </ul> <p>多面的機能支払</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・16活動組織 145ha</li> </ul> <p>環境保全型農業直接支払</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1団体 500a</li> </ul>			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	30,305	30,319	30,021	29,785
	国・県支出金	7,577	7,581	7,507	7,448
	起債	22,728	22,738	22,514	22,337
	その他				
従事職員(人)	正規職員	0.4	0.4	0.4	0.4
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	団体構成員の高齢化が進み、活動期間終了後に継続できるか不安がある。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		中山間直接支払交付金	23,350			
		多面的機能支払	5,735			
		環境保全型農業直接支払交付金	700			
	期待される効果	・交付金を有効に活用し中山間地域等の農用地の健全な保全活動に取り組むことで、農業生産環境の向上が図られ、遊休荒廃農地の増加に歯止めがかけられる。また、集落全体の活動を行うことで地域の活性化など地域コミュニティの推進に期待ができる。				
前年からの改善・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体における協定農地の拡大推進。各団体への支援。</li> <li>・中山間第6期(R7~R11)スマート農業加算等の推進支援。</li> <li>・多面的活動組織更新地域への継続支援。</li> </ul>					
具体的取組・スケジュール	中山間地域等直接支払交付金実施要領、多面的機能支払交付金実施要領、環境保全型農業直接支援対策実施要綱に基づき取り組む。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	協定集落・団体に対して				
	時期(何時までに)	年度末までに				
	意図(どうする、どうなる)	適正な取組を支援する。				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

事務事業名	販売を目的とした農産物生産の推進	担当者	建設農林課	農政係
①事務事業の概要	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-2.阿智の特色を生かした農業振興		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	1.しごと/2.次世代につなぐ農業		
	関連する主な計画等			
	根拠法令等	有機活用農業推進条例、農業振興事業補助金交付要綱		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
	事業の対象者	有機活用農業振興会員、農産物生産者、あち有機生産組合		
事業開始年	平成11年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定
実施目的	有機活用農業振興会員が振興作物の新規栽培に必要な種苗費、資材などの生産経費や検査料等に補助を行うことにより有機活用農業を推進する。また、特産品の産地形成を推進することで他の市町村との差別化をして、本村の基盤産業である農業振興に努める。			

②令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振興作物の種苗費・雨よけハウス等資材費を補助することにより生産体制を強化し、多様化する消費者のニーズに合わせた産地形成を進めた。</li> <li>・有機活用農業を推進するため、土壌診断費、堆肥成分分析費、臭気検査料、完熟堆肥購入費の補助を行った。</li> <li>・農業機械購入補助金を上限金額まで何度も使えるように改定した。</li> <li>・農業経営持続化支援事業により、農業機械・施設が継続的に使えるように支援する。</li> <li>・堆肥センターの屋根吹替とCSランド堆肥攪拌発酵機の更新により有機活用農業に必要な優良堆肥の安定生産体制が整備がされた。</li> </ul>			
	実績・効果	<p>基盤産業を支える農業者が生きがいと誇りを持って生産に取り組むことが出来た。また、営農意欲の低下を防止し農業従事者数の確保に取り組むことが出来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振興作物栽培者支援 5件 3,615千円</li> <li>・農業機械購入補助 15件 3,299千円</li> <li>・農業経営持続化支援事業 440千円</li> <li>・特産品種苗費補助 3団体 211千円</li> <li>・大豆そば振興補助 23名 1,507千円</li> </ul> <p>(いずれも12月末)</p>			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	38,976	15,367	106,039	30,594
	国・県支出金	35,176	15,367	33,779	20,594
	起債			24,260	
	その他	3,800		10,000	10,000
	従事職員(人)	正規職員	0.4	0.4	0.4
	臨時職員				

③評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	農業者の高齢化、担い手不足の中、省力化や生産性の向上を図るための対策が必要。食の安全・安心や環境に対する関心が高まる中で消費者から信頼される生産体制の強化。		

④8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
	期待される効果	振興作物種苗・雨よけ・棚資材	5,500	特産品種苗費	450	
		農業機械購入補助	5,100	大豆ソバ振興	2,717	
		土壌診断・堆肥成分・臭気検査	447	経営持続化支援	900	
		完熟堆肥推進等補助	1,480	肥料農薬補助	10,000	
				堆肥センター改修工事	4,000	
前年からの改善・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者の新規作物への転換への初期投資を抑えることで振興作物の産地化を進める。</li> <li>・完熟堆肥(あち有機いきいき)の利用促進策により認証農産物が推進される。</li> <li>・村の特産品の原料となる作物の種苗費を支援することで生産量の安定と産地化を進める。</li> <li>・大豆そばの振興により、農地が維持される。</li> <li>・施設や機械の修繕費を支援することで農業経営を安定させ担い手の確保となる。</li> </ul>					
具体的取組・スケジュール	補助金利用について、JA、産業振興公社、農業委員会と協力しながら農家への周知を積極的に行う。健全な土づくりに必要な土壌診断費の補助、有機活用農業に欠かせない堆肥センターにかかる検査費(堆肥センター成分、臭気検査料)の補助を行い有機活用農業を推進する。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	情勢に合せた支援策について				
	時期(何時までに)	令和8年度中に				
	意図(どうする、どうなる)	関係者と検討を行う				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

事務事業名	遊休荒廃地対策	担当者	建設農林課	農政係
①事務事業の概要	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-2.阿智の特色を生かした農業振興		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	1.しごと/2.次世代につなぐ農業		
	関連する主な計画等			
	根拠法令等	農業振興事業補助金交付要綱		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
	事業の対象者	営農集団、農業者、農業グループ等		
	事業開始年	平成21年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期
実施目的	農業従事者の高齢化、担い手の減少による耕作放棄地の発生を抑制し、集落全体で農地の持つ多面的機能の保全、生産環境の整備を行い適正な農業生産活動の改善をはかる。			

②令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休荒廃農地復旧、復活支援事業：遊休荒廃農地復旧計画に基づく、復旧、復活に要する経費（復旧3万円以内/10a、復活10万円以内/10a）の支援を実施</li> <li>・耕作放棄地防止事業（担い手支援）認定農業者に農地を貸し出した場合、小作料の1/2以内（限度あり）で助成</li> <li>・集落支援員（農地有効利用相談員）配置により、農地の貸し手と借り手のマッチング業務と有効利用増進活動</li> <li>・農業委員主体の農地パトロールを日数を増やし実施。</li> <li>・野生獣の侵入を防ぎ、農地を保全するため大規模防護柵の設置を進める。</li> </ul>				
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落支援員（農地有効利用相談員）の配置により、農地の貸し手、借り手のマッチングが可能となり、遊休荒廃農地の増加を防いでいる。（R7マッチング実績 229筆 183,518㎡）</li> <li>・担い手や集落のグループが本事業を活用し、耕作放棄地を減少させるなど、効果が上がっている。</li> <li>・農業委員会による農地パトロール、非農地確認を実施し荒廃農地の非農地化をし、守るべき農地を明確にしていく。（非農地判断 16件 12月末まで）</li> <li>・大規模防護柵の設置のための伐採（南青見平・北青見平）</li> </ul>				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	58	974	23,146	32,137	
	一般財源	58	974	23,146	32,137	
	国・県支出金					
	起債					
	その他					
	従事職員(人)	正規職員	0.4	0.5	0.4	0.4
		臨時職員				

③評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	農地の荒廃化は、所有者だけの問題ではなく、地域集落全体の課題として守るべき農地を明確にしていく必要がある。		

④8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		遊休農地復活補助	100	大規模防護柵設置補助	30,000	
		遊休農地復旧補助	150			
		検討委員会	180			
		目標地図システム	1,047			
		農地パトシステム	660			
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落支援員と農業委員、農地利用最適化推進委員が連携して各地域の農業・農地問題を把握し計画的な農地利用と集積・集約に取り組む。</li> <li>・農業委員会による非農地判断を地域ごとに積極的に取り組み、農地と非農地の区別をはかる。</li> <li>・大規模防護柵の設置により野生獣の侵入を防ぎ、農地を保全する。</li> </ul>				
	前年からの改善・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標地図やシステムを活用し担い手へ農地の受け渡しを強化し行う。</li> <li>・中間管理機構の活用。</li> <li>・目標地図をデータ化し活用する。</li> <li>・獣害で困っている地区に大規模防護柵の設置を促す。</li> </ul>				
	具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊休農地を貸借する耕作者に支援事業の説明を行い、有効に利用できる活動をする。</li> <li>・集落支援員や農業委員、農地利用最適化推進委員による、地域や個別の訪問を実施する。</li> <li>・農地パトロールを積極的に行い、非農地確認を実施し荒廃農地の非農地化。守るべき農地を明確にしていく。</li> </ul>				
	8年度の目標	対象(何を、誰を)	農地の			
		時期(何時までに)	令和8年度中			
		意図(どうする、どうなる)	意向を把握し担い手へ農地の受け渡しを行う			

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	村単土地改良整備	担当者	建設農林課	管理建設係
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-2.阿智の特色を生かした農業振興			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	1.しごと/2.次世代につなぐ農業			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	阿智村営土地改良事業補助金交付要綱			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	村民、阿智村に農地を有する者			
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	地元施行で農業基盤の整備改善を図る。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	地元施行による、かんがい排水整備、ほ場整備、暗渠排水整備、農道整備、ため池改修、農地・農業用施設災害復旧工事への補助金交付。			
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かんがい排水整備35箇所、暗渠排水整備3箇所、災害復旧工事3箇所、農道等整備3箇所を地元施行で実施され、維持管理に係る労力と経費が軽減、耕作の能率の向上が図られた。</li> <li>・令和7年度より土地改良事業補助金の上限を引き上げたことで単年度の効果促進が図られた。</li> </ul>			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	14,238	7,180	15,080	10,360
	国・県支出金	14,238	7,180	15,080	10,360
	起債				
	その他				
	従事職員(人)	正規職員	0.3	0.3	0.3
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	耐用年数が過ぎ、老朽化した施設の機能低下により大規模に更新する必要箇所が多く存在する。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
	期待される効果	かんがい排水整備事業補助金	5,000	農道等整備事業補助金	3,000	
		暗渠排水事業補助金	1,500	災害復旧工事補助金	360	
		かんがい用ため池改修事業補助金	500			
	前年からの改善・工夫	引き続き多くの団体などに補助事業を活用していただくよう広報等を行う。				
具体的取組・スケジュール	事業が活用されるように啓発する。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	補助事業内容を				
	時期(何時までに)	年度当初及び年度途中に				
	意図(どうする、どうなる)	広報する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	森林整備事業	担当者	建設農林課	林務係	
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-3.里山の風景を残す林業振興				
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり				
	関連する主な計画等	阿智村森林整備計画				
	根拠法令等	森林法				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他
	事業の対象者	山林経営者				
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定			
実施目的	森林の持つ多面的機能の促進や木材の有効利用を図るため、安全に低コスト搬出できる路網の改良・整備の実施、境界の明確化の推進や補助事業の活用推進を行う。村有、民有林の林業経営を維持するため、造林や間伐を主とする保育事業を推進する					

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	直営林の整備 山林経営者への路網開設、間伐実施への補助 分収造林契約地の適正な管理 県森林税を活用した、住民団体による里山整備の推進 地元施行防災対策立木伐採等補助により地元で防災上必要な支障木の伐採が進んだ 地元施行防災対策立木伐採等補助の補助上限額の見直し				
	実績・効果	県森林税事業による「里山整備利用地域」による里山整備実施(村内7団体が認定され活動しているうちの4団体が県の補助により活動) 森林整備の嵩上げ補助率を見直したことで、個人負担が少なくなり、これまで負担額が大きいため進まなかった再造林の事業が進むようになった 地元施行防災対策立木伐採等補助により地元で防災上必要な支障木の伐採が進んだ (申請件数:15件 伐採本数:42本 補助金額:1,647千円)				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	29,365	33,094	33,103	33,610
		国・県支出金	10,382	5,574	5,206	5,832
		起債	5,084	8,562	7,780	12,690
		その他	13,899	18,958	20,117	15,088
	従事職員(人)	正規職員	0.7	0.7	0.7	0.7
	臨時職員	0.1	0.1	0.1	0.1	

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	急峻で脆弱な地形地質の為、林内路網の整備が進まず林業経営が行われない森林が多い皆伐跡地が目立つ中で、持続可能な林業経営や資源再生の為適切な更新(植栽)が必要		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		直営林整備委託料	3,224	作業路開設補助	500	
		分収造林整備費	6,176	防災伐採等伐採補助	2,100	
		森林整備支援事業	14,600	里山整備利用地域等補助	410	
		森林整備嵩上補助	3,600			
	森林整備地域活動支援	3,000				
期待される効果	住民主体の里山整備による生活環境の改善と木育の実現 林業者の確保や森林所有者の意欲増進により、森林整備の促進と森林資源の有効活用また、森林の恒久的な維持と多面的機能の保全 地元施行防災対策立木伐採等補助により地元で防災上必要な支障木の伐採 林業振興事業補助制度による森林整備の推進					
前年からの改善・工夫	共有林維持管理等推進事業、里山整備利用地域活動推進事業の推進 皆伐跡地の適切な更新指導 伐採木の搬出に対する補助制度等仕組みを検討 地元施行防災対策立木伐採等補助の補助上限額を見直し地元による防災上必要な木の伐採を加速化する					
具体的取組・スケジュール	林業振興事業補助制度の推進と新たな補助制度の検討					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	林業振興事業補助を				
	時期(何時までに)	令和8年度内に				
	意図(どうする、どうなる)	拡充する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	森林資源利活用推進事業	担当者	建設農林課	林務係
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-3.里山の風景を残す林業振興			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等	阿智村森林整備計画			
	根拠法令等	森林法			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者					
事業開始年	令和3年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	伐採により発生する未利用資源(林地残材等)を木質バイオマス等とし、利活用を推進する。又、放置され拡大する竹林を伐採、粉砕し、農業への有効利用等、新たな地域内循環システムの構築を図る				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	自治会から道路等の支障木として伐採要望のあった立木を伐採、利活用し、薪の青空市の定期的開催や、アグロフォレストリー事業の薪ボイラーの燃料に利用し、資源を循環させる実証実験を行う事で、資源循環システムの実現に向けた具体案の作成 木育事業を実施し、森林について学習する 行政と民間の協働により、住民の森林整備に対する意識の向上 伐採した竹を粉砕し、村内の農業者へ配布し生育状況の調査、キノコ、花卉培地への利活用についての検討を開始した			
	実績・効果	アグロフォレストリー事業への薪の調達と供給によるデータ収集 木育事業 薪の青空市の実施(毎月第4日曜日) 森林資源循環システム構築の研究 竹を粉砕したパウダーの農業への活用。試験場からキノコ、花卉の培地へ利活用した結果良好との回答があったので次への検討			
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	8,997	12,073	11,988	9,988
	一般財源	97	50	488	500
	国・県支出金				
	起債				
	その他	8,900	12,023	11,500	9,488
従事職員(人)	正規職員	0.4	0.4	0.4	0.4
	臨時職員	0.1	0.1	0.1	0.1

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	支障木の伐採、薪の作成、青空市での販売等、利活用の流れは確立されてきた。木質バイオマスの更なる活用の為、他の部署と連携し、村内の薪ボイラー設置を推進する		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		業務委託料	9,988			
	期待される効果	自治会から道路等の支障木として伐採要望のあった立木を伐採、利活用する事により、安全と景観が良くなり、薪の青空市の定期的開催や、資源を循環させる実証実験を行う事で、資源循環システムの実現に向けた具体案の作成ができる 行政と民間の協働、木育事業の実施により、住民の森林整備に対する意識の向上 伐採した竹の農業への利活用等、資源循環の仕組みが出来る				
	前年からの改善・工夫	竹パウダーの花卉培地使用は試験結果が良好だったので活用についてさらに検討する 森林資源の地域内循環の研究 伐採木、伐採竹の様々な利活用の研究 自治会から要望のあった支障木の伐採について、緊急性、重要度を判断し、調達伐採を実施する事により、村内の防災減災、景観美向上を加速化する				
	具体的取組・スケジュール	調達伐採の充実(通年) 森林資源の地域内循環の仕組み作成 薪の青空市の開催(毎月第4日曜日) 竹林整備により発生した伐採竹をチップ、パウダー化し、資源利活用の研究をする(通年)				
8年度の目標	対象(何を、誰を)	伐採した竹を粉砕したパウダーの資源利活用について				
	時期(何時までに)	令和8年度に				
	意図(どうする、どうなる)	研究、検討する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	森林経営管理制度事業	担当者	建設農林課	林務係
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-3.里山の風景を残す林業振興			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等	阿智村森林整備計画			
	根拠法令等	森林経営管理法			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者					
事業開始年	平成31年4月	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	森林経営管理法の創設に伴い、森林所有者が経営できない森林については、村が経営管理の委託を受け、意欲と能力のある林業経営者へ再委託できる新たな森林経営管理システムの構築と活用により適切な森林経営管理と環境整備を図る。加えて、防災・減災対策と水源林保全に努める				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	令和7年度分 意向調査(予備調査) 令和7年度分 意向調査(本調査) 森林簿修正現地調査 森林経営管理事業				
	実績・効果	令和7年度分 意向調査予備調査発送回収 令和7年度分 意向調査発送回収(智里西、浪合、清内路の対象森林) 発送数115通/回答89通(内70通が「村に経営を任せる」と回答) 森林簿修正調査1,185箇所実施 2林班、3林班 意向調査の結果により、村から林業事業体へ協定による森林整備を実施 A=9.6ha				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業コスト	実績・見込額(千円)	一般財源	14,554	10,683	17,508	13,942
		国・県支出金	489			698
		起債				
		その他	14,065	10,683	17,508	13,244
	従事職員(人)	正規職員	0.3	0.3	0.3	0.3
	臨時職員					

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	意向調査は計画どおり実施されている。15年計画で進めているが、「村に経営を任せる」回答が多いことから、林業事業体への斡旋や村による森林整備を計画的に進めていく必要がある		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		予備調査	1,892	林地台帳システム保守	1,706	
		意向調査	407			
		詳細調査	1,859			
		施業面積確定業務	2,717			
	森林経営管理事業	5,361				
期待される効果	森林所有者の意向が徐々に明確になり、村へ管理委託を希望する者の未整備森林に手を入れ整備する事ができる					
前年からの改善・工夫	意向調査結果に基づく森林整備(森林経営管理事業)施業面積を増やす 施業面積確定業務を実施し、事業発注面積を確定、林地台帳システムにデータを搭載し、今後の森林整備事業を平均的に継続して実施出来るようにする					
具体的取組・スケジュール	意向調査(予備調査)実施(4月~11月中旬) 意向調査実施(11月~年度末) 意向調査(詳細調査)実施(8月~2月中旬) 施業面積確定業務委託(通年) 森林経営管理事業(通年)					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	森林経営管理事業による森林整備10.3ヘクタールを				
	時期(何時までに)	令和8年度中に				
	意図(どうする、どうなる)	実施する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	森林病虫害防除事業	担当者	建設農林課	林務係	
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-3.里山の風景を残す林業振興				
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり				
	関連する主な計画等	阿智村森林整備計画				
	根拠法令等	森林病虫害防除法、林業振興事業補助金交付要綱				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他
	事業の対象者	山林経営者				
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定			
実施目的	松枯れの原因となる松くい虫等を駆除し、被害の拡大防止を行う 倒木によりライフラインへ影響を与える枯損木を伐倒処理					

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	松枯損木の伐倒駆除				
	実績・効果	保全対象松林の被害拡大防止 松枯損木の伐倒駆除(94㎡) 松枯損木の伐倒15本 松林の健全化推進 景観の保全				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業コスト	実績・見込額(千円)	一般財源	4,499	4,455	7,500	5,325
		国・県支出金	2,346	2,269	4,056	1,700
		起債	2,153	2,186	1,444	1,250
		その他			2,000	2,375
		従事職員(人)	正規職員	0.1	0.1	0.1
	臨時職員					

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	温暖化等の影響により標高の高い地域での松林被害が発生しており被害が拡大している ナラ類が老木となりカシノナガキクイムシによる被害木がみられる		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		伐倒駆除委託料	5,000			
		高所作業車借上料	25			
		森林病虫害対策等補助金	300			
	期待される効果	松林の健全化と優良な松林の確保、並びに森林の景観保全 松くい虫等による被害の蔓延防止 ライフラインへ影響を与える恐れのある枯損木の伐倒処理				
前年からの改善・工夫	被害防止区域を見直し、年間の伐倒駆除数量を実施する 林業事業体やNPOの協力による被害調査確認 ナラ枯れ、ハバチ、カミキリムシによる被害の実態を把握し対応策を検討する 被害状況マップを見直し効率良く事業を実施する 森林病虫害対策等補助金を拡充し、地元による被害木伐採を推進する 倒木によりライフラインへ影響を与える枯損木を譲与税を活用し迅速に伐倒する					
具体的取組・スケジュール	4月中に事業を発注し、12月までに松枯損木150㎡を伐倒駆除する					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	松くい虫による松枯損木を				
	時期(何時までに)	12月までに				
	意図(どうする、どうなる)	伐倒駆除する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	有害鳥獣対策事業	担当者	建設農林課	林務係	
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-3.里山の風景を残す林業振興				
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり				
	関連する主な計画等	阿智村鳥獣被害防止計画、第二種特定鳥獣管理計画				
	根拠法令等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他
	事業の対象者	-				
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定			
	実施目的 有害鳥獣の駆除(個体数調整)や進入及び出没防止措置を実施することにより、農林業被害を減少させる。 野生獣による家畜伝染病感染拡散防止対策の実施。 クマ対策による被害防止					

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	猟友会と連携し、有害鳥獣(猿・鹿・猪・小型獣類・鳥類)を捕獲し、農林業被害を減らす捕獲したニホンジカの有効利用 大型捕獲檻設置によるサルの群れ単位の捕獲取り組み(清内路地区) 豚熱感染拡散防止対策の実施(捕獲猪の埋却、検査対応、長野県計画によるワクチン散布) ツキノワグマ出没時対応マニュアルの作成 放任果樹伐採等事業補助金の新規制定、有害鳥獣防除山林環境整備事業の拡充				
	実績・効果	生息個体数の調整(イノシシ139頭、ニホンジカ499頭、サル57頭 R7.12.31現在の捕獲数) ニホンジカの有効利用(捕獲499頭中、68頭をジビエ加工施設へ搬入し、食肉等への有効活用) ジビエ加工施設の新設 大型捕獲檻設置によるサルの群れ単位の捕獲取り組み(清内路地区) 豚熱感染確認検査作業(全頭陰性)、ワクチン散布を県計画に従い実施(6月と11月に実施) ツキノワグマゾーニング管理実施計画、ツキノワグマ出没時対応マニュアルによりクマ出没時に迅速な対応が出来るよう準備。補助制度の新規制定、拡充によるクマを寄せ付けない集落の整備				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	29,363	28,266	33,026	33,186
		国・県支出金	24,140	23,950	29,460	28,677
		起債	5,223	4,316	3,566	4,509
		その他				
		従事職員(人)	正規職員	0.5	0.5	0.5
	臨時職員	0.8	0.8	0.8	0.8	

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	農作物被害は追い払い対策や防護柵、捕獲により減少傾向だが、シカ、サル、イノシシをはじめ生息数の減少は見られない。ニホンザルの被害相談が増えているので対策を強化する必要がある。全国でクマによる被害が過去最多となる中、村内でもクマの目撃情報が増えており、クマ対策の強化が必要		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		報償費	26,242	備品購入費(檻)	1,080	
		旅費・需用費・使用料	335	猟友会等補助金	2,567	
		保険料	159	有害鳥獣防除補助金	950	
		委託料	163	山林環境整備補助金	340	
		原材料費(罟等)	1,250	放任果樹伐採補助金	100	
	期待される効果	鳥獣による農林業被害等の軽減と予防 有害鳥獣捕獲による個体数調整 捕獲獣類のジビエ等有効利活用 野生獣による家畜伝染病感染拡散防止 クマによる被害防止				
前年からの改善・工夫	大型捕獲檻によりニホンザルを群れ単位の捕獲する取り組みを継続して猟友会と実施する 捕獲従事者を継続的に確保するための対策を検討する ツキノワグマゾーニング管理実施計画とツキノワグマ出没時対応マニュアルにより住宅地へのクマ出没時に迅速に対応する シカの有害捕獲報償費を35千円から30千円に減額し、年間通じて有害捕獲許可とし、年間を通じた個体数調整を実施する					
具体的取組・スケジュール	年間を通しシカの有害鳥獣捕獲を許可する事により、狩猟期も含めシカの捕獲を実施する。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	シカの有害捕獲を				
	時期(何時までに)	年間を通じ許可し				
	意図(どうする、どうなる)	年間を通じた個体数調整を実施する事により農林業被害を減らす				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	商工業振興事業	担当者	商工観光課	商工係
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-4.地域に根差した商工振興			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	1.しごと/3.地域のしごと			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者					
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	中小商工業者の経営改善普及事業、各種振興事業を行うことにより、村の産業振興や地域振興に貢献する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会が行う経営改善普及事業、商工業振興事業の支援。</li> <li>・商工会が行う事業所健康診断事業の支援(労務対策補助金)。</li> <li>・制度資金利子補給制度、保証料の補てん制度(指定の制度資金の融資を受けた場合に、利子や保証料の補てんを行う)。</li> <li>・住宅リフォーム促進事業・中小企業人材確保補助金。</li> <li>・製造業者懇談会。</li> <li>・求職求人マッチングサイトの運営改善。</li> </ul>				
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会補助金 12,000千円 巡回指導、窓口指導、国・県・村等支援金申請支援</li> <li>・労務対策補助金 400千円</li> <li>・住宅リフォーム補助金 1,505千円 (申請者18人中 現金13人、商品券5人、ポイント0人)</li> <li>・企業人材確保補助金 100千円</li> <li>・保証料補助金 4,984千円</li> <li>・利子補給補助金 1,743千円</li> <li>・人材確保業務委託料 1,430千円 (令和8年1月時点)</li> </ul>				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	61,655	52,096	62,330	60,630	
	一般財源	24,655	48,604	42,068	39,630	
	国・県支出金	37,000	3,492	20,262	21,000	
	起債					
	その他					
	従事職員(人)	正規職員	0.5	0.5	0.5	1
		臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	人材不足に悩む商工事業者への対応。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		商工会補助金	12,400	制度資金利子補給金補助金	15,000	
		住宅リフォーム補助金	2,300	サテライトオフィス補助金	500	
		企業人材確保補助金	400	人材確保業務委託料	1,430	
		保証料補助金	5,500	物価高騰エネルギー補助金	21,000	
	利子補給金補助金	2,100				
	期待される効果	求人求職マッチングシステムを構築することで、事業者の人手不足を解消する。各種事業を通じて、村の産業振興・村内経済の持続化を図る。				
	前年からの改善・工夫	阿智村公式求人マッチングサイト運営。 エネルギー価格補助金を各上限を引き上げる。				
	具体的取組・スケジュール	商工会と連携し、事業を進める。				
	8年度の目標	対象(何を、誰を)	各種事業			
		時期(何時までに)	随時			
		意図(どうする、どうなる)	効果的な事業展開を図る			

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	まちづくり整備事業	担当者	リニア・まちづくり課 まちづくり企画係
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-5.まちづくり計画		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり		
	関連する主な計画等			
	根拠法令等			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
事業の対象者				
事業開始年	令和元年度 <input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	・「阿智家族」のシンボルとなりうる公園整備を行うことにより、健康づくり、子育て支援、定住施策、観光、交流等を促進する。 ・将来を見据えたデータ収集の実施。			

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・運動公園周辺整備。 ・大杉広場の管理。 ・データ収集による課題の検討。				
	実績・効果	・B地区(会地浄化センター南側 約6,700㎡)及びC地区(駒場発電所東側 約14,500㎡)の実施設計を行い、工事に着手した。工期は令和9年3月までの予定であるため、事業を令和8年度に繰越した。財源は令和7年度が期限の合併特例債とした。 ・大杉広場を維持管理することができた。 ・観光事業の経済効果試算を実施した。				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業コスト	実績・見込額(千円)	一般財源	49,897	9,985	408,616	28,580
		国・県支出金	49,897	9,985	71,716	28,580
		起債			286,900	
		その他			50,000	
		従事職員(人)	正規職員	0.6	0.4	0.4
	臨時職員		0.2	0.2	0.2	

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	運動公園整備(A地区)の財源、実施設計。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		公園実施設計監理	23,810			
		データ収集事業	1,000			
		パート報酬等	3,570			
		消耗品等	50			
大杉公園維持管理		150				
期待される効果	運動公園周辺整備事業の具体化。					
前年からの改善・工夫	運動公園A地区(現在のわい・Wai 約25,000㎡)のリニューアル工事を令和9年度から開始できるように、実施設計を行う。 財源の一部は国の補助金とする予定。 植樹や公園の命名などへの住民参加方法について検討する。					
具体的取組・スケジュール	運動公園A地区の実施設計を行うと共に、令和9年度工事開始に向けた国の補助金を申請する。 繰り越した運動公園B地区C地区の工事を年度内に完成させる。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	運動公園A地区の実施設計を				
	時期(何時までに)	12月末までに				
	意図(どうする、どうなる)	完了する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	七久里開発事業	担当者	リニア・まちづくり課 まちづくり企画係
	総合計画での位置づけ	4.産業振興・雇用創出/4-5.まちづくり計画		
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ			
	関連する主な計画等			
	根拠法令等			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他		
事業の対象者				
事業開始年	令和6年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定
実施目的	七久里地区において、JR東海が行うリニア工事の発生土を活用した埋め立てによる造成を行うことにより、周辺の工場や飯田市山本地区で計画されている同様の事業と連携した産業の集積化を目指し、持続可能な産業振興・村づくりを推進する。			

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予備設計(土地造成、道路等、軟弱地盤解析、)</li> <li>・環境保全調査(希少種移植先の選定、試験移植、保全整備事業検討)</li> <li>・地下水調査(水位、水質)</li> <li>・計画地の不動産鑑定</li> </ul>			
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予備設計により、事業概要(開発エリア、道路、土地造成、環境保全)がほぼ確定した。</li> <li>・専門家のアドバイスをいただきながら、高盛り土の安全性の検討を進めた。</li> <li>・長野県指定希少野生植物保全の対応を検討し、試験移植や環境保全エリア整備の準備を進めた。</li> </ul>			
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	4,290	48,151	49,113	157,816
	一般財源	4,290	48	948	91,296
	国・県支出金				
	起債				
	その他		48,103	48,165	66,520
従事職員(人)	正規職員	1	1	1	1
	臨時職員			0.3	0.3

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	工事における地域住民の住環境への配慮、高盛り土の恒久的な安全管理。造成後の活用方法の具体的な検討。自然環境の保全管理。財政負担の低減。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		講師謝金	50	調査委託料	80,255	
		委員謝金・旅費	60	設計委託料	58,363	
		旅費	15	業務委託料	18,113	
		需用費	50			
		開発許可申請手数料	910			
期待される効果	計画地は、県内の平均的な製造業の立地面積、雇用人数から推計すると、4から5の事業所、約500人の雇用創出を見込むことができる規模であり、村及び近隣出身の若者の将来の選択肢や、持続可能な村づくりに大きな影響が期待される。					
前年からの改善・工夫	・令和9年度中の工事発注を目指したスケジュール感で、詳細設計等に取り組む。					
具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詳細設計をすすめ、工事発注の準備を進める。</li> <li>・用地取得に向け、用地測量・物件調査を10月までに終わらせ、地権者との交渉を進める。</li> <li>・計画地内での、湿地・里山の環境保全に取り組む。</li> <li>・地域への継続的な説明、許認可関係事務(農振除外を6月に申請)、等</li> </ul>					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	詳細設計・用地取得を				
	時期(何時までに)	令和9年内に				
	意図(どうする、どうなる)	完了できるよう進める。				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

事務事業名	家庭ごみ等収集処理事業	担当者	環境課	環境係		
① 事務事業の概要	総合計画での位置づけ	5.環境・防災・安心/5-1.美しい景観の保全と創出				
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/2.循環型社会の構築				
	関連する主な計画等	一般廃棄物(ごみ)処理基本計画				
	根拠法令等	・阿智村廃棄物の処理及び清掃に関する条例				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他				
事業の対象者	一般廃棄物(ごみ)排出者					
	事業開始年	事業の終期				
実施目的	家庭ごみ等の減量化や適正な分別・収集処理を行ない、生活環境の保全、公衆衛生の向上を図るとともに、資源の再利用を進める。					
② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃やすごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ(ビン類、缶類、ペットボトル、プラスチック類、紙製容器、金属類、紙類)、有害ごみ(乾電池、蛍光灯、水銀体温計)等の収集、運搬、再生、処分等の実施</li> <li>・ごみ分別アプリ「さんあ〜る」とdata放送「ごみカレンダー」を運用し、収集日や分別をスマホやテレビで確認できるように周知した。</li> <li>・多国籍労働者増による分別指導。</li> <li>・村道、水路、集積所等への不法投棄増による為 防犯カメラ・看板等設置による啓発。</li> </ul>				
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭ごみ分別収集年間カレンダーに基づき各種ごみの収集、処分等を行った。</li> <li>・紙容器包装・プラ容器包装20%増の収集量より分別作業員増。</li> <li>・ストックヤード分別作業員熱中症対策及び管理体制強化。</li> <li>・不法投棄や適正な分別ができないごみの対策として、集積所に基本的な分別指導看板を設置し再周知を図った。</li> </ul>				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		実績・見込額(千円)	121,057	128,908	128,759	137,089
		一般財源	107,886	116,011	116,011	124,353
国・県支出金						
起債						
その他	13,171	12,897	12,748	12,736		
従事職員(人)	正規職員	0.5	0.4	0.4	0.4	
	臨時職員					
③ 評価	総合評価	B		事業の方向性	継続・維持	
	課題	1) 不法投棄対策。 2) ごみ処分費の増。 ・小型家電処理費用の有料化、収集量増により、有料回収かの研究。 ・紙類(新聞雑誌等)の収集処分のあり方の研究。 ・資源ごみ(プラ資源・紙製容器包装等)適正な分別、再資源化の啓発。 ・ごみの適切な分別方法の周知 3) 家庭系一般廃棄物と事業系産業廃棄物の明確化 4) 村民(外国人を含む)への分別指導				
④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		環境委員会	672	資源ごみ処理費	499	
		西部衛生負担金	65,068	紙類・布類処理費	138	
		稲葉CC負担金	28,011	生ごみ処理機補助	330	
		ごみ回収分別委託	5,841	不法投棄処分啓発費	1,027	
		可燃ごみ収集処理費	9,636	部落集積所整備補助金	200	
		不燃ごみ収集処理費	8,184	資源回収奨励金	480	
		有害ごみ処理費	1,166	ごみ分別アプリ使用料	172	
		粗大ごみ処理費	347	ストックヤード整備	1,345	
		小型家電処理費	1,056	その他事業費	9,918	
容器包装収集処理費	2,999					
期待される効果	生活環境の保全と資源の回収、処理を行い、資源循環型社会の形成が期待される。					
前年からの改善・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分別指導: 村民(外国人)へ指導と啓発。</li> <li>・不法投棄対策: 関係者と連携等を重ね対策を図り実施。</li> <li>・分別委託人員: ごみ増加により分別作業の人員増。</li> </ul>					
具体的取組・スケジュール	(通年)ごみの適正分別について多言語対応用のゴミカレンダー、アプリ等を制作し広報等を利用して随時周知を行いクリーンな阿智村を目指す。 (通年)ストックヤードの美化につとめる。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	家庭ごみの減量化や、適正な分別を行うよう				
	時期(何時までに)	年間を通じて				
	意図(どうする、どうなる)	広報等を利用し周知する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	し尿汲み取り事業	担当者	環境課	環境係	
	総合計画での位置づけ	5.環境・防災・安心/5-1.美しい景観の保全と創出				
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/2.循環型社会の構築				
	関連する主な計画等	下水処理計画				
	根拠法令等	阿智村廃棄物の処理及び清掃に関する条例				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 補助金交付	<input type="checkbox"/> 負担金	<input type="checkbox"/> その他
	事業の対象者	し尿汲み取りトイレ設置家庭等				
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定			
実施目的	し尿汲み取りトイレのし尿の収集・運搬・処理を適正に行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的とする。					

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	下伊那郡西部衛生施設組合の「クリーンひる西部」で、し尿を処理している。  し尿汲み取り券 1本(18ℓ) @220円 内訳 汲み取り手数料 @170円 し尿処理手数料 @ 50円			
	実績・効果	水洗化されていない家庭の公衆衛生、生活環境の保全が図られた。 令和5年度 し尿収集運搬委託本数 29,399本 令和6年度 し尿収集運搬委託本数 28,000本 令和7年度 見込 し尿収集運搬委託本数 28,000本			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	370	324	324	324
	国・県支出金				
	起債				
	その他	4,895	4,760	4,760	4,760
	従事職員(人)	正規職員	0.5	0.2	0.2
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	70歳以上の世帯及び65歳以上の独り暮らし世帯と別荘は、トイレの水洗化が難しいことから、し尿汲み取りの継続が必要となっている。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		し尿収集運搬事業	324			
		し尿券販売委託	4,760			
	期待される効果	し尿の適正な収集運搬、適正処理により生活環境の保全と公衆衛生が保たれる				
	前年からの改善・工夫	広報誌等によりトイレ水洗化の普及啓発を行う				
	具体的取組・スケジュール	適切に、し尿汲み取りを行う(令和8年度見込み 28,000本) 水洗化の普及啓発を広報誌へ掲載する				
8年度の目標	対象(何を、誰を)	し尿汲み取りトイレを				
	時期(何時までに)	下水処理計画に基づき				
	意図(どうする、どうなる)	水洗化の推進を行う				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	上水道事業	担当者	環境課	水道係
	総合計画での位置づけ	5.環境・防災・安心/5-2.水資源の確保・保全			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等	阿智村水道事業基本計画			
	根拠法令等	水道法、地方公営企業法			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	村営水道加入者			
事業開始年	昭和47年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	水道施設の適切な修繕・維持管理を行い、安心・安全な水道水を安定的に供給する				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・更新計画に基づいた施設・管路等の施設整備・維持管理を行うとともに、定期的に水質検査を行う。 ・上下水道施設整備審議会が開催され、料金改定の審議を行った。			
	実績・効果	・大規模断水を生むような大きな災害もなく、年間を通して安定的に、かつ水質的にも問題なく供給できた。経年による施設管路等の劣化が進み、弁類・機器類の更新を行った。 ・アセットマネジメントや経営戦略を基に更新計画に沿った老朽管(春日地区下西)の布設替えを行った。			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	248,000	245,640	240,934	283,486
	国・県支出金	140,567	140,109	135,783	139,645
	起債	48,800	71,700	82,400	115,200
	その他	58,633	33,831	22,751	28,641
	従事職員(人)	正規職員	3	3	3
	臨時職員	1	1	0	0

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	安心安全な水道水を供給していくために、施設の適正な維持管理、老朽化した施設・管路等の計画的な改修及び修繕。将来にわたっての人材育成。水道事業広域連携の研究。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	収益的支出	金額	資本的支出	金額	備考
		水道事業費 営業費用	96,999	建設改良費	134,341	
		" 営業外費用	10,525	企業債償還金	34,482	
		減価償却費	93,587	基金積立金	139	
		予備費	3,000	予備費	4,000	
	期待される効果	安心・安全な水道水の安定的な供給				
	前年からの改善・工夫	アセットマネジメント・経営戦略に基づいて、施設改修・設備更新・老朽管路の布設替えを計画的に行う。				
具体的取組・スケジュール	・水道施設の維持管理、管路の点検、漏水調査(通年)    ・料金改定の実施 ・浄水場・配水池等の弁・計器類等の更新 ・老朽管の布設替工事(春日地区堅町等) ・水道学習会の開催 ・「水道展」など研修会への参加					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	安心・安全な水道水を				
	時期(何時までに)	年間を通して				
	意図(どうする、どうなる)	安定的に供給する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	下水道事業(特定環境保全公共下水道)	担当者	環境課	下水道係
	総合計画での位置づけ	5.環境・防災・安心/5-2.水資源の確保・保全			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	下水道区域内に居住している住民及び施設所有者等				
事業開始年	平成9年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	下水道事業計画に基づき、施設の整備及び安定的な水処理を行う。昼神処理区と会地処理区内の施設の適正な維持管理に努め、ストックマネジメント計画に基づく施設設備の更新及び、上下水道耐震化計画に基づく耐震化工事を行う。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持管理業務を専門的な知識と技術を持つ業者に委託し、農集排の汚水処理施設と一元化した管理をすることで安定的な水処理を行った。</li> <li>・会地浄化センター耐水化工事</li> <li>・ストックマネジメント計画に基づく更新工事</li> <li>・浄化センターの耐震診断</li> <li>・上下水道施設審議会の開催</li> </ul>							
	実績・効果	内 容	単 位	4年度	5年度	6年度	7年度	経過・評価	
		水洗化状況	接続戸数	戸	1012	1023	1028	1031	・接続戸数について増加傾向にある。引き続き汲み取りからの切り替えの推進を行っていく。
		接続率	%	88.2	88.3	88.3	88.3		
	放流水質	BOD[昼神・会地] 村規則10mg/ℓ以下	mg/ℓ	0.9・4.7	1.2・5.1	1.2・4.2	1.3・3.2	・処理水については適正に処理が実施されている。引き続き継続していく。	
		T-N[昼神・会地] 村規則20mg/ℓ以下	mg/ℓ	2.8・10.6	3.6・10.1	3.1・12.3	2.9・17.0		
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度				
	実績・見込額(千円)	298,381	256,896	440,210	469,982				
	一般財源	118,451	70,915	108,994	102,424				
	国・県支出金	16,200	9,185	100,697	105,950				
	起債		9,100	90,700	137,830				
	その他	163,730	167,696	139,819	123,778				
従事職員(人)	正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5				
	臨時職員								

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨天時の汚水増加</li> <li>・将来に向けたキャッシュの確保</li> </ul>		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		営業費用	227,277	建設改良費	244,049	
		営業外費用	9,701	固定資産購入費	1,800	
		特別損失	10	企業債償還金	114,834	
		予備費	3,000	基金積立金	3,230	
				予備費	4,000	
期待される効果	終末処理場の適切な維持管理は、良好な水処理の維持、住居環境及び公衆衛生の向上、阿智川など公共用水域の水質保全が図られる。					
前年からの改善・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会地浄化センター耐水化工事(3年目)</li> <li>・ストックマネジメント計画に基づく更新工事(2年目)</li> <li>・昼神、会地浄化センターの耐震工事実施設計</li> <li>・雨天時侵入水の調査方法の研究</li> <li>・料金改定の実施</li> <li>・脱炭素への取組研究</li> <li>・下水道汚泥の活用研究</li> </ul>					
具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1四半期中に昼神、会地浄化センターの耐震工事実施設計の発注</li> <li>・会地浄化センター耐水化工事及び更新工事の継続</li> <li>・雨天時侵入水調査を行う業者との打ち合わせ、次年度以降の方向性決定</li> <li>・太陽光パネル設置に向けた研究</li> <li>・下水道汚泥処理により生成した肥料の効果検証(産業振興公社へ依頼)</li> </ul>					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	下水道排水				
	時期(何時までに)	年間通して				
	意図(どうする、どうなる)	適正に処理する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	下水道事業(農業集落排水)	担当者	環境課	下水道係
	総合計画での位置づけ	5.環境・防災・安心/5-2.水資源の確保・保全			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等	農業集落排水事業計画			
	根拠法令等	浄化槽法			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	大野、浪合、上・下清内路の各処理区域内に居住している住民及び施設所有者等				
事業開始年	平成10年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	汚水処理計画に基づき、施設の整備及び安定的な水処理を行う。大野・浪合・上清内路・下清内路処理区内の施設の適正な維持管理及び施設の長寿命化のため、施設・設備の計画的な修繕を行う。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・維持管理業務を専門的な知識と技術を持つ業者に委託し、下水道事業の汚水処理施設と一元化した管理をすることで安定的な水処理を行った。 ・緊急性の高い機器の更新を行った。 ・上下水道施設審議会の開催																																																					
	実績・効果	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">内 容</th> <th>単 位</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> <th>7年度</th> <th>経過・評価</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">水洗化状況</td> <td>接続戸数</td> <td>大野・浪合 上清・下清</td> <td>戸</td> <td>26・236 111・148</td> <td>26・236 112・149</td> <td>26・236 112・149</td> <td>26・236 112・150</td> <td rowspan="2">・接続戸数1件増加はした。引き続き汲み取りからの切り替えの推進を行っていく。</td> </tr> <tr> <td>接続率</td> <td></td> <td>%</td> <td>89.1</td> <td>89.2</td> <td>89.2</td> <td>89.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">放流水質</td> <td>BOD</td> <td>大野・浪合</td> <td>mg/ℓ</td> <td>1.4・5.7</td> <td>3.3・9.4</td> <td>1.1・4.1</td> <td>0.7・2.7</td> <td rowspan="4">・処理水については適正に処理が実施されている。引き続き継続していく。</td> </tr> <tr> <td>村規則 10mg/ℓ以下 浪合: 県基準 20mg/ℓ以下</td> <td>上清・下清</td> <td></td> <td>3.4・3.2</td> <td>2.7・1.1</td> <td>1.1・1.2</td> <td>1.7・1.5</td> </tr> <tr> <td>T-N</td> <td>大野・浪合</td> <td>mg/ℓ</td> <td>5.1・24.2</td> <td>4.5・27.5</td> <td>2.8・29.2</td> <td>6.3・27.9</td> </tr> <tr> <td>村規則 20mg/ℓ以下 浪合: 県基準 60mg/ℓ以下</td> <td>上清・下清</td> <td></td> <td>5.4・9.6</td> <td>8.6・4.7</td> <td>2.1・4.4</td> <td>7.1・7.3</td> </tr> </tbody> </table>	内 容		単 位	4年度	5年度	6年度	7年度	経過・評価	水洗化状況	接続戸数	大野・浪合 上清・下清	戸	26・236 111・148	26・236 112・149	26・236 112・149	26・236 112・150	・接続戸数1件増加はした。引き続き汲み取りからの切り替えの推進を行っていく。	接続率		%	89.1	89.2	89.2	89.4	放流水質	BOD	大野・浪合	mg/ℓ	1.4・5.7	3.3・9.4	1.1・4.1	0.7・2.7	・処理水については適正に処理が実施されている。引き続き継続していく。	村規則 10mg/ℓ以下 浪合: 県基準 20mg/ℓ以下	上清・下清		3.4・3.2	2.7・1.1	1.1・1.2	1.7・1.5	T-N	大野・浪合	mg/ℓ	5.1・24.2	4.5・27.5	2.8・29.2	6.3・27.9	村規則 20mg/ℓ以下 浪合: 県基準 60mg/ℓ以下	上清・下清		5.4・9.6	8.6・4.7	2.1・4.4
内 容		単 位	4年度	5年度	6年度	7年度	経過・評価																																																
水洗化状況	接続戸数	大野・浪合 上清・下清	戸	26・236 111・148	26・236 112・149	26・236 112・149	26・236 112・150	・接続戸数1件増加はした。引き続き汲み取りからの切り替えの推進を行っていく。																																															
	接続率		%	89.1	89.2	89.2	89.4																																																
放流水質	BOD	大野・浪合	mg/ℓ	1.4・5.7	3.3・9.4	1.1・4.1	0.7・2.7	・処理水については適正に処理が実施されている。引き続き継続していく。																																															
	村規則 10mg/ℓ以下 浪合: 県基準 20mg/ℓ以下	上清・下清		3.4・3.2	2.7・1.1	1.1・1.2	1.7・1.5																																																
	T-N	大野・浪合	mg/ℓ	5.1・24.2	4.5・27.5	2.8・29.2	6.3・27.9																																																
	村規則 20mg/ℓ以下 浪合: 県基準 60mg/ℓ以下	上清・下清		5.4・9.6	8.6・4.7	2.1・4.4	7.1・7.3																																																
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度																																																		
	実績・見込額(千円)	67,690	56,618	87,443	81,250																																																		
	一般財源	11,767	14,319	27,230	13,661																																																		
	国・県支出金																																																						
	起債																																																						
	その他	55,923	42,299	60,213	67,589																																																		
従事職員(人)	正規職員	0.5	0.2	0.2	0.2																																																		
	臨時職員																																																						

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	・資金不足		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>金額</th> <th>項目</th> <th>金額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業費用</td> <td>88,544</td> <td>建設改良費</td> <td>10,383</td> <td></td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>2,407</td> <td>企業債償還金</td> <td>40,710</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別損失</td> <td>10</td> <td>基金積立金</td> <td>21</td> <td></td> </tr> <tr> <td>予備費</td> <td>2,000</td> <td>予備費</td> <td>2,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	金額	項目	金額	備考	営業費用	88,544	建設改良費	10,383		営業外費用	2,407	企業債償還金	40,710		特別損失	10	基金積立金	21		予備費	2,000	予備費	2,000	
	項目	金額	項目	金額	備考																						
	営業費用	88,544	建設改良費	10,383																							
	営業外費用	2,407	企業債償還金	40,710																							
	特別損失	10	基金積立金	21																							
予備費	2,000	予備費	2,000																								
期待される効果	終末処理場の適切な維持管理は、良好な水処理の維持、住居環境及び公衆衛生の向上、大沢川・和知野川・黒川・阿智川など公共用水域の水質保全が図られる。																										
前年からの改善・工夫	・計画的な機器修繕工事の実施 ・料金改定の実施																										
具体的取組・スケジュール	・処理場の機器修繕 ・個別処理への転換の研究																										
8年度の目標	対象(何を、誰を)	農集排排水																									
	時期(何時までに)	年間通して																									
	意図(どうする、どうなる)	適正に処理する																									

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	合併浄化槽設置整備事業	担当者	環境課	下水道係
	総合計画での位置づけ	5.環境・防災・安心/5-2.水資源の確保・保全			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等	阿智村合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱・下水処理水の水質に関する規則・阿智村下水処理施設受益者分担金条例（旧阿智地区、清内路地区）、阿智村浪合地区合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱			
	根拠法令等	阿智村合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱、下水処理水の水質に関する規則、阿智村下水処理施設受益者分担金条例、阿智村浪合地区合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	個別処理区内の合併浄化槽未設置家庭			
事業開始年	平成3年	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	公共下水道、農業集落排水施設区域外の合併浄化槽を整備し、居住している住民、周辺施設所有者等の水洗化を進め、公共水域の水環境を守る				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共水域の汚濁防止と生活環境の向上のため、処理水の基準を定め、BOD10mg/l以下、全窒素20mg/l以下の高度処理型合併浄化槽設置を推進している(浪合地区を除く)。</li> <li>・集合処理区の公共枅と個別処理区の合併浄化槽は同等のものであるとの考え方から、同額の40万円の分担金を負担して頂くことによって、適正な人槽の浄化槽の設置を指導し、村が設置費用を補助している。</li> </ul>			
	実績・効果	高度処理型合併処理浄化槽の継続的な設置により、河川等公共水域の汚濁防止と生活環境の向上が図られている。  令和6年度                      6基(阿智・清内路地区 6(内、集会所1・別荘1・入替1)) 令和7年度見込み              7基(阿智・清内路地区 7)			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	実績・見込額(千円)	6,116	5,117	7,161	7,568
	一般財源	3,479	2,536	1,941	2,380
	国・県支出金	1,437	1,381	2,020	1,988
	起債				
	その他	1,200	1,200	3,200	3,200
	従事職員(人)	正規職員	0.5	0.1	0.1
		臨時職員			

③ 評価	総合評価	<b>B</b>	事業の方向性	<b>継続・維持</b>
	課題	合併浄化槽の設置率が90%を超え、対象既存住宅への浄化槽設置が難しくなっているが、引き続き設置率の向上を図る必要がある		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		浄化槽設置補助金	7,568			
	期待される効果	生活環境及び公衆衛生の向上、河川等の公共水域の水質保全の効果が期待される				
	前年からの改善・工夫	引き続き浄化槽の設置啓発を行い、水洗化率の向上に努める。				
	具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村の補助基準に合った浄化槽設置者からの申請により、工事検査完了後に合併処理浄化槽設置補助金を交付する</li> </ul>				
8年度の目標	対象(何を、誰を)	個別処理区内の合併浄化槽を				
	時期(何時までに)	年度中に				
	意図(どうする、どうなる)	設置する				



阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	環境対策事業	担当者	環境課	環境係
	総合計画での位置づけ	5.環境・防災・安心/5-3.自然エネルギーの創出			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/2.循環型社会の構築			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	地球温暖化対策の推進に関する法律			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	個人・法人			
事業開始年	平成21年度	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	再生可能エネルギー設備をより多くの村民に導入していただくことにより、エネルギーや自然環境に関心を高めていただき、CO2削減に向けた、地球温暖化抑制と環境への負荷を軽減した人と自然にやさしいクリーンな阿智村を推進する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	(1)地球温暖化対策実行計画(区域政策編)の策定 (2)再生可能エネルギー補助制度の活用 ・住宅等太陽光発電システム設置補助金:住宅等への太陽光発電システム(10kw未満を対象)設置に対して補助。設置設備の発電出力1Kwあたり5万円(上限20万円) ・環境にやさしい住宅設備導入補助金:木質バイオマス燃料ボイラー、ストーブの導入と太陽熱温水器の導入に対して補助。補助額は導入費の1/3(上限:ボイラー20万円、ストーブ10万円、太陽熱温水器一体型5万円、分離型10万円) ・薪割り機補助金:薪割り機の購入に補助。購入費の1/3(上限5万円)				
	実績・効果	(1)地球温暖化対策実行計画(区域政策編)を策定するため500件を対象とした村民へアンケートを実施し、約55%の回答をいただき環境に対する意識の高さを認識することができた。2050年までのゼロカーボン計画を策定を行うことができた。 (2)再生可能エネルギー補助制度をイベント等で再周知することができた。				
	事業コスト	4%	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	16,822	16,460	18,530	9,569	
	一般財源	7,356	4,773	10,490	9,529	
	国・県支出金	9,466	11,647	8,000	0	
	起債					
	その他		40	40	40	
	従事職員(人)	1	0.4	0.4	0.4	
		正規職員				
		臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	長野県気候非常事態宣言への賛同を行っている。持続可能な社会づくりのため脱炭素、省エネ、再エネへ具体的な取り組みが必要である。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		太陽光発電補助金	2,000	自然環境・温暖化会議	307	
		住宅設備補助金	1,500	環境対策モデル事業	1,000	
		薪割り機補助金	150	EVスタンド保守等	1,320	
		環境学習経費	80	環境計画業務委託	2,200	
		大気汚染測定	300	その他	712	
	期待される効果	・地球温暖化対策に向けた長期計画の初年度となる。次世代を担う阿智村の子どもたちへ、阿智村の自然環境を守ることの意識高揚を高めるため、再生可能エネルギーの活用、省エネの取組に、CO2 軽減が取り組みが期待される。 ・大気環境測定の実施は、基礎資料となる。				
	前年からの改善・工夫	★ゼロカーボン宣言方針表明。 ★地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の検証。 ★阿智村環境計画の策定。 ・星空保護区制定へ向けた村の方向性を示す。				
	具体的取組・スケジュール	・09.12 ゼロカーボン宣言を実施 ・09.03 阿智村環境計画策定:具体的な環境全般に関する取組を策定。 ・(随時)村の環境補助金制度を多くの方に利用していただくために、こまめな周知を図り利用促進を図る。				
	8年度の目標	対象(何を、誰を)	阿智村環境計画を			
		時期(何時までに)	3月までに			
		意図(どうする、どうなる)	策定する			

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	安心安全のための生活基盤補助金・補償金	担当者	建設農林課	管理建設係
	総合計画での位置づけ	5.環境・防災・安心/5-4.安心して暮らせるしくみ(生活基盤の整備)			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	がけ地防災対策工事補助金、地元施行除雪費補助金、地元施行道路等維持費補助金			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	村民、阿智村に農地を有する者				
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	生活基盤を守るために、所有者等が行うがけ崩れ防止対策工事費の一部を補助し村民の身体・生命を守る。地元で除雪を行った場合に機械の損料・燃料、労務費の補助、道路等維持の機械代オペレーター代の補助をする事により災害等を未然に防ぐことに繋がる。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	がけ地防災対策工事補助金交付、地元施行除雪補助金の交付、地元施行道路等維持費補助金の交付、道路用地等地元補償補助金の交付、日陰地等立木補償金の交付。				
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・がけ地防災対策工事補助金 2件実績があり、居住地の安全安心を確保できた。また、補助金の上限額を引き上げたことにより負担軽減が図られた。</li> <li>・除雪費補助金 地元施行により早急に対応されたことにより、通行者の安全を確保された。</li> <li>・道路等維持費補助金 7件の実績があり、生活道路や井水の環境が改善された。</li> <li>・日陰地等立木補償 1地区1件の実績があり、交通安全上支障となる立木の伐採が行われ、見通しの確保や、冬期間における路面凍結が解消され通行者の安全が図られた。</li> </ul>				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	一般財源	2,790	2,404	3,114	2,770
		国・県支出金	2,790	2,404	3,114	2,770
		起債				
		その他				
		従事職員(人)	正規職員	0.3	0.3	0.3
		臨時職員	0.3	0.3	0.3	0.3

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	がけ地防災対策工事は、急峻・狭隘な箇所における施工であることから通常より事業費が大きくなる傾向であり、相談は一定数あるものの活用されていない。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		がけ地防災対策	1,000			
		地元除雪費補助	370			
		道路等維持費補助金	100			
		地元補償金(道路用地)	1,000			
		地元補償金(立木補償)	300			
期待される効果	がけ崩れ防止対策工事費の一部を補助することにより、所有者等の対策工事費の負担が軽減され、居住地の安全安心を確保し住み続けることが出来る。特定の機械に係る経費の一部補助により、地域住民等による作業の促進に繋がり、維持管理費の軽減が図られる。また、高所作業車のレンタル料も補助できるので道路に支障となっている枝を落とすことができ、交通の安全が確保されている。交通安全上支障となる立木の伐採が出来、見通しが良くなり通行者の安全が図られる。					
前年からの改善・工夫	引き続き多くの団体などに補助事業を活用していただくよう広報等を行う。					
具体的取組・スケジュール	事業が活用されるように啓発する。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	補助事業内容を				
	時期(何時までに)	年度当初及び年度途中に				
	意図(どうする、どうなる)	広報する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	インフラ長寿命化	担当者	建設農林課	管理建設係
	総合計画での位置づけ	5.環境・防災・安心/5-4.安心して暮らせるしくみ(生活基盤の整備)			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	村道新設改良及び維持管理規定			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	村民、阿智村に農地を有する者				
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁修繕を行う。引き続き道路橋梁において道路利用者及び第三者の被害を防止する観点から、施設の損傷状況を把握するための点検を実施する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋梁修繕を行うことで、第三者の安全性の確保と、長期的な維持管理費の縮減を図ることが出来る。				
	実績・効果	インフラ点検及び修繕工事 ・橋梁点検: 村道橋24橋と林道橋7橋の委託点検と村道橋8橋の直営点検を実施。 ・橋梁修繕: 村道橋10橋の橋梁修繕工事、1橋の橋梁補修設計を実施。 林道橋1橋の橋梁修繕工事、1本のトンネル修繕工事を実施。				
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業コスト	実績・見込額(千円)	一般財源	319,562	230,048	304,858	372,350
		国・県支出金	141,528	85,321	53,078	52,479
		起債	151,634	102,226	154,580	189,171
		その他	26,400	42,500	97,200	130,700
	従事職員(人)	正規職員	1	1	1	1
	臨時職員	0	0	0	0	

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	架設から補修を実施していない橋梁は損傷の程度が著しく悪いため大規模工事となり、交通規制や通行止め等により交通網に与える影響が大きい。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		村道橋梁点検委託	13,520	林道橋梁点検委託	400	
		村道橋梁修繕工事	224,600	林道橋梁修繕設計委託	14,440	
		村道橋梁修繕設計委託	21,000	林道橋梁修繕工事	60,520	
				林道トンネル修繕工事	37,870	
期待される効果	施設の定期点検を実施することにより管理する施設の状況を把握し、耐久性などに影響すると考えられる損傷や第三者に被害を及ぼす可能性のある損傷を早期に発見することにより、常に施設を良好な状態に保全し、安全かつ円滑な交通を確保することができる。					
前年からの改善・工夫	橋梁点検や橋梁修繕において、新技術の活用を含めた比較検討を行い、コスト縮減を図る。					
具体的取組・スケジュール	・点検結果を基に策定した長寿命化修繕計画に基づき施設修繕を進める。村道は、阿智川橋・曾山橋・浪間橋の修繕工事、元橋・大川橋・旧御所平橋の修繕設計、橋梁定期点検32橋を下伊那郡土木技術センター組合と支援業務委託し進めていく。 ・林道は、弓の又橋・鳥越橋の修繕工事、大川入1号橋・弓の又2号橋、大谷霧ヶ原トンネルの修繕工事を実施する。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	村内のインフラ施設の点検を				
	時期(何時までに)	計画的に実施し				
	意図(どうする、どうなる)	安全に通行、利用できる				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	道路等維持修繕事業	担当者	建設農林課	管理建設係
	総合計画での位置づけ	5.環境・防災・安心/5-4.安心して暮らせるしくみ(生活基盤の整備)			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	村道新設改良及び維持管理規定			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	村民、阿智村に農地を有する者				
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	道路の維持修繕を行うことで、車両や歩行者の安心安全を確保する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	各自治会からの要望・報告箇所の現地調査を行ない、危険度・緊急度により計画的に工事を実施する。軽微な舗装補修等は材料の提供と機械を貸与し、自治会等に補修を行っていただくことにより維持工事に係る費用の軽減を図っている。また、公共施設等適正管理推進事業により舗装の表層に係る大規模な修繕工事を継続実施し、緊急自然災害防止対策事業により災害の発生予防、災害の拡大を防止するための対策工事に取り組んでいる。				
	実績・効果	小破のうちに修繕を行うことで、破損箇所などの増破を防ぎ事業費の節減を図る事が出来た。また、住民の日常生活における通行の安全を確保することができる。要望が多い舗装修繕は、公共施設等適正管理推進事業を継続して活用し、大規模な舗装修繕工事を実施した。村道1-5号線(中関下)L=87.2m、村道1-7号線(東栗矢)L=297.6m、村道2-3号線(備中原)L=154.6m、村道2-5号線(上郷)L=204.0m、村道2-9号線(原の平～洞)94.7m、村道2-31号線(下清内路)L=215.0m、村道3-7号線(下西)L=212.1mの7路線を実施。				
③ 評価	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		実績・見込額(千円)	273,537	292,831	371,341	239,416
		一般財源	210,437	203,031	183,616	120,316
		国・県支出金				
		起債	63,100	89,800	145,300	119,100
		その他	0		42,425	
従事職員(人)	正規職員	0.6	0.6	0.6	1.0	
	臨時職員	0.3	0.3	0.3	0.3	

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	労務費・資機材費の高騰や経年劣化により、道路の維持、修繕、更新費用の増大していくことが懸念される。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		重機借上料	400	緊急自然災害防止対策事業債	13,556	
		村道維持補修工事	50,000	除雪業務	29,677	
		道路交通安全施設工事	3,000	除雪資機材倉庫建設	2,000	
		原材料費(凍結防止剤)	11,620	●緊急浚渫事業	11,000	
		公共施設等適正管理推進事業	110,063	林道維持修繕工事	8,100	
期待される効果	小破のうちに修繕を行うことで、破損箇所などの増破を防ぎ事業費の節減を図る事が出来る。また、住民の日常生活における通行の安全を確保することができる。					
前年からの改善・工夫	昨今の豪雨災害の激甚化や河川氾濫の頻発を踏まえ、河川の異常堆積による危険箇所を解消するため、緊急浚渫事業債を活用した浚渫事業に取り組む。					
具体的取組・スケジュール	公共施設等適正管理推進事業(舗装工事)予定箇所 ・1-7号(東栗矢)・1-9号(原の平)・1-10号(伏谷～中平)・2-3号(備中原)・1-5号(中関下)・2-17号(戸沢)・3-101号(備中原)・1-17号(恩田)8路線を実施予定。 緊急自然災害防止対策事業(道路防災工事)予定箇所 ・村道3-212号線(中野)・4-234号線(屋神ひるがみの森裏)の2箇所を予定。 工事の時期等地元と調整し進めていく。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	村道の維持修繕箇所				
	時期(何時までに)	早急に確認し				
	意図(どうする、どうなる)	通行の安全を確保する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	道路改良工事	担当者	建設農林課	管理建設係
	総合計画での位置づけ	5.環境・防災・安心/5-4.安心して暮らせるしくみ(生活基盤の整備)			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	村道新設改良及び維持管理規定			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	村民、阿智村に農地を有する者				
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的	各地域で、道路の課題、道路整備のあり方に違いがある中インフラ整備が必要な箇所を計画的に整備し、安全な通行を確保する。既存の林道の整備を行う事により、今まで安全な作業に適さなかった森林に入ることが出来るようになり、搬出間伐等の森林整備が進む。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	村道・林道改良整備により、地域住民の日常生活・通勤・通学の安全と利便性を図ることが出来た。			
	実績・効果	・村道改良工事:村道3-301号線(中央～濃間)L=32.5m、村道1-8号線(洞)L=128.9m ・林道改良工事:林道弓の又線(浪合)L=73.0m			
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	97,932	45,713	55,087	96,800
	一般財源	39,462	4,294	15,339	17,750
	国・県支出金	31,170	1,519	4,748	17,250
	起債	27,300	39,900	35,000	61,800
	その他				
従事職員(人)	正規職員	0.8	1	1	1.5
	臨時職員	0	0	0	0

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	拡幅や新設の要望がある道路は、村の施策や関係機関の計画と調整を図り、重要性や関係性を検討する中で進めていく必要がある。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		村道改良工事	81,800	林道改良工事	15,000	
	期待される効果	道路整備により、地域住民、村内に訪れる方の安全と利便性の向上を図ることができる。村道、林道の舗装構成を見直すことにより、今後の維持管理費に係る費用の軽減が図られる。				
	前年からの改善・工夫	工事中における交通規制について、住民生活に極力影響の少ない時期や工法選定等、工事費用と比較検討し、工事に係わる影響の軽減を図る。				
	具体的取組・スケジュール	工事の時期・工法・規制について各方面と調整し進めていく。測量、設計、用地測量、詳細設計と段階を踏んで進めていく。				
8年度の目標	対象(何を、誰を)	令和8年度予定箇所を				
	時期(何時までに)	計画的に着手し				
	意図(どうする、どうなる)	安全性と利便性を高める				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	交通安全対策事業	担当者	総務課	消防防災係
	総合計画での位置づけ	5.環境・防災・安心/5-4.安心して暮らせるしくみ(防災・交通安全)			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等	交通安全対策基本法、阿智村交通安全条例			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	村民			
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input type="checkbox"/> 終期末定		
実施目的	村民等に対して交通安全を推進することで交通事故を無くし、事故の無い安心な村づくりを進める。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	村民の交通安全への意識を高めることと、良好な交通環境の確保 ①カーブミラーをはじめとする交通安全設備の整備と維持修繕 ②阿智村交通安全協会の実施する啓発活動等の事業へ補助金を交付し支援 ③阿智村交通安全協会による街頭啓発指導、道路等の安全点検と設備維持修繕 ④南信地域町村交通災害共済で全村民分掛金を公費にて支出。見舞金請求事務対応 ⑤安協・交通指導員等による村行事での交通整理対応等			
	実績・効果	①交通安全協会による交通安全運動期間中の人並作戦、街頭啓発、シートベルト調査、薄暮街頭指導、飲酒運転撲滅啓発を実施(春、夏、秋、年末) ②学校の通学路点検(6/26)、交通安全教室への協力(4/15第三小) ③南信地域町村交通災害共済の周知 ④安協・交通指導員等による村行事での交通整理対応(夏まつり、駅伝大会、阿智祭等)			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	3,246	3,191	3,317	3,316
	国・県支出金	2,321	2,321	2,708	3,048
	起債				
	その他	925	870	609	268
	従事職員(人)	正規職員	0.3	0.3	0.3
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	安協役員や交通指導員が、高齢化や地区人口減少でなり手不足が進んでいる。高齢者による自動車事故が全国で多発している。事故防止に向けた取り組みが必要。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
	期待される効果	交通指導員報酬5名	300			
		交通安全推進消耗品等	182			
		カーブミラー修繕	1,034			
		交通安全協会補助金	600			
南信交通災害共済掛金		1,200				
前年からの改善・工夫	交通安全協会の体制や活動について、他市町村の状況など情報収集して、人口減少やなり手不足が課題となっている交通安全協会の体制等について研究・検討していく。					
具体的取組・スケジュール	①安協による交通安全街頭指導(人並作戦)年4回(春、夏、秋、年末) ②交通指導員等による行事等での交通整理、薄暮ライト早め点灯街頭指導(年12回) ③南信地域町村交通災害共済の周知(広報あち掲載)					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	交通安全啓発に				
	時期(何時までに)	通年を通して取り組み				
	意図(どうする、どうなる)	交通事故防止、交通死亡事故ゼロを目指す				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	防災対策事業	担当者	総務課	消防防災係
	総合計画での位置づけ	5.環境・防災・安心/5-4.安心して暮らせるしくみ(防災・交通安全)			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等	阿智村地域防災計画			
	根拠法令等	災害対策基本法 他			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	村民				
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	自然災害や新たな危機事象(弾道ミサイル、テロ、感染症等)に備えるため、自助・共助の精神のもと、地域防災力の向上と住民との連携による総合的な危機管理防災体制の強化を図る。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	①地域安全委員会の開催と村内一斉防災訓練の実施 ②自主防災組織立上げの支援と地区防災マニュアル作成 ③非常食などの防災備蓄品の購入と倉庫内期限切れ品の更新 ④耐震リフォーム補助事業、住宅耐震診断事業の実施 ⑤防災行政無線設備、戸別受信機等の運用と維持管理 ⑥防犯灯維持管理、新規設置、修繕、LED化			
	実績・効果	①8/31村内一斉防災訓練の実施。地区訓練、職員訓練を実施 ②自主防災組織立上げとマニュアル作成 2地区(大鹿、大野) ③防災備蓄品の追加購入、期限切れ品更新、地区設置防災倉庫の点検を実施 ④戸別受信機の難聴解消のために浪合振興室近くの鉄塔を撤去 ⑤ハザードマップの情報更新に伴うWebページ新により一層使用感が向上 ⑥補助金活用によりパーティションが必要数分補充完了 ⑦耐震リフォーム補助事業 実績:x件 住宅耐震診断 実績:1件			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	34,123	31,681	64,543	29,035
	国・県支出金	34,026	31,535	59,655	26,250
	起債	97	146	4,889	2,785
	その他	0	0	0	0
	従事職員(人)	正規職員	0.3	0.3	0.3
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	自主防災組織立上げと防災マニュアル作成が村内全地区に進んでいない状況にあり、地区への働きかけを工夫して全地区で取り組んでいただく必要がある。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
	期待される効果	防災関係会議等	400	防災システム等保守	1,652	
		自主防災育成	1,169	非常用発電点検	952	
		防災用品備蓄等	1,984	その他保険等	55	
		防犯灯等	4,205	災害補助給付金	150	
耐震補助金・耐震診断		6,214	雨水貯留槽設置補助	850		
防災無線等保守管理		11,404				
前年からの改善・工夫	・住宅の耐震補強への関心を高めることで、補助の利用および耐震改修を促進することにより、地震に強い家づくりが進み、大地震時の被害を抑えることができる。 ・パーティション等避難所開所時に必要な資機材を確保することで避難滞在の環境を整えるとともに、導入した資機材を周知することで村民の防災意識を高める。					
具体的取組・スケジュール	・避難所開所資機材の購入:TKB(「Toilet(トイレ)」「Kitchen(キッチン=温かい食事)」「Bed(ベッド=就寝環境)」をキーワードに、各種の必要数確保に向けて計画的に補充を行う。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	避難所開所資機材の導入計画を				
	時期(何時までに)	11月までに				
	意図(どうする、どうなる)	策定する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	消防団事業	担当者	総務課	消防防災係
	総合計画での位置づけ	5.環境・防災・安心/5-4.安心して暮らせるしくみ(防災・交通安全)			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等				
	根拠法令等				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
事業の対象者	村民(消防団員等)				
事業開始年	<input checked="" type="checkbox"/> 時期不明		事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	村民等による消防団員によって阿智村消防団を組織し、常備消防(広域消防)と連携して、予防消防、防災、火災・災害対応をはじめとする活動の実施により、災害から村民の生命財産を守る。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	① 消防、防災、捜索、救助等の活動 ② 年間計画に基づく各種訓練、行事の実施 ③ 地域の活動への協力(祭り・煙火警備、保育園訓練協力、福祉施設訓練協力 等) ④ 予防消防、消防施設・消防資機材等の点検と維持管理 ⑤ 消防団運営(分団、部の編成と活動) ⑥ 団員の福利厚生、待遇改善による団員数確保 ⑦ 飯田広域消防、飯伊市町村、県内外市町村消防団との連携協力			
	実績・効果	(R7.3.10 新年度体制以降)火災出動 3件、捜索出動 0件、風水害出動 0件 活動全般に団員相互の連携協力を深めて内容の見直しと創意工夫を図って実施してきた。各訓練や救命救急、応急手当の講習実施など、団員数が減少中でも団員一人ひとりの知識や技術向上を図りつつも、年末警戒の日程短縮など団員の負担軽減も取り組んできた。前年度から始まった「消防団員自動車運転免許取得費等補助金」についても、初年度に引き続き利用があり、準中型以上の運転免許を取得し、消防車両の運営管理体制維持による消防団活動の活性化と団組織の維持に効果を発揮している。			
	事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
実績・見込額(千円)	一般財源	85,159	59,348	60,384	58,806
	国・県支出金	70,332	49,604	48,340	46,830
	起債	0	0	0	0
	その他	7,100	7,300	8,200	8,200
	従事職員(人)	正規職員	0.5	0.5	0.5
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	団員の負担軽減や優遇措置により団員数を確保しつつ、消防技術の向上と団組織を維持するための施策を検討・実行する必要がある。特に団組織(分団等)の編成見直しについては単年度での検討・実施が難しいため、目標年度を定めて準備する必要がある。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
	期待される効果	消防委員会報酬	72	維持・修繕費	5,423	
		消防団員年報酬	12,959	防火水槽等修繕費	10,374	
		出動手当	11,709	飯伊・西部負担金	393	
		退団者退職金	5,083	団員・家族支援	1,730	
補償基金掛金等		8,273	自動車運転免許取得等補助	1,360		
消防団被服費		1,230	備品購入	200		
前年からの改善・工夫	① 団員の待遇、団員確保 → 自動車運転免許取得費等補助金や分団活動支援、家族支援事業を継続していく。 ② 組織体制の見直し → 検討を継続。分団等の体制の数年後の見直しを検討する。8年度中には第1分団と第2分団が統合する見込み。					
具体的取組・スケジュール	R8.3.10から消防団新年度体制がスタートし、消防団年間計画に基づき事業・訓練を実施する。また、定期幹部会を毎月実施。各事業の内容検討の合間に、団組織の在り方等を検討していく。 自動車運転免許補助(4月～)、家族支援(10月～)、分団活動支援(年間)					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	団組織の今後の見直し				
	時期(何時までに)	年度中に				
	意図(どうする、どうなる)	数年後の見直しを計画する				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	公共交通運行事業	担当者	総務課	庶務係
	総合計画での位置づけ	5.環境・防災・安心/5-5.充実した公共交通			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ	4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり			
	関連する主な計画等	南信州地域公共交通計画			
	根拠法令等	道路運送法、阿智村巡回バス設置条例、阿智村巡回バスの運行に関する規則			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他			
	事業の対象者	全村民及び来訪者			
事業開始年	H13	<input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期	<input checked="" type="checkbox"/> 終期末定	
実施目的	住民にとって日常的に使いやすい移動手段であり、来訪者にも安心して使いやすい「誰にもやさしい」公共交通システムを構築する。				

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内公共交通利用券の販売場所を増設</li> <li>・地域住民の利便性の向上を図るため、村内巡回バス停留所の位置を調整。</li> <li>・毎月の65歳・75歳教室で、村内の公共交通の紹介や運転免許自主返納者支援制度について説明を行った。</li> </ul>			
	実績・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数の多い降車場所付近のピア内店舗を回数券取扱所としたことで、前年度を上回る販売実績を得られた。さらなる利用拡大を目指すために通勤、通学者などに向けた周知方法の検討が必要。</li> <li>・65歳・75歳教室では、バス乗車経験のない世代に向けて村内公共交通の具体的な活用例を紹介することで、日常的な利用や運転免許返納後の移動手段の一つとして一定の理解が得られている。</li> </ul>			
事業コスト	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)	53,411	63,660	66,799	61,598
	一般財源	48,225	53,684	62,498	58,037
	国・県支出金	3,532	3,506	3,521	2,733
	起債				
	その他	1,654	6,470	780	828
従事職員(人)	正規職員	0.5	0.5	0.5	0.5
	臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	状況により利用者数は増減するが、住民の買い物や通院・通学等の移動手段として運行を継続し、利用促進へ向けた観光地との連携強化や周知方法について研究する必要がある。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		巡回バス委託料	30,527	巡回バス燃料代	4,755	
		駒場線補助金	7,138	修繕費・消耗品等	4,630	
		西部バス負担金	8,681	役務費・重量税	434	
		乗合タクシー委託	4,824	関係協議会負担金	289	
	印刷費・看板張替	260	土地借地料	60	駐輪場用地代	
期待される効果	村巡回バス5路線及び伍和デマンドタクシー、乗合タクシーを維持し、基幹路線である広域バス駒場線及び準基幹路線である西部コミュニティバスと連携することで、村内・村外への移動も含めた住民の買い物や通院、通学等の日常生活に必要な移動手段の確保につながる。また、観光地との連携を強化することで来訪者の利用者促進を図る。					
前年からの改善・工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通事業周知のため、わかりやすい時刻表やチラシの作成を行い、65・75歳教室、高齢者サロン等での案内を継続。また、乗り方教室等の開催を検討する。</li> <li>・村内公共交通を利用した「村内めぐり」案を数種類用意して地区の行事などで活用してもらう。</li> <li>・工事等による通行止の際、バス利用者には不都合が生じないよう仮バス停設置などの対策をとる。</li> <li>・担当者が定期的にバスに乗車し、運行状況の把握に努める。</li> </ul>					
具体的取組・スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすい時刻表・チラシの作成、配布</li> <li>・西部コミュニティバス停留所の視認性見直し</li> <li>・毎月の65歳・75歳教室などでの広報活動</li> </ul>					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	村内の公共交通について				
	時期(何時までに)	年間を通じて				
	意図(どうする、どうなる)	利用者ニーズの把握に努め、利便性の向上を目指す				

阿智村令和7年度事業評価及び8年度事業計画

① 事務事業の概要	事務事業名	リニア中央新幹線対策事業	担当者	リニアまちづくり課 リニア整備対策係
	総合計画での位置づけ			
	まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ		4.まちづくり/1.安心・安全な暮らしを営める集落環境づくり	
	関連する主な計画等			
	根拠法令等			
	実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他	
	事業の対象者			
事業開始年		<input checked="" type="checkbox"/> 平成26年度 <input type="checkbox"/> 時期不明	事業の終期 <input type="checkbox"/> 終期未定	
実施目的		リニア中央新幹線事業に伴うトンネル掘削工事が間もなく始まるため、これに伴う沿線から村内全体に至る工事の影響を受ける可能性がある対策に必要な経費と、清内路地区発生土置き場等に関連する経費を計上するもの。		

② 令和7年度の取組・実績	具体的取組	・村道1-20号線拡幅工事はR8年2月しゅん工(一部を除く)に向けて工事中。 ・クララ沢発生土置き場はR5.3.30クララ沢発生土置き場の受入を決定。R5.12.6にJR東海主催の発生土置き場(クララ沢)に係る工事及び盛土条例に基づく申請内容に関する説明会が行われた。現在、用地取得の交渉中。 ・R5.6.13坊主ヶ島概略設計の説明会実施。詳細設計が完了し住民説明会を開催予定。 ・R5.8.10付で清内路自治会より発生土置き場候補地の坊主沢埋め立て反対の要望があり、清内路地区内の発生土置き場を選定し詳細設計等を実施。 ・R7.3月より市場1工区を南木曾町の発生土を活用して造成し、現在村営住宅建設が行われている。その他の発生土置き場の詳細設計、準備工事を実施中。				
	実績・効果	リニア対策委員会2回、幹事会5回実施。 リニア対策委員会幹事が広瀬工区、尾越工区のトンネル工事現場を視察。 坊主ヶ島の設計に関して岐阜大学教授からアドバイスを頂き現在JR東海が設計中。				
事業コスト	区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	実績・見込額(千円)		57,264	104,846	840,871	1,850,733
	一般財源		12,395	4,937	7,758	7,333
	国・県支出金					
	起債					
	その他		44,869	99,909	833,113	1,843,400
従事職員(人)		正規職員	2	1	1	1
		臨時職員				

③ 評価	総合評価	B	事業の方向性	継続・維持
	課題	発生土置き場を予定しているクララ沢、坊主ヶ島の準備が整わないため、清内路地区内の発生土置き場が準備出来るR8年春からトンネル掘削が開始予定。ただし、JR東海が予定している発生土置き場の用地取得が難航しているため準備工事未着手。		

④ 8年度事業計画	歳出の内訳(千円)	項目	金額	項目	金額	備考
		報酬(講師等)	317	調査・設計委託料	150,300	
		委員報酬	360	使用料及び賃借料	2,000	
		旅費	250	工事請負費	1,450,050	
		需用費	130	公有財産購入費	62,000	
役務費		317	補償及び賠償金	185,000		
期待される効果	間もなく始まるトンネル掘削工事に対応し、引き続き住民の安心安全を守る具体的な対策と、工事期間中の臨機応変な対応についてJR東海に意見していくことができる。環境調査を継続して実施し、測定結果の蓄積により工事完了後の環境変化への備えが行える。発生土を有効活用し、少しでも清内路地区内の振興に繋がる造成工事となるように検討出来る。					
前年からの改善・工夫	多くの住民のご理解とご協力の中で清内路地区内の発生土置き場が決まり、市場1工区については完成した。今後本格化する造成箇所についても、工事後の利用を含め、負担を強いられている清内路地区の地域振興に繋がるようにJR東海との交渉を進める。トンネル掘削開始とともに発生土運搬車両(工事車両)が増加するため、協定を締結し徹底させることで住民の安全を守っていく。					
具体的取組・スケジュール	・赤子、市場に続く発生土置き場(丸山、清内路峠他)の準備を行う。 ・R9年に向けて発生土置き場(七々平他)の詳細設計を実施する。 ・清内路地区内の発生土置き場の造成工事が完了する前にクララ沢、坊主ヶ島に発生土が運搬できるようにJR東海と調整を行う。 ・リニア開業は2027年以降と公表しているが、遅延している工区に10年必要と説明している。					
8年度の目標	対象(何を、誰を)	JR東海と調整し必要な対策を遅延なく実施する				
	時期(何時までに)					
	意図(どうする、どうなる)					

